

一 般 廃 棄 物 処 理 基 本 計 画

(平成 26 年度～平成 35 年度)



平成 2 6 年 3 月

岐 阜 県 瑞 穂 市

瑞穂市一般廃棄物処理基本計画 目次

第1部 計画の基本的事項

第1章 計画見直しの主旨	1
1. 計画の位置づけ	1
2. 計画の対象区域	2
3. 計画で扱う廃棄物の範囲	2
4. 計画の期間	2
第2章 前期の総括	3
1. 前期の目標達成状況	3
2. 前期に実施した施策	5
3. 今後の課題	6

第2部 ごみ処理基本計画

第1章 ごみ処理の現状	7
1. ごみの区分	7
2. ごみ処理体制	8
（1）ごみ処理フロー	8
（2）分別区分	10
（3）収集・運搬	12
（4）中間処理	12
（5）最終処分	13
3. ごみ処理の実績	14
（1）ごみ排出区分の定義	14
（2）ごみ総排出量の推移	15
（3）リサイクル率の推移	16
（4）最終処分量の推移	17
4. ごみ処理の評価	18
（1）1人1日あたりごみ総排出量	18
（2）リサイクル率	19
（3）最終処分率	20
（4）住民満足度	21
（5）1人あたり処理費用	23
（6）ごみ処理の評価	24

第2章	ごみ処理計画	25
1.	基本的方針	25
2.	数値目標	26
(1)	1人1日あたりごみ総排出量	26
(2)	リサイクル率	26
3.	ごみの発生量及び処理量の見込み	27
(1)	人口の将来予測	28
(2)	ごみ総排出量の将来予測	29
(3)	リサイクル率の将来予測	30
(4)	最終処分量の将来予測	31
4.	目標達成のための施策	32
(1)	発生抑制のための取り組み	32
(2)	資源化のための取り組み	33
(3)	適正処理のための取り組み	33
(4)	取り組みのスケジュール	34
5.	ごみ処理に関する基本的事項	35
(1)	目標年次のごみ処理フロー	35
(2)	収集・運搬計画	35
(3)	中間処理の計画	37
(4)	最終処分計画	38
6.	ごみの処理施設の整備に関する事項	39
7.	その他ごみの処理に関し必要な事項	39
(1)	廃棄物減量等推進審議会	39
(2)	災害対策	39
(3)	不適正排出及び不法投棄対策	39

第3部 生活排水処理基本計画

第1章	生活排水処理の基本的事項	40
1.	生活排水処理の現状と課題	40
(1)	生活排水処理の沿革	40
(2)	生活排水の処理主体	40
(3)	生活排水処理体系の現状	42
(4)	生活排水処理形態別人口の推移	43
(5)	し尿及び汚泥の排出状況	44
(6)	収集・運搬の現状	44

(7) 生活排水処理施設の現状	45
(8) 生活排水処理事業の課題	48
2. 生活排水処理の将来予測	50
(1) 将来予測の流れ	50
(2) 処理形態別人口の将来予測結果	51
(3) し尿・浄化槽汚泥発生量の将来予測結果	52
第2章 生活排水処理計画	53
1. 生活排水処理の基本方針	53
(1) 基本理念	53
(2) 生活排水処理施設整備の基本方針	53
2. 生活排水に関する基本事項	54
(1) 処理の目標	54
(2) 生活排水を処理する区域及び人口	54
(3) 施設及びその整備計画の概要	56
(4) し尿及び浄化槽汚泥の処理計画	56
(5) 市民に対する広報・啓発活動	57

第4部 計画の推進

1. 地球温暖化防止への配慮	58
2. 計画の推進と公表	58

資料編

資料1 本市の概況	61
資料2 ごみ処理の実績及び将来予測	67
資料3 生活排水処理の実績及び将来予測	91
資料4 家庭ごみに関する市民アンケート調査結果	93
資料5 パブリックコメント	101
資料6 諮問・答申	102
資料7 廃棄物減量等推進審議会	107

第 1 部 計画の基本的事項

第 1 章 計画見直しの主旨

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律第 137 号)第 6 条第 1 項の規定により、市町村は、当該市町村の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければなりません。

瑞穂市(以下、「本市」という。)は、平成 21 年 3 月に策定した瑞穂市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画[平成 21 年度～35 年度](以下、「前計画」という。)により、主にごみの分別・リサイクルの観点からごみの減量施策を計画し、ごみの減量化を図ってきました。

ごみ処理基本計画策定指針(平成 20 年 6 月・環境省)においては、概ね 5 年ごとに計画を改訂することが適切であるとされており、前計画の第 1 次目標年次を平成 25 年度としていることから、計画の見直しを行うとともに、平成 24 年 3 月に策定した生活排水処理基本計画[平成 24 年度～35 年度]を統合した、瑞穂市一般廃棄物処理基本計画[平成 26 年度～35 年度](以下、「本計画」という。)を策定します。

1. 計画の位置づけ

本計画と関連計画との位置づけを整理すると、図 1-1 に示すとおりであり、本計画は、本市総合計画で示された将来像を目指すための一般廃棄物分野における計画として、国が示す廃棄物処理の方針や循環型社会形成推進基本法の趣旨に則った計画です。

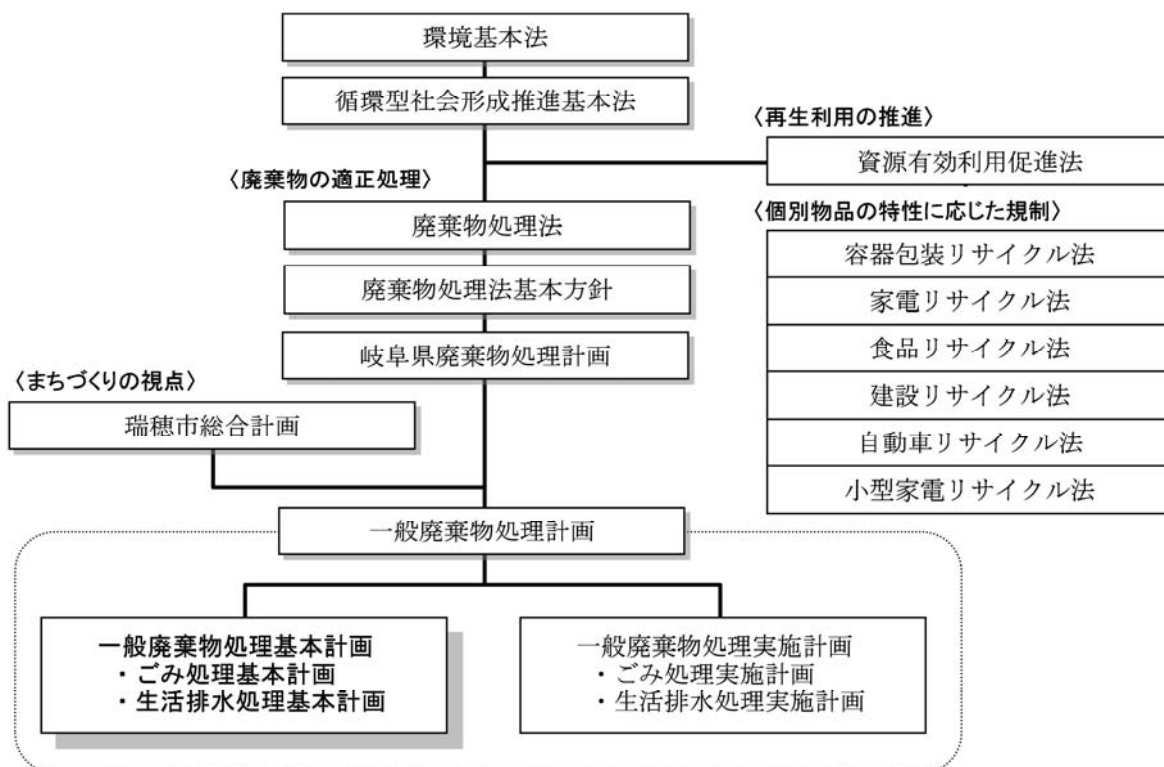


図 1-1 計画の位置づけ

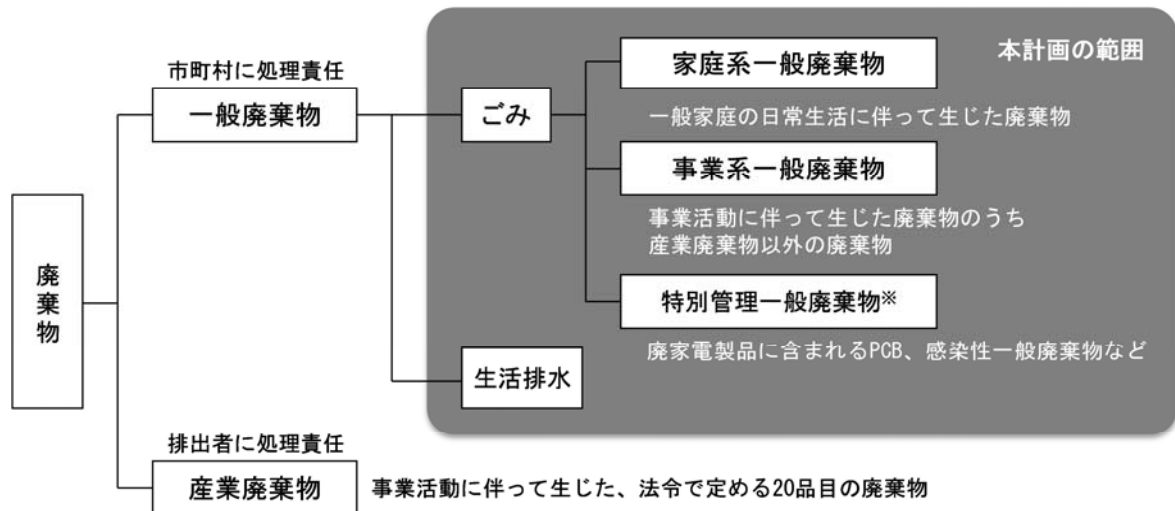
2. 計画の対象区域

本計画の対象区域は、本市全域とします。

3. 計画で扱う廃棄物の範囲

廃棄物の種類と本計画の範囲は、図 1-2 に示すとおりです。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において市町村が統括的な責任を有する一般廃棄物を本計画の範囲とします。



※：特別管理一般廃棄物は、本市では処理・処分をしておらず、民間業者において処理・処分が行われています。

図 1-2 廃棄物の種類と計画の範囲

4. 計画の期間

前計画で定めた計画の期間は、平成 21 年度から平成 35 年度の 15 年間です。

前計画の平成 21 年度から平成 24 年度（この期間を以下、「前期」という。）の実績を基に、見直しを行う本計画の期間は、平成 26 年度から平成 35 年度の 10 年間とします。

なお、計画は 5 年ごとに見直すこととしますが、社会経済情勢の変動があった場合や、国や岐阜県における方針の変更等、計画の前提となる諸条件に大きな変更が生じた場合にはその都度見直しを行います。

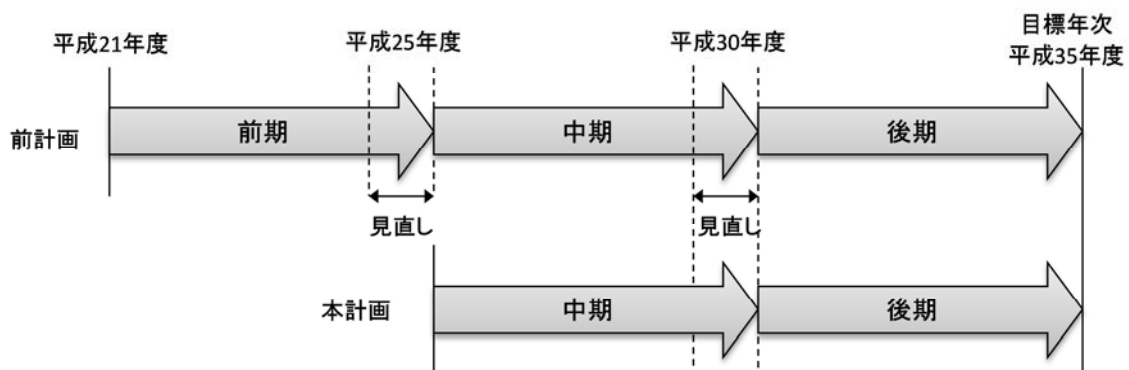


図 1-3 計画の期間

第2章 前期の総括

平成24年度から計画を推進してきたごみ処理基本計画の総括は、以下に示すとおりです。
 なお、生活排水処理基本計画については、平成24年度からの開始で短期間であることから、総括を割愛しました。

1. 前期の目標達成状況

前計画で数値目標^{注1)}を定めた、1人1日あたりごみ総排出量（ごみ発生原単位）及びリサイクル率の目標達成状況は、表2-1、図2-1及び図2-2に示すとおりです。

1人1日あたりごみ総排出量は目標値が達成され、リサイクル率については民間ルートによる資源回収の拡大に伴う集団回収量の減少等の影響から、目標達成が困難な状況です。

表2-1 目標達成状況

項 目	基準値 (平成19年度)	実績値 (平成24年度)	目標値 (平成25年度)
1人1日あたりごみ総排出量	921 g	746 g (約19%削減)	875 g (5%削減)
リサイクル率	16.8 %	18.3 % (約2%増加)	24 % (約7%増加)

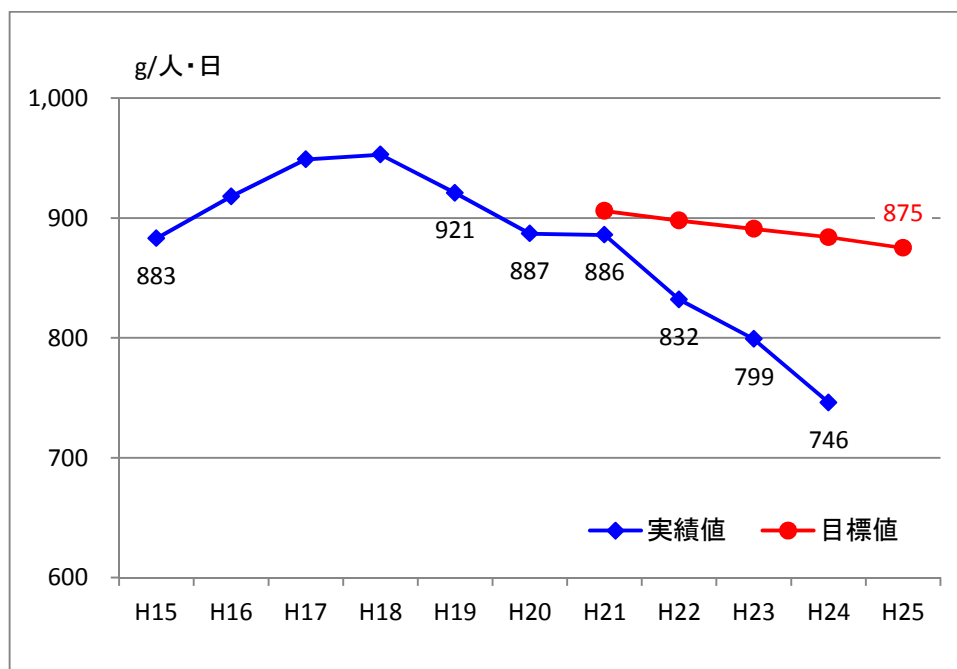


図2-1 1人1日あたりごみ総排出量の目標達成状況

注1) 基準値は前計画の値を使用しましたが、本計画では資源物の計上方法を変更したため、後述する実績値と異なります。

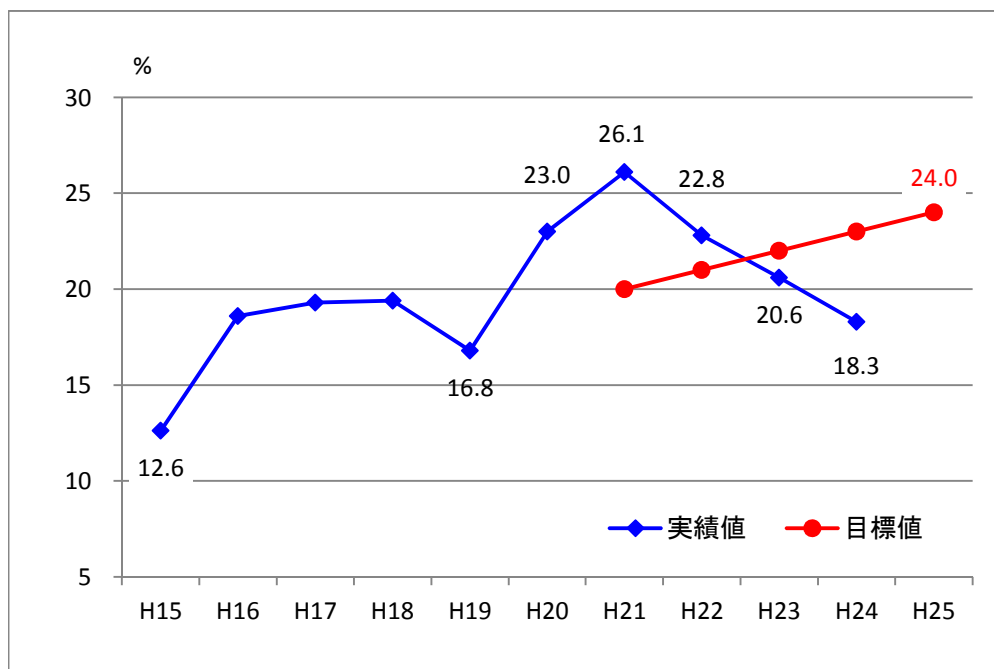


図 2-2 リサイクル率の目標達成状況

2. 前期に実施した施策

前期（平成 21 年度～平成 24 年度）に実施した主な施策は、表 2-2 及び図 2-3 に示すとおりです。

平成 23 年 8 月に実施した粗大ごみ有料化に伴い、穂積地区で収集していた不燃ごみを廃止するなど、分別区分を一部変更しました。

また、廃棄物減量等推進員制度の積極的な活用や、ごみ分別手引きの全戸配布を行い、ごみ分別のための啓発を進めました。

表 2-2 前期に実施した主な施策

年月	施策等
平成 23 年 3 月	・一般廃棄物最終処分場（巣南集積場）廃止
平成 23 年 4 月	・廃棄物減量等推進員を各自治会に 1 名委嘱
平成 23 年 6 月	・『ごみ分別の手引き』を全戸配布 ・穂積地区の分別区分「金物類」を廃止、「缶類」と「粗大ごみ」に分別開始 ・穂積地区の「不燃ごみ」収集廃止、「粗大ごみ」に分別開始 ・穂積地区のプラスチック類の分別・収集を徹底
平成 23 年 8 月	・粗大ごみ有料化開始 ・市内 11 箇所で有害ごみ、粗大ごみ等の拠点回収開始
平成 24 年 2 月	・一般廃棄物最終処分場（美来の森）廃止
平成 24 年 3 月	・美来の森廃棄物焼却炉撤去
平成 24 年 6 月	・『ごみ分別の手引き（改訂版）』を全戸配布

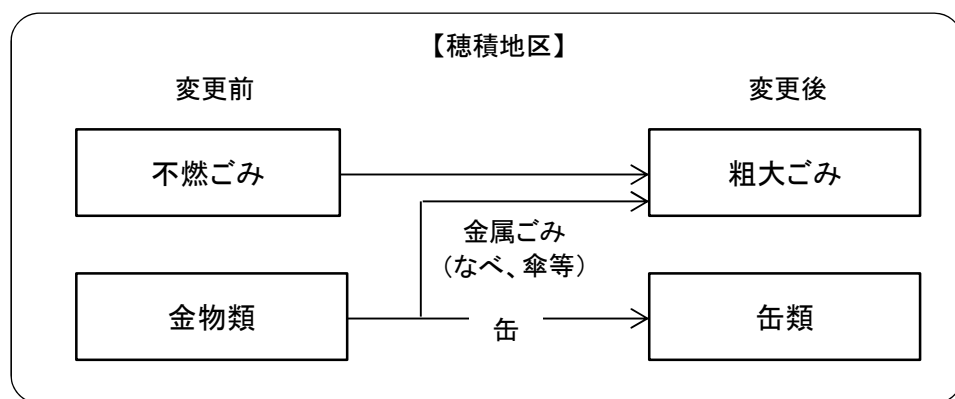


図 2-3 粗大ごみ有料化に伴う分別区分の変更点

3. 今後の課題

前計画で明らかになった課題とその現状は、表 2-3 に示すとおりです。

粗大ごみの有料化に伴い分別区分を変更しましたが、容器包装プラスチックなど一部の分別区分について、穂積地区と巢南地区で相違があります。

また、事業系一般廃棄物の削減について、新たな施策を実施出来ませんでした。

表 2-3 前計画に示された課題と現状

No.	前計画に示された課題	現 状	評価
1	分別収集区分の統一 ・穂積地区、巢南地区による ごみの分別方法が統一されて いない。	平成 23 年 8 月の粗大ごみ有料化に伴い、 穂積地区のごみ排出区分を一部変更。 穂積地区の「プラスチック製容器包装」、 巢南地区の「陶磁器類・ガラス類」につい て未統一。	△
2	粗大ごみ処理料金の有料化 ・粗大ごみの排出抑制対策の 検討。	平成 23 年 8 月に粗大ごみ有料化を実施。	○
3	環境教育、普及啓発の充実。	小学生（該当学年）の学習の一環として美 来の森の見学があり、ごみ処理等に関する 説明を毎年度実施。	○
4	多量排出事業者への指導。	減量化計画策定などの指導は行なってい ない。	×
5	効率的なごみ収集の方法・体 制を検討。	現在の収集体制及び収集頻度で、特に問題 は生じていない。	○
6	粗大ごみ中間処理後の廃プ ラスチック類の焼却。	平成 23 年度に美来の森一般廃棄物焼却施 設を廃止・撤去完了。現在は民間業者によ り熱回収リサイクルが行われている。	○
7	リサイクルセンター建設の 検討。	自前の破砕機設置等によるリサイクルセ ンター建設は、現在のごみ搬入量等からみ ても現実的でない。	△
8	最終処分場の確保。	西濃環境整備組合が数年後の完成を目指 し最終処分場の建設を計画中。	△
9	ごみに関する情報提供不足。	広報に「環境あれこれ」と題し、定期的 に情報提供を行なっている。 廃棄物減量等推進員の委嘱。 「ごみ分別の手引き」を全戸に配布。	○

※ 評価欄記号の説明 ○⇒実施済 ・ △⇒一部実施済 ・ ×⇒未実施

第 2 部 ごみ処理基本計画

第 1 章 ごみ処理の現状

1. ごみの区分

本市及び西濃環境整備組合（以下、「組合」ともいう。）が受け入れているごみは、その排出源によって「家庭系ごみ（家庭系一般廃棄物）」と「事業系ごみ（事業系一般廃棄物）」に大別されます。

さらに、家庭ごみは、品目によって「可燃ごみ」「粗大ごみ」「資源ごみ」「有害ごみ」の 4 つに区分されます。

また、地域の各種団体が行う集団回収、民間事業者による食品トレー、インクカートリッジ等の店頭回収、家電リサイクル法やパソコンリサイクル法等に基づく家電製品等のメーカー回収が行われています。

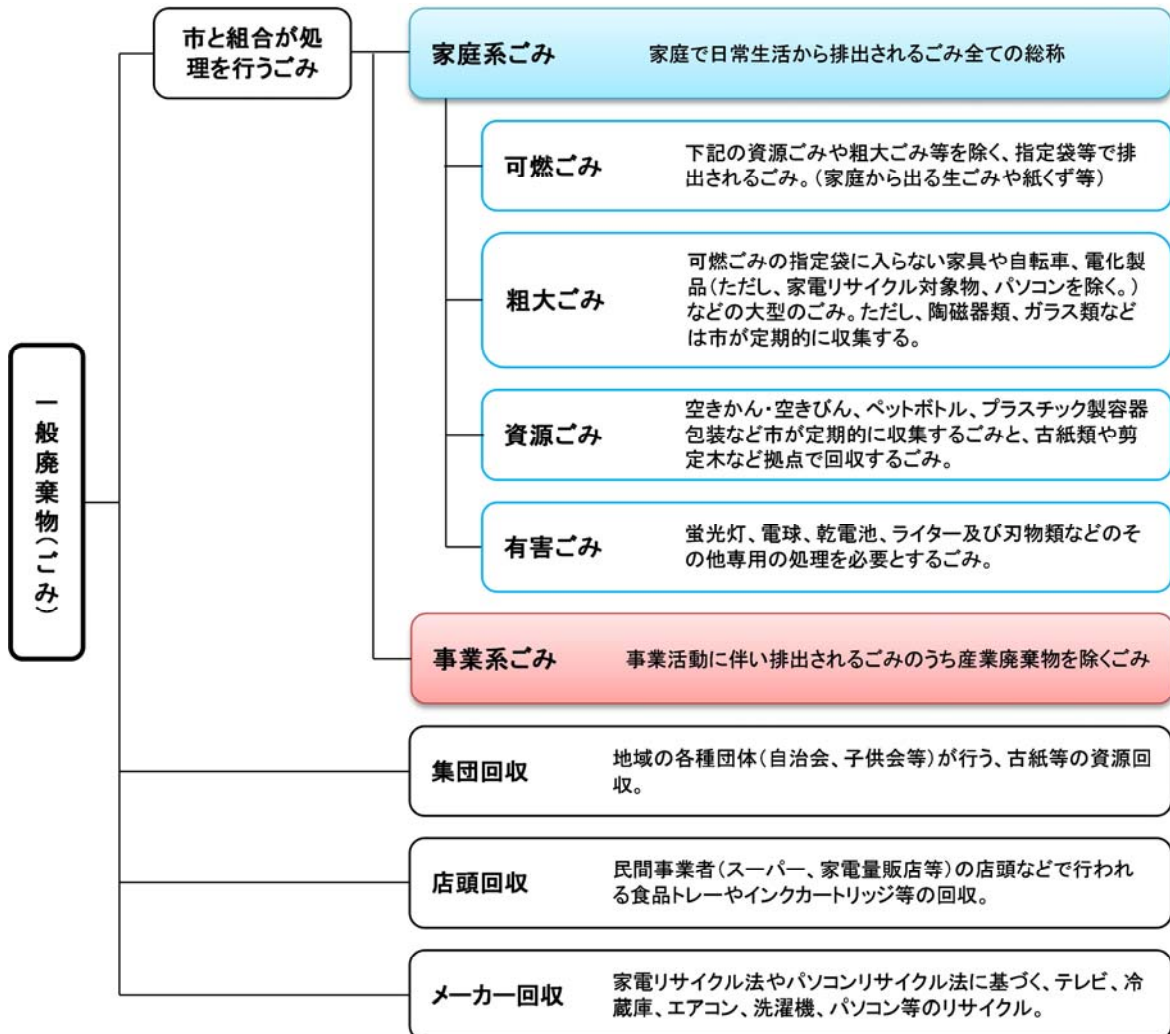


図 3-1 ごみの区分

2. ごみ処理体制

(1) ごみ処理フロー

前期に分別区分の統一が進められてきたものの、本市では穂積地区と巢南地区でごみの分別区分が異なります。

平成 25 年度における本市のごみ処理フローは、図 3-2 及び図 3-3 に示すとおりです。

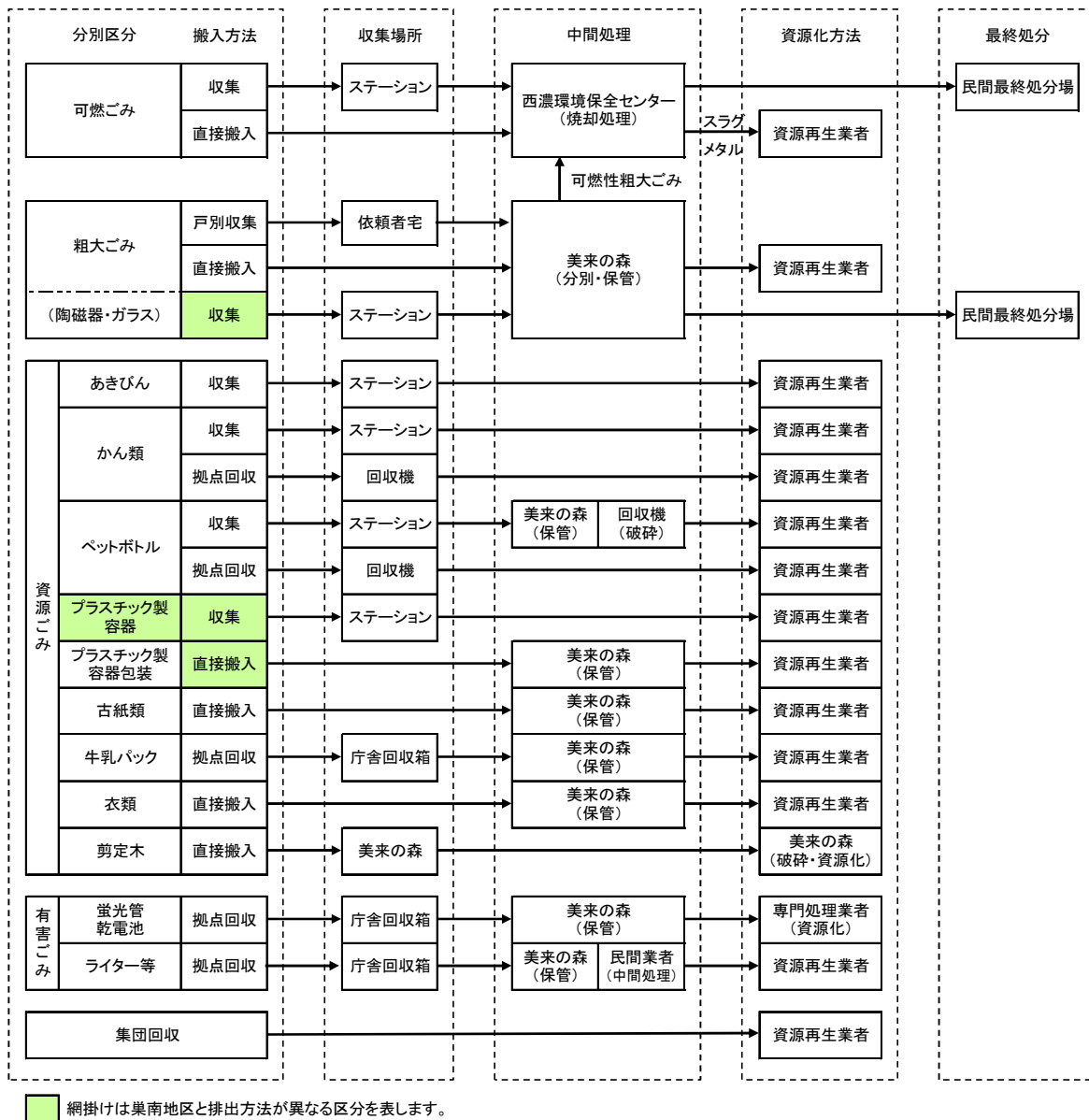


図 3-2 穂積地区のごみ処理フロー（平成 25 年度）

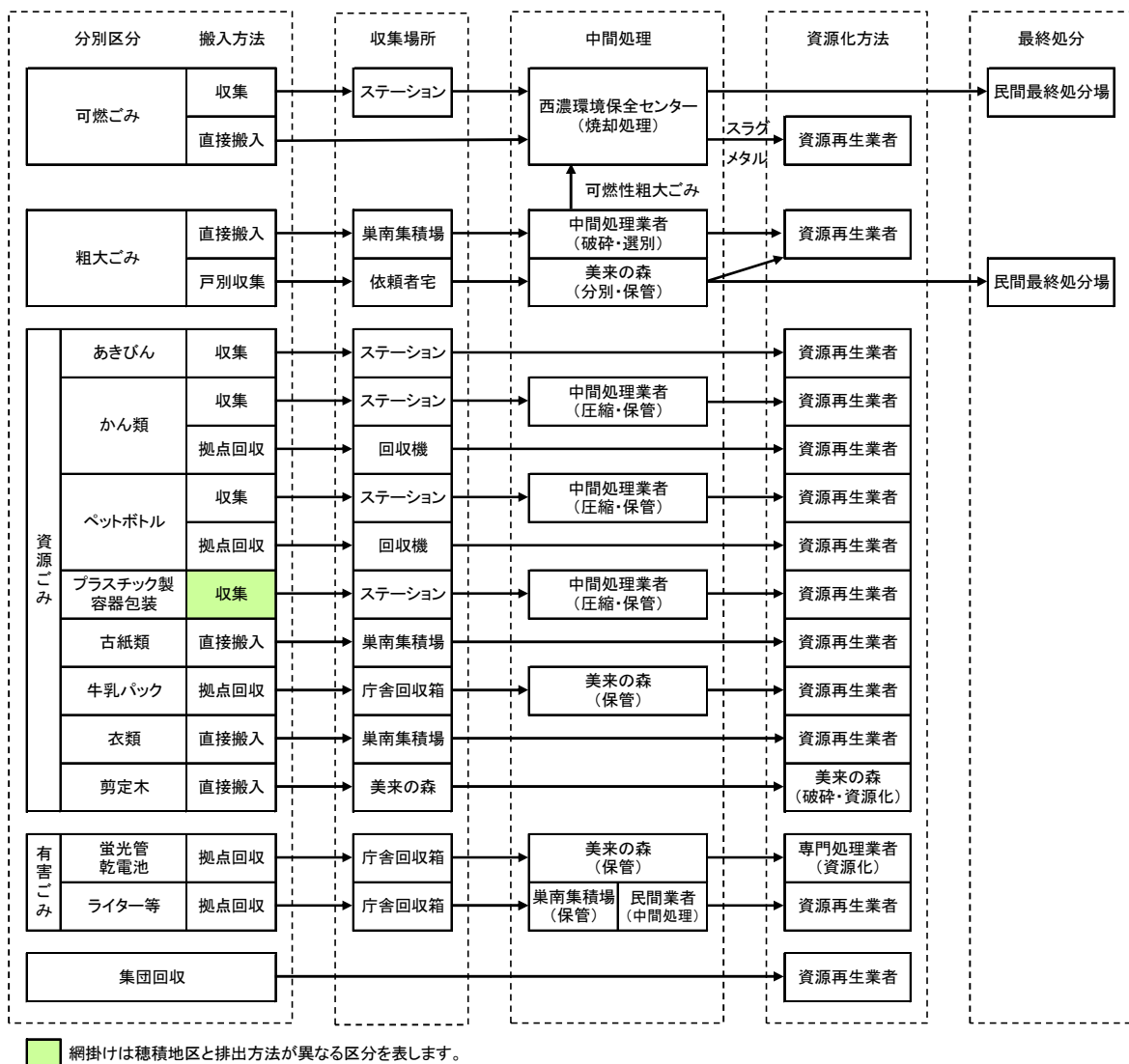


図 3-3 巣南地区のごみ処理フロー（平成 25 年度）

(2) 分別区分

穂積地区及び巢南地区の分別区分は、表 3-1 及び表 3-2 に示すとおりです。

表 3-1 穂積地区の分別区分（平成 25 年度）

ごみの種類		内 容
可燃ごみ		野菜クズ、紙クズ、ぬいぐるみ、紙オムツ、魚クズ、家庭内の草、タバコの吸い殻、ラップ類、木クズ、茶ガラ・洗剤箱、衣料など
粗大ごみ		チャイルドシート、ファンヒーター・ストーブ、掃除機、ふとん、じゅうたん、ビデオ・カセットテープレコーダー、チューナー、扇風機、木製タンス、ソファ、自転車、電気コンロ、廃タイヤ、ベッドのスプリングマット、陶磁器類、ガラス類、耐熱ガラス・化粧びんなど
資源ごみ	飲料用びん	無色、茶色、その他（一升びん・ビールビン・ドリンクびん・割れびん等）
	かん類	アルミ缶、スチール缶、飲料用以外のカン（一斗缶、菓子缶、スプレー缶等）
	ペットボトル	PET マークのついているペットボトル（飲料用、酒類用、しょうゆ・酢等）
	プラスチック製容器	ブラマークのある容器（収集は調味料・洗剤などのプラスチック製ボトルに限る）
	古紙類	新聞・チラシ、雑誌・古本、ダンボール
	剪定木	一般家庭及び農作業に伴う剪定木
	回収機	飲料用空かん ペットボトル
	庁舎回収	牛乳パック
庁舎回収	有害ごみ	乾電池、電球・蛍光灯
	刃物類	包丁・はさみ、カミソリ刃
収集できないごみ		分別していないごみ、消火器、医療系廃棄物、プロパンガスボンベ、農機具、バッテリー、オイルの残っている缶、オートバイ、自動車、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン、ディスプレイ、パソコン本体、ノートパソコン

出典：瑞穂市ごみ分別の手引き

※：網掛けは巢南地区と分別区分が異なる箇所を示します。

表 3-2 巢南地区の分別区分（平成 25 年度）

ごみの種類		内 容
可燃ごみ		野菜クズ、紙クズ、ぬいぐるみ、紙オムツ、魚クズ、家庭内の草、タバコの吸い殻、ラップ類、木クズ、茶ガラ・洗剤箱、衣料など
粗大ごみ		チャイルドシート、ファンヒーター・ストーブ、掃除機、ふとん、じゅうたん、ビデオ・カセットテープレコーダー、チューナー、扇風機、木製タンス、ソファ、自転車、電気コンロ、廃タイヤ、ベッドのスプリングマット、陶磁器類、ガラス類、耐熱ガラス・化粧びんなど
資源ごみ	飲料用びん	無色、茶色、その他（一升びん・ビールビン・ドリンクびん・割れびん等）
	かん類	アルミ缶、スチール缶、飲料用以外のカン（一斗缶、菓子缶、スプレー缶等）
	ペットボトル	PET マークのついているペットボトル（飲料用、酒類用、しょうゆ・酢等）
	プラスチック製容器包装	プラマークのある容器包装（包装用フィルム、玉子ケース、トレー、カップ麺容器、汎用ポリ袋、豆腐容器、プラスチック製キャップ）
	古紙類	新聞・チラシ、雑誌・古本、ダンボール
	剪定木	一般家庭及び農作業に伴う剪定木
	回収機	飲料用空かん
		ペットボトル
庁舎回収	庁舎回収	牛乳パック
	有害ごみ	乾電池、電球・蛍光灯
収集できないごみ	刃物類	包丁・はさみ、カミソリ刃
		分別していないごみ、消火器、医療系廃棄物、プロパンガスボンベ、農機具、バッテリー、オイルの残っている缶、オートバイ、自動車、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン、ディスプレイ、パソコン本体、ノートパソコン

出典：瑞穂市ごみ分別の手引き

※：網掛けは巢南地区と分別区分が異なる箇所を示します。

【穂積地区、巢南地区の主な相違点】

プラスチック製容器包装 穂積：可燃ごみ・一部資源ごみ 巢南：資源ごみ

(3) 収集・運搬

本市におけるごみの収集・運搬体制は、表 3-3 に示すとおりです。

表 3-3 収集・運搬体制（平成 25 年度）

項目		収集形態	収集方法	箇所数	収集頻度	収集容器
可燃ごみ		委託	ステーション	528	週 3 回	指定袋
粗大ごみ		—	直接搬入 戸別収集	—	—	—
(陶磁器・ガラス類)		委託	ステーション	419	月 1 回	コンテナ
資源 ごみ	あきびん	委託	ステーション	502	月 1 回	コンテナ
	かん類	委託	ステーション	502	月 1 回	コンテナ
			回収機	13	—	回収機
	ペットボトル	委託	ステーション	502	月 1 回	コンテナ
			回収機	13	—	回収機
	プラスチック 製容器包装	委託	ステーション	502	月 2 回	網かご

(4) 中間処理

本市の可燃ごみは、組合のごみ処理施設において、焼却処理が行われています。資源ごみは、ステーション及び回収機のいずれも、業者にて資源化されています。

粗大ごみについては、戸別収集又は美来の森及び巣南集積場で拠点回収が行われ、美来の森において分別・保管され、業者の中間処理施設で処理が行われています。

表 3-4 西濃環境整備組合の概要

項 目	内 容
名 称	西濃環境保全センター
所在地	岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉 1375-1
面 積	敷地面積：25,848.74m ²
処理能力	270t/日(90t/24h×3 炉)
処理対象物	可燃ごみ
処理方式	流動床式焼却炉（90t/日×2 炉） ガス化高温溶融一体型直接溶融炉（90t/日×1 炉）
運転管理	直営（西濃環境整備組合）
設計・施工	株式会社 荏原製作所、新日本製鐵 株式会社
建設年度	竣工：平成 3 年 3 月、平成 15 年 12 月

出典：西濃環境整備組合

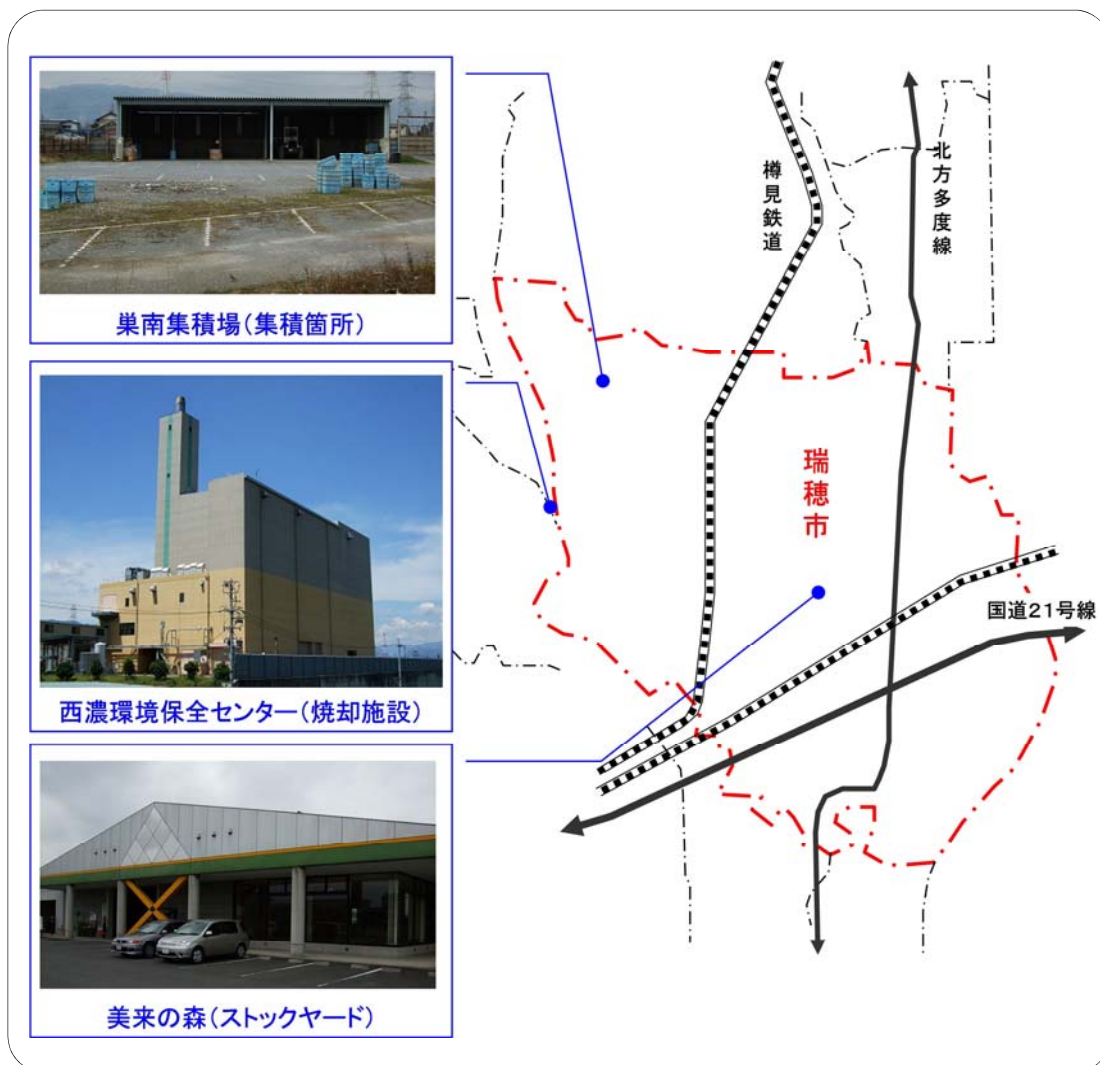


図 3-4 中間処理施設位置図

(5) 最終処分

本市は、最終処分場を有していません。このため、可燃ごみについては、西濃環境整備組合による中間処理後、民間の最終処分場に処分を委託しており、粗大ごみについては、美来の森で分別・保管後、民間の処理業者に処分を委託しています。

3. ごみ処理の実績

(1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図 3-5 に示すとおりとします。

本計画では、市民及び事業者等によって排出される全ての不用物の量を「ごみ発生量」とします。

しかし、潜在ごみである事業者独自の資源回収・処理や市民による自家処理（生ごみの減量化等）によって資源回収等がなされているもの等については、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とします。

次に、「ごみ総排出量」から、本市のごみ処理施設等で処理を行わない集団回収によって集められた資源を除いたものを「ごみ排出量」とします。

「ごみ排出量」のうち、本市の家庭から排出されたものを家庭系ごみ、事業所や公共施設から排出されたごみを事業系ごみとします。

また、家庭系ごみについては収集方式の違いにより、収集ごみ及び直接搬入ごみに分類します。

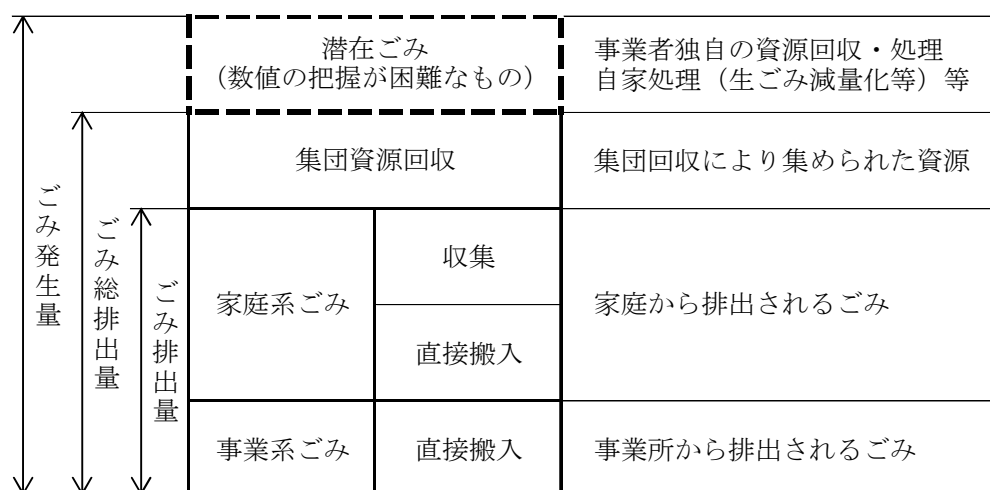


図 3-5 ごみ排出区分の定義

(2) ごみ総排出量の推移

本市における過去 10 年間のごみ総排出量及び 1 人 1 日あたりごみ総排出量^{注 2)}の推移は、表 3-5 及び図 3-6 に示すとおりです。

表 3-5 ごみ総排出量の推移

年度	単位	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
計画収集人口	人	48,273	48,744	49,435	49,820	50,620	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453
可燃ごみ	t	11,733	11,829	12,536	12,635	12,926	12,344	11,956	11,685	11,862	11,911
粗大ごみ	t	1,902	2,113	2,027	2,102	2,023	1,699	1,571	1,568	1,349	671
資源ごみ	t	345	723	822	897	1,095	1,497	1,569	1,470	1,205	1,056
有害ごみ	t	5	6	7	6	12	6	13	21	13	12
集団回収量	t	1,616	1,657	1,723	1,690	1,098	1,000	1,472	938	806	636
ごみ総排出量	t	15,602	16,327	17,115	17,329	17,154	16,546	16,582	15,682	15,235	14,285
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	883	918	949	953	926 ^{注 3)}	887	886	832	799	746
1人1日あたり可燃ごみ量	g/人・日	664	665	695	695	698	661	639	620	622	622

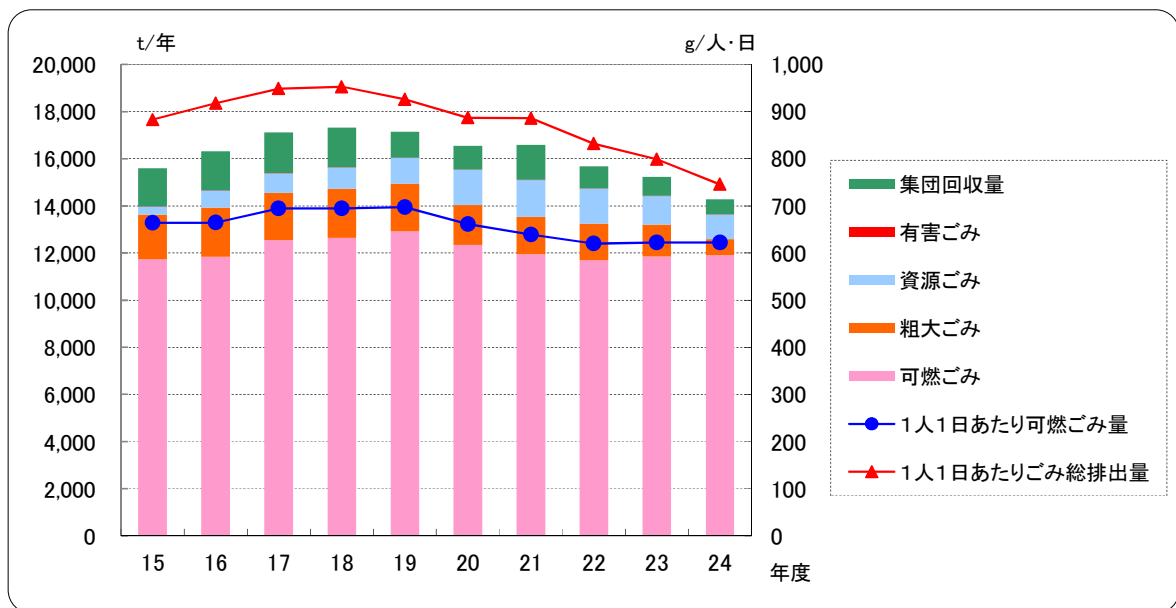


図 3-6 ごみ総排出量の推移

注 2) 1 人 1 日あたりごみ総排出量＝ごみ総排出量÷人口÷年間日数

注 3) 本計画では、美来の森で資源化されている剪定木を資源ごみとして計上したため、平成 19 年度の値が前計画と異なります。

※：本計画において、端数処理のため合計が合わない場合があります。

(3) リサイクル率の推移

本市における過去 10 年間の資源化量及びリサイクル率^{注 4)}の推移は、表 3-6 及び図 3-7 に示すとおりです。

表 3-6 資源化量及びリサイクル率の推移

年度	単位	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
本市による資源化量(収集・直接搬入)	t	345	723	822	897	1,095	1,497	1,569	1,470	1,205	1,056
集団回収量	t	1,616	1,657	1,723	1,690	1,098	1,000	1,472	938	806	636
西濃環境整備組合による資源化量	t	0	673	773	794	820	839	786	809	807	774
中間処理後資源化量	t	412	476	492	487	486	474	496	357	316	144
総資源化量	t	2,373	3,528	3,810	3,868	3,499	3,810	4,323	3,575	3,135	2,609
リサイクル率 ^{注 5)}	%	15.2	21.6	22.3	22.3	20.4	23.0	26.1	22.8	20.6	18.3

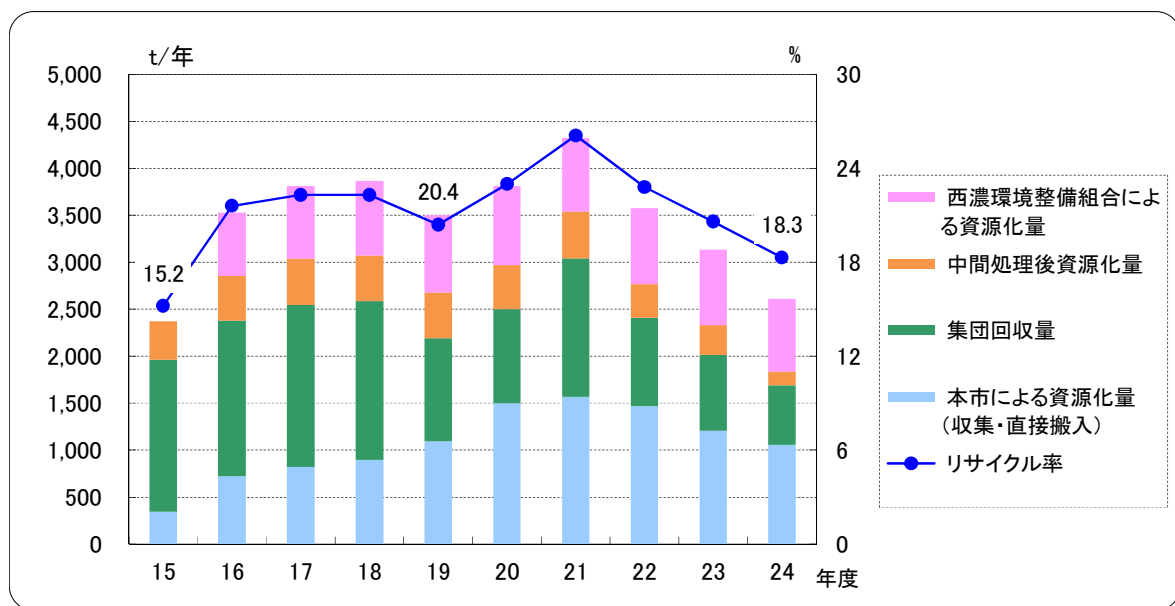


図 3-7 資源化量及びリサイクル率の推移

注 4) リサイクル率＝総資源化量（資源ごみ＋集団回収量＋組合による資源化量）÷ ごみ総排出量

注 5) 本計画では、美来の森で資源化されている剪定木や粗大ごみ中の金属類等を資源ごみとして計上したため、平成 15 年度から平成 19 年度の値が前計画と異なります。

(4) 最終処分量の推移

本市における過去 10 年間の最終処分量および最終処分率^{注 6)}の推移は、表 3-7 及び図 3-8 に示すとおりです。

表 3-7 最終処分量の推移

年度	単位	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
焼却処理に伴う最終処分量	t	829	441	451	417	463	387	387	405	385	387
本市による最終処分量	t	0	0	51	50	82	78	78	38	41	33
最終処分量	t	829	441	501	466	545	465	464	442	426	421
最終処分率	%	5.3	2.7	2.9	2.7	3.2	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9

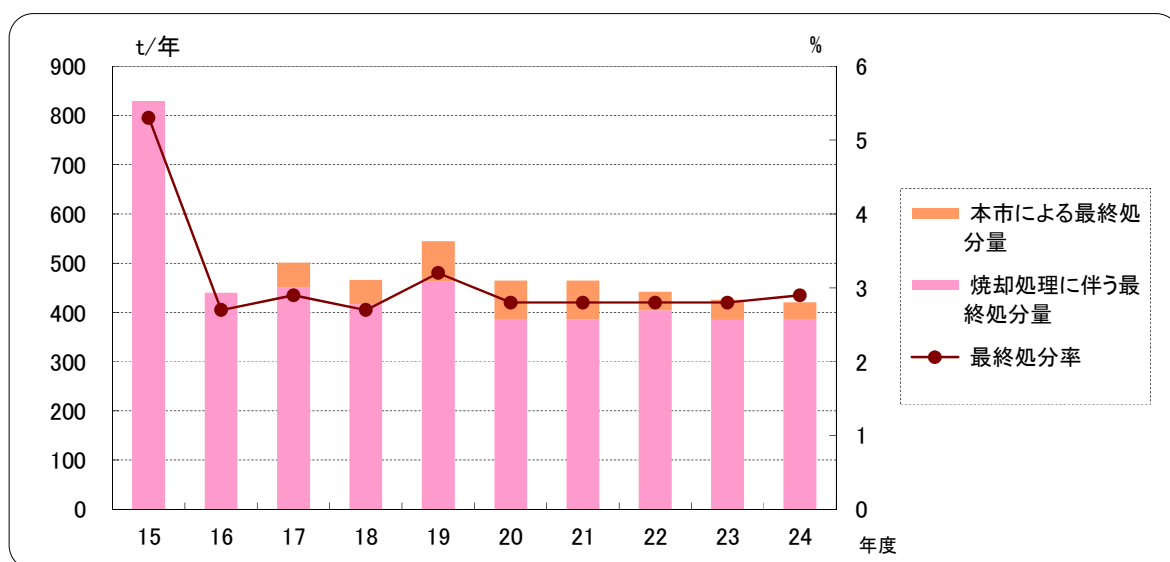


図 3-8 最終処分率の推移

注 6) 最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量

4. ごみ処理の評価

(1) 1人1日あたりごみ総排出量

本市における平成23年度の1人1日あたりごみ総排出量は799g/人・日であり、平成27年度における国の目標値である1,034g/人・日（平成19年度比約5%削減）をすでに下回っています。また、平成23年度における全国、岐阜県、組合管内、類似団体^{注7)}いずれの平均値より下回っています。

類似団体の平均値935g/人・日を基準値とした評価値^{注8)}は「114.5」となりました。

表 3-8 1人1日あたりごみ総排出量の比較

単位：g/人・日

年 度	H19	H20	H21	H22	H23
瑞穂市	926	887	886	832	799
類似団体平均	994	976	965	930	935
組合管内平均	1,048	1,019	973	936	923
岐阜県平均	1,030	1,013	991	960	962
全国平均	1,089	1,033	994	976	975

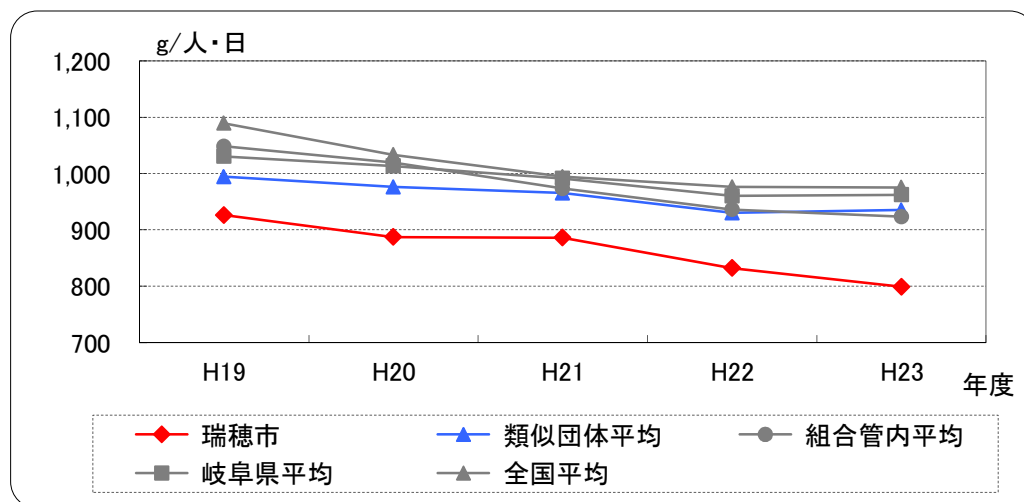


図 3-9 1人1日あたりごみ総排出量の比較

注 7) 類似団体とは、国が全国の市区町村を「指定都市」「中核市」「特例市」「都市」「町村」「特別区」に分類した上で、さらに「都市」「町村」を人口規模や産業構造で細分化、計 35 のグループに分け、そのなかで同じグループに属する自治体を指します。瑞穂市は街の構造区分「都市Ⅱ2」に該当し、類似市町村数は 51 あります。評価対象として 51 市の中から人口 5 万人～6 万人の都市で関東、中部、近畿地区から美濃加茂市、新城市、亀山市等 15 市を選定しました。

注 8) 評価値は、評価項目の基準値を 100 としたときの指標値の比率（指数）を、『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』（平成 25 年 4 月・環境省）により算出しました。

(2) リサイクル率

本市における平成 23 年度のリサイクル率は 20.6%であり、平成 23 年度における全国平均、岐阜県の平均値、類似団体の平均値と同程度です。

類似団体の平均値 20.1%を基準値とした評価値は「102.5」となりました。

表 3-9 リサイクル率の比較

単位：％

年 度	H19	H20	H21	H22	H23
瑞穂市	20.4	23.0	26.1	22.8	20.6
類似団体平均	20.0	21.1	20.4	21.0	20.1
組合管内平均	20.5	21.4	22.4	22.0	20.8
岐阜県平均	23.0	22.9	22.8	22.4	21.3
全国平均	20.3	20.3	20.5	20.8	20.4

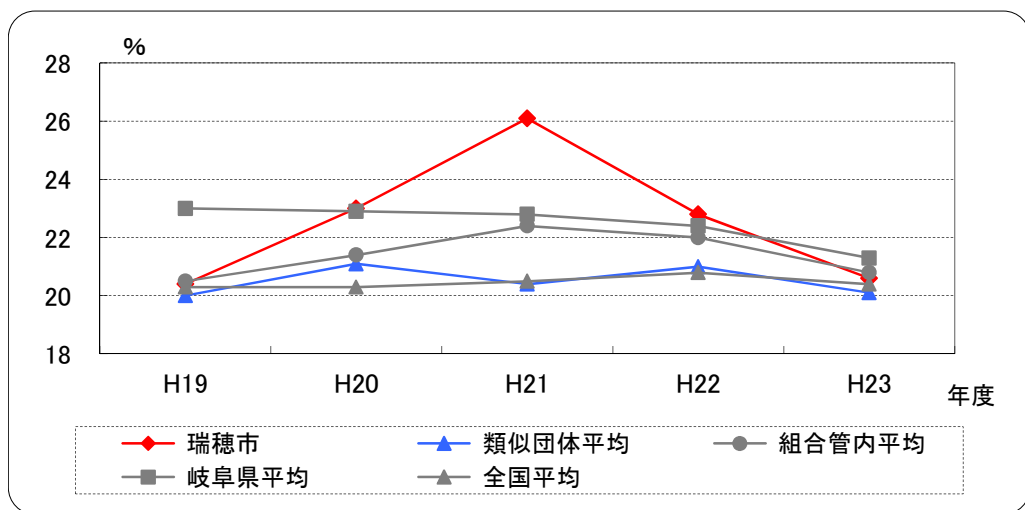


図 3-10 リサイクル率の比較

(3)最終処分率

本市における平成 23 年度 of 最終処分率は 2.8%であり、平成 23 年度における全国平均、岐阜県の平均値、類似団体の平均値の全てより下回っています。

類似団体の平均値 9.1%を基準値とした評価値は「169.2」となりました。

表 3-10 最終処分率の比較

単位：％

年 度	H19	H20	H21	H22	H23
瑞穂市	3.2	2.8	2.8	2.8	2.8
類似団体平均	9.2	8.8	10.2	8.9	9.1
組合管内平均	8.4	7.2	5.5	6.7	6.1
岐阜県平均	9.2	8.3	8.1	7.5	8.2
全国平均	13.3	12.3	11.6	11.3	11.3

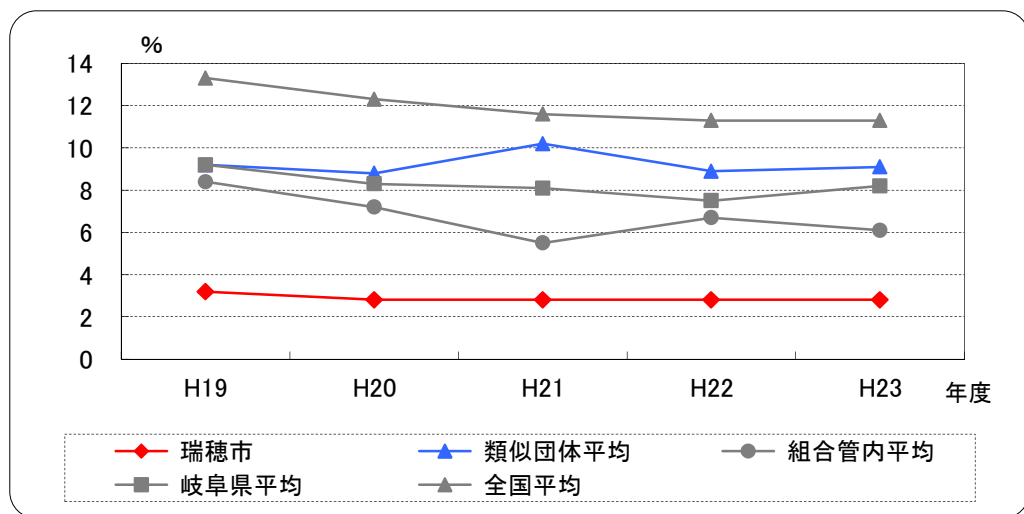


図 3-11 最終処分率の比較

(4)住民満足度

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』に示されているアンケート調査項目について、回答の総合得点により住民満足度指数を算出し評価を行いました。

アンケート調査の結果、4問の平均得点による総合評価は3.7点となり、平均得点3.0点と比較した評価値は「123.3」となりました。

【設問】

問3:ごみの収集(収集回数や分別区分など)に関して満足していますか？

問18:瑞穂市の3R(ごみ減量・再使用・リサイクル)への取り組みに満足していますか？

問19:ごみ処理や3R(ごみ減量・再使用・リサイクル)の情報公開や提供に満足していますか？

問20:瑞穂市の街の清潔さに関して、あなたは満足していますか？

【回答結果】

	そう 思う	ややそ う思う	あまりそう 思わない	そう思 わない	分から ない	総回 答数	有効回 答数	得点	平均点
問 3	92	106	50	12	7	267	260	996	3.8
問 18	55	110	32	9	64	270	206	788	3.8
問 19	37	100	45	10	71	263	192	685	3.6
問 20	34	148	45	9	31	267	236	861	3.6
総合評価									3.7

【集計方法】

- ① 「そう思う」5点、「ややそう思う」4点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」を1点として設問毎に回答の平均得点を算出しました。「分からない」及び無回答は有効回答数に加えません。(平均得点を算出する際の有効回答者数に加えない)平均得点が3.0点以上となれば、よく評価していると判断できます。
- ② 設問毎に平均得点を算出します。(得点の合計÷有効回答者数)なお、それぞれの平均得点が住民満足度に関する補足指標となります。
- ③ 設問毎の平均得点の平均値を算出し、住民満足度の総合評価とします。
- ④ 「分からない」及び「無回答」は回収数に対する割合を算出することにより、住民の認知度を測る指標として活用できます。

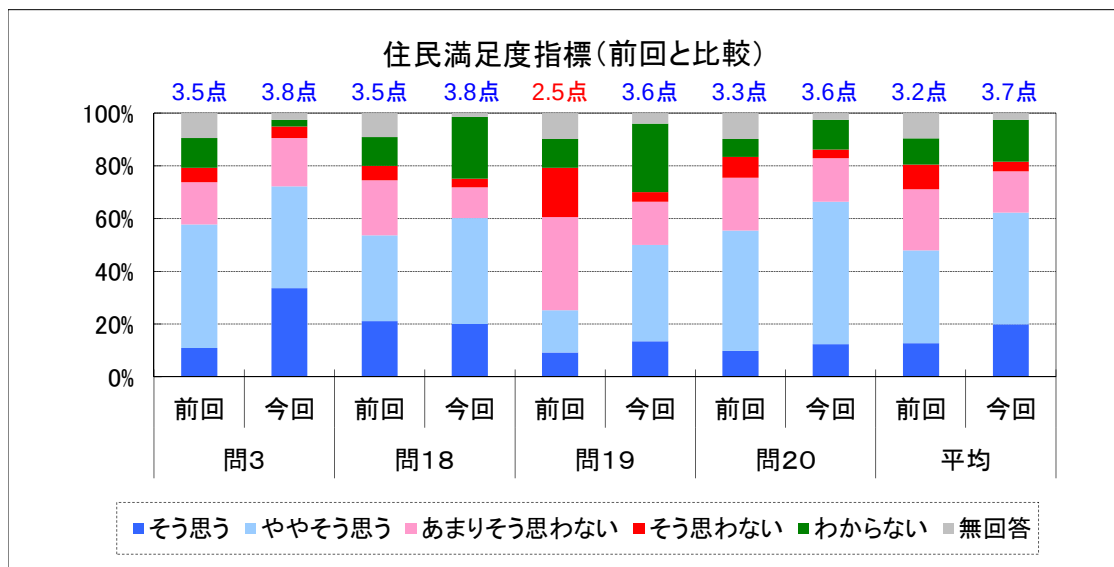


図 3-12 住民満足度指標

アンケート調査の結果、4 問の平均得点による総合評価は 3.7 点となり、前計画策定時のアンケート調査結果の総合評価 3.2 点を上回りました。

特に問 19 は 2.6 点から 3.6 点に急上昇しており、ごみ分別の手引きを全戸配布したことなど、前期に行った施策によって満足度が上昇したと考えられます。

他の設問についても全て満足度が上昇しています。

しかしながら、問 18 及び問 19 の 3R の取り組みや情報公開については、「分からない」及び「無回答」の有効回答数に対する割合は、それぞれ 24.8%、29.9%となっており、市民の皆様にとってより一層わかりやすい情報の提供方法を検討する必要があると考えます。

(5) 1人あたり処理費用

本市における平成23年度の1人あたり処理費用^{注9)}は12,896円であり、平成23年度における全国平均、岐阜県の平均値より下回っていますが、組合管内及び類似団体の平均値より上回っています。

類似団体の平均値10,516円を基準値とした評価値は「77.4」となりました。

表 3-11 1人あたり処理費用の比較

単位：円

年 度	H19	H20	H21	H22	H23
瑞穂市	13,733	14,427	14,269	11,345	12,896
類似団体平均	10,427	10,926	10,570	9,975	10,516
組合管内平均	9,814	9,584	9,971	8,981	9,602
岐阜県平均	14,187	13,902	15,732	15,025	13,787
全国平均	14,600	14,200	14,300	14,400	14,100

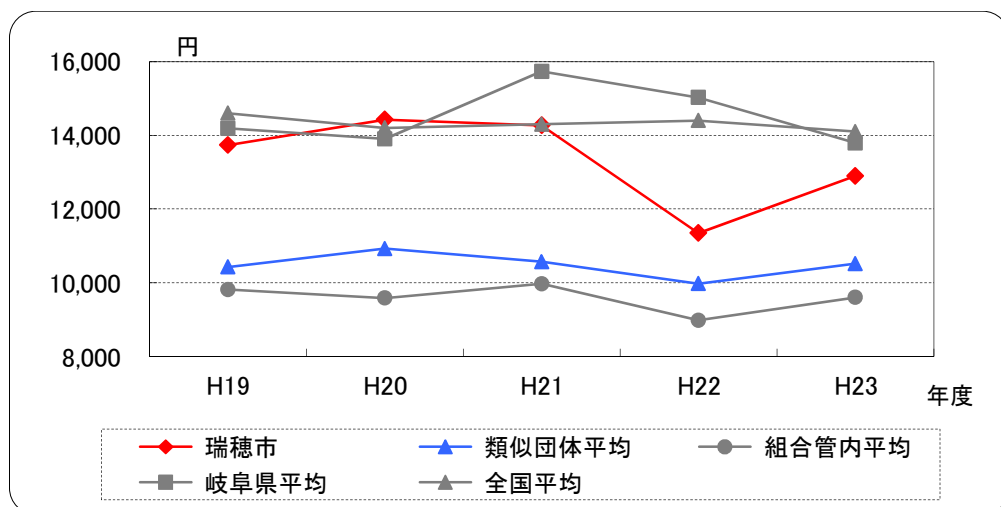


図 3-13 1人あたり処理費用の比較

注 9) 1人あたり処理費用＝ごみ処理にかかった経費（支出－収入）÷人口

(6) ごみ処理の評価

本市における一般廃棄物処理システムについて、環境負荷を出来るだけ低減する「循環型社会づくり（1人1日あたりごみ総排出量、リサイクル率、最終処分率）」及び住民に対する「公共サービス（住民満足度）」という面から見た処理システムの水準並びに処理システムの「費用対効果（1人あたり処理費用）」について、5項目を評価しました。

客観的な評価の方法は、標準的な評価項目について数値化し、当該数値について、「全国平均値」、「岐阜県平均値」、「類似団体の平均値」及び「西濃環境整備組合管内の平均値」それぞれの比較により評価を行いました。

なお、基準値の算出は環境省の行っている「一般廃棄物処理事業実態調査(平成23年度)」からデータを抽出し、平均値の算出に際しては、廃棄物の処理量や人口などを加味した加重平均を用いています。

本市の評価値は、評価項目の基準値を100としたときの指標値の比率(指数)でレーダーチャートに表しており、基準値100よりも大きな値であると高い評価になることから、レーダーチャートの五角形が大きいほど、ごみ処理が優れていると言えます。

図3-14に示した類似団体との比較を見ると、1人あたり処理費用の評価はやや低いものの、最終処分率と住民満足度の評価は高く、レーダーチャートの五角形も大きいため、概ね類似団体の平均値よりも優れていると考えられます。

【評価項目】

- ・1人1日あたりごみ総排出量（ $\text{ごみ総排出量} \div \text{人口} \div \text{年間日数}$ ）
- ・リサイクル率（ $\text{総資源化量（資源ごみ} + \text{集団回収量} + \text{組合による資源化量）} \div \text{ごみ総排出量}$ ）
- ・最終処分率（ $\text{最終処分量} \div \text{ごみ総排出量}$ ）
- ・住民満足度（住民満足度アンケート調査結果）
- ・1人あたり処理費用（ $\text{ごみ処理のかかった経費（支出} - \text{収入）} \div \text{人口}$ ）

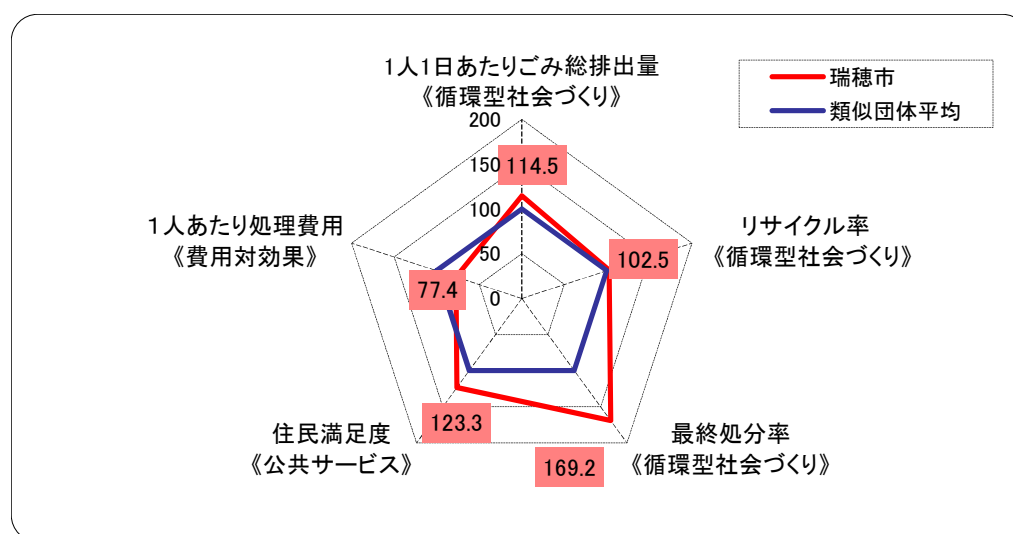


図3-14 一般廃棄物処理システムの評価（類似団体との比較）

第2章 ごみ処理計画

1. 基本的方針

国においては、「循環型社会形成推進基本法」（平成12年6月施行）に基づき、循環型社会の形成に関する取り組みを総合的かつ計画的に推進するため、平成25年5月に「第三次循環型社会形成推進基本計画」が策定されました。この計画では、これまで進展した廃棄物の量に着目した施策に加え、循環の質にも着目し、ごみの資源化（リサイクル）に比べ取り組みが遅れている3R「リデュース、リユース、リサイクル」のうち2R「ごみの発生抑制（リデュース）、ものの再使用（リユース）」の取り組み強化、有用金属の回収、安心・安全の取り組み強化、3R国際協力の推進が新たに盛り込まれ、本市としても循環型社会の構築に向けた新たな取り組みの展開が求められています。

今後は、限りある自然・資源、環境と共生できる資源循環型・環境保全型の街を構築していくという市民・事業者・行政の共通目標を確認し、循環型社会システムを実現するため、以下の基本的原則を設けます。

【廃棄物処理の優先順位】

- ① できる限り廃棄物を出さない。(発生抑制：Reduce)
- ② 同じ形状のまま再利用する。(再使用：Reuse)
- ③ 物質として再資源化し、再生品を優先利用する。(再生利用：Material Recycle)
- ④ エネルギーを回収して利用する。(熱回収：Thermal Recycle)
- ⑤ やむを得ず排出される廃棄物は適正に処理する。(適正処理)

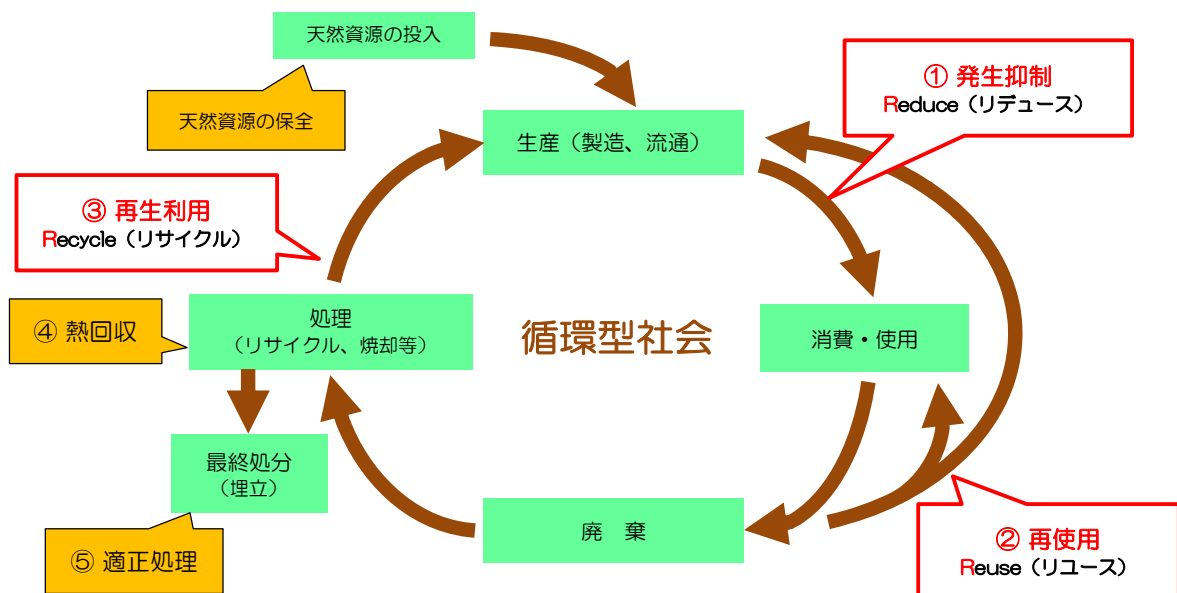


図 4-1 循環型社会のイメージ

2. 数値目標

平成 35 年度における数値目標は、前計画に引き続き 1 人 1 日あたりごみ総排出量とリサイクル率の 2 項目とします。

(1) 1 人 1 日あたりごみ総排出量

平成 24 年度における 1 人 1 日あたりごみ総排出量は 746g/人・日であり、基準年度である平成 19 年度から約 2 割の削減が実現し、前計画で定めた平成 35 年度（目標年次）における目標値 811g/人・日も大きく下回っています。

このことから、1 人 1 日あたりごみ総排出量の目標値は、緩やかな削減を目指し、平成 35 年度の目標値を 702g/人・日に見直します。

1 人 1 日あたりごみ総排出量を、平成 19 年度実績 926g と比べ、
平成 30 年度において、21% 削減し 730g とし、
平成 35 年度において、24% 削減し 702g とします。

(2) リサイクル率

平成 24 年度におけるリサイクル率は 18.3% であり、前計画で定めた平成 25 年度（第 1 次目標年次）の目標値 24% の達成が厳しい状況です。

これは、近年急速に拡大している、金属類や古紙類等の民間回収ルートが増加や、これに伴う集団回収量の減少により、本市が把握できる資源ごみの量が少なくなったことで、リサイクル率が減少傾向に傾いたと考えられます。

市民のリサイクルに対する意識を正しく数値に表すため、民間回収ルートで資源化された量を把握する手法を検討する必要があります。

これらの現状を踏まえて、平成 35 年度におけるリサイクル率については、前計画に定めたとおり目標値を 30% とします。

金属類や古紙類等の民間回収ルートの拡大により減少傾向にあるリサイクル率を、スーパーなど民間で行われている古紙等の回収量を把握し、
平成 30 年度のリサイクル率を 24% に、
平成 35 年度のリサイクル率を 30% にします。

3. ごみの発生量及び処理量の見込み

将来ごみ発生量の予測方法は、図 4-2 に示すとおりです。

将来ごみ量の予測は、人口の将来予測値及び過去 10 年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説』に示された方法です。

家庭系ごみ及び集団回収量については、ごみ種別の発生原単位推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出し、事業系ごみについては、ごみ種別の発生原単位×年間日数で算出しました。

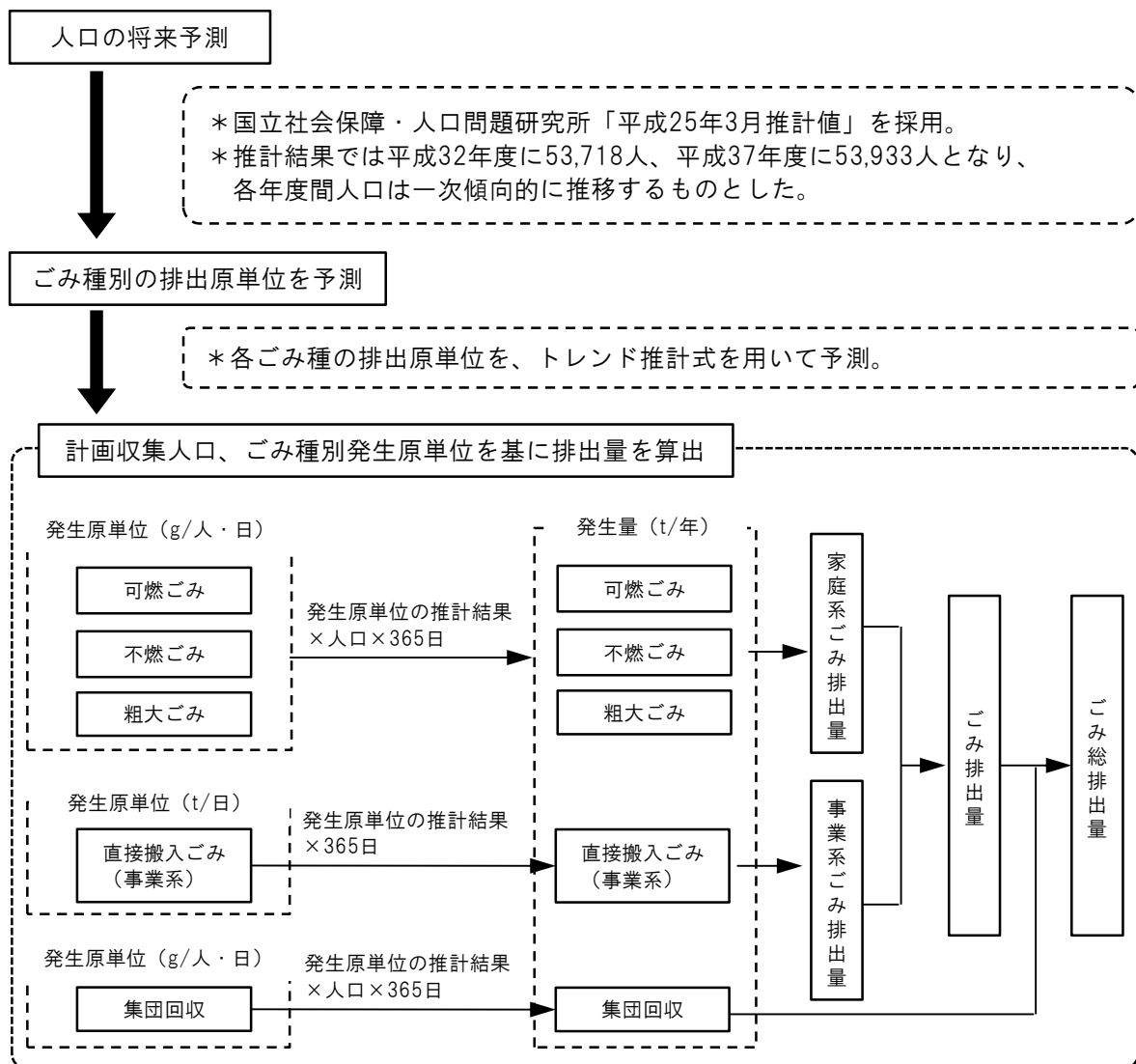


図 4-2 将来ごみ量の予測フロー

(1)人口の将来予測

人口の将来予測は、瑞穂市第1次総合計画の推計人口と国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計値の比較を行い、この値がほぼ等しいことから、国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計値を本計画の将来人口としました。

なお、計画収集人口は行政区域内人口とし、自家処理人口はないものとしました。

表 4-1 人口の将来予測

単位：人		
	年度	人口
実績値	平成20年度	51,126
	平成21年度	51,271
	平成22年度	51,634
	平成23年度	52,083
	平成24年度	52,453
推計値	平成25年度	52,641
	平成26年度	52,872
	平成27年度	53,102
	平成28年度	53,225
	平成29年度	53,348
	平成30年度	53,472
	平成31年度	53,595
	平成32年度	53,718
	平成33年度	53,761
	平成34年度	53,804
	平成35年度	53,847

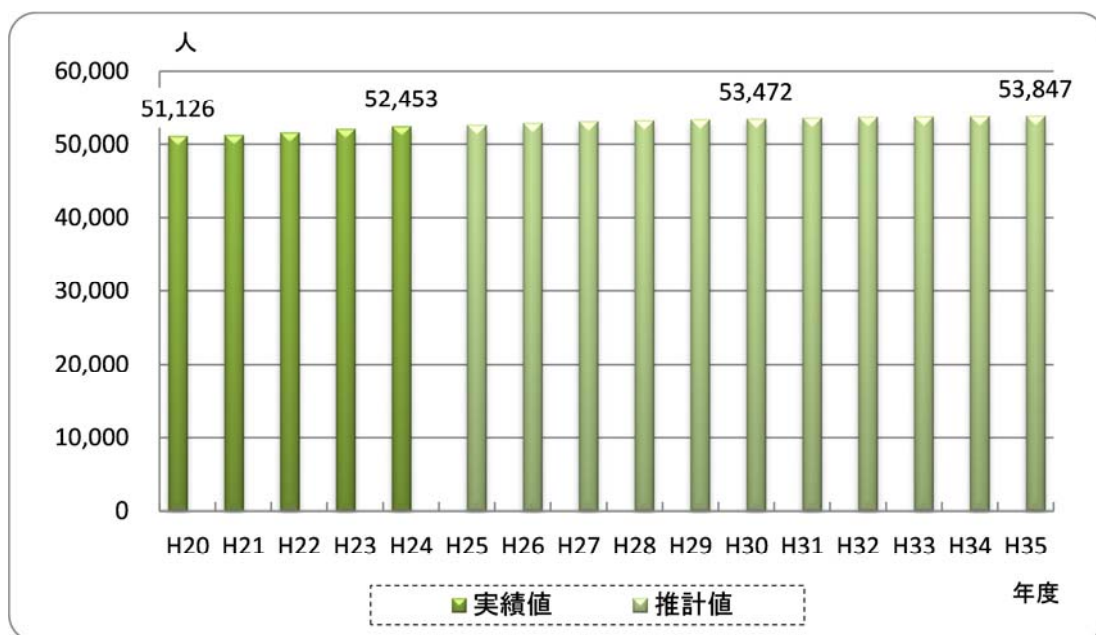


図 4-3 人口の将来予測

(2) ごみ総排出量の将来予測

ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量の将来予測は、表4-2及び図4-4に示すとおりです。

表4-2 ごみ総排出量と1人1日あたり総排出量の将来予測

項 目	単位	実 績						予 測	
年度	-	19	20	21	22	23	24	30	35
計画収集人口	人	50,620	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453	53,472	53,847
可燃ごみ	t	12,926	12,344	11,956	11,685	11,862	11,911	11,563	11,195
粗大ごみ	t	2,023	1,699	1,571	1,568	1,349	671	748	755
資源ごみ	t	1,095	1,497	1,569	1,470	1,205	1,056	1,115	1,074
有害ごみ	t	12	6	13	21	13	12	14	14
集団回収量	t	1,098	1,000	1,472	938	806	636	801	803
ごみ総排出量	t	17,154	16,546	16,582	15,682	15,235	14,285	14,240	13,841
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	926	887	886	832	799	746	730	702
1人1日あたり可燃ごみ量	g/人・日	698	661	639	620	622	622	592	568

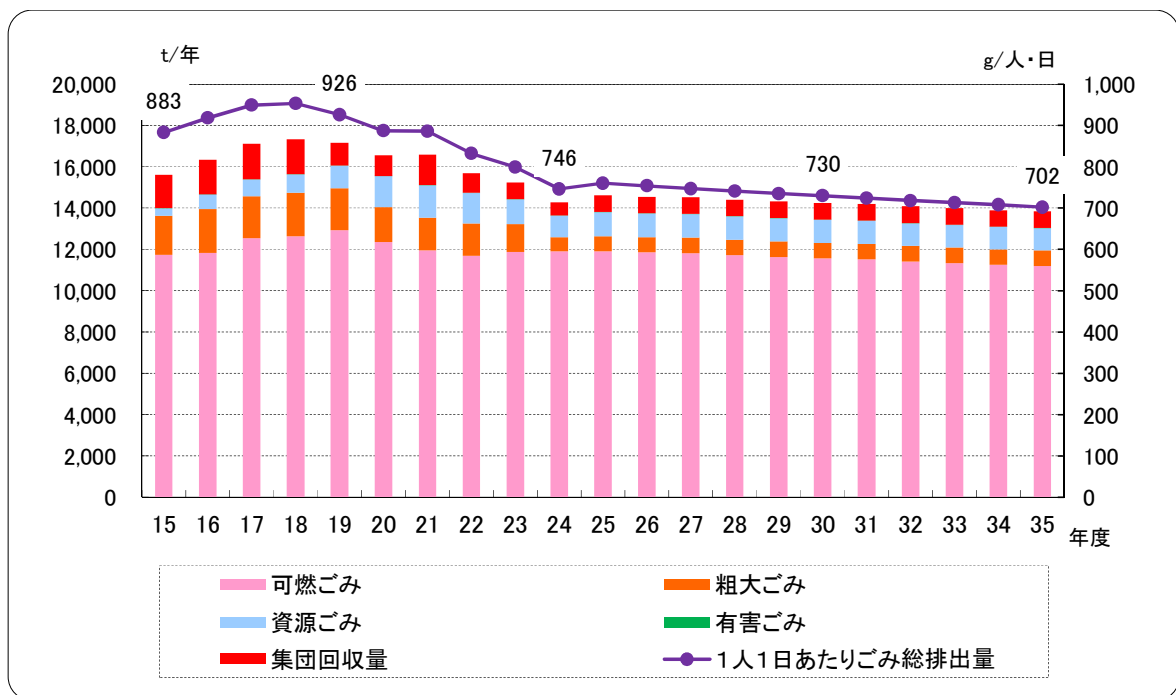


図4-4 ごみ総排出量と1人1日あたり総排出量の将来予測

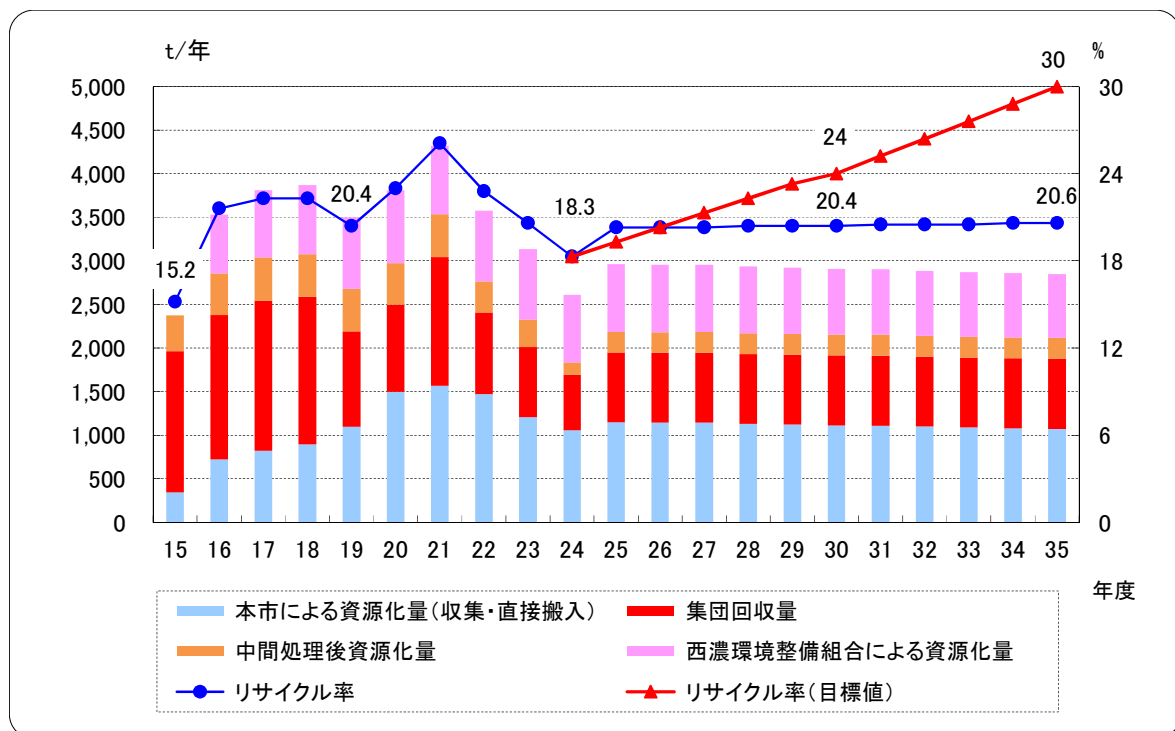
(3) リサイクル率の将来予測

リサイクル率の将来予測は、表 4-3 及び図 4-5 に示すとおりです。

なお、リサイクル率の目標に記載した、民間回収ルートで資源化された量は予測値に含みません。

表 4-3 リサイクル率の将来予測

項 目	単位	実 績						予 測	
年度	-	19	20	21	22	23	24	30	35
本市による資源化量(収集・直接搬入)	t	1,095	1,497	1,569	1,470	1,205	1,056	1,115	1,074
集団回収量	t	1,098	1,000	1,472	938	806	636	801	803
西濃環境整備組合による資源化量	t	820	839	786	809	807	774	755	732
中間処理後資源化量	t	486	474	496	357	316	144	238	241
総資源化量	t	3,499	3,810	4,323	3,575	3,135	2,609	2,909	2,849
リサイクル率	%	20.4	23.0	26.1	22.8	20.6	18.3	20.4	20.6
リサイクル率(目標値)	%	-	-	-	-	-	-	24.0	30.0



※：リサイクル率の予測値に民間回収ルートにおける資源化量を含みません。

図 4-5 リサイクル率の将来予測

(4) 最終処分量の将来予測

最終処分量の将来予測は、表 4-4 及び図 4-6 に示すとおりです。

表 4-4 最終処分率の将来予測

項 目	単位	実 績						予 測	
年度	-	19	20	21	22	23	24	30	35
焼却処理に伴う最終処分量	t	463	387	387	405	385	387	378	366
本市による最終処分量	t	82	78	78	38	41	33	32	32
最終処分量	t	545	465	464	442	426	421	410	398
最終処分率	%	3.2	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9

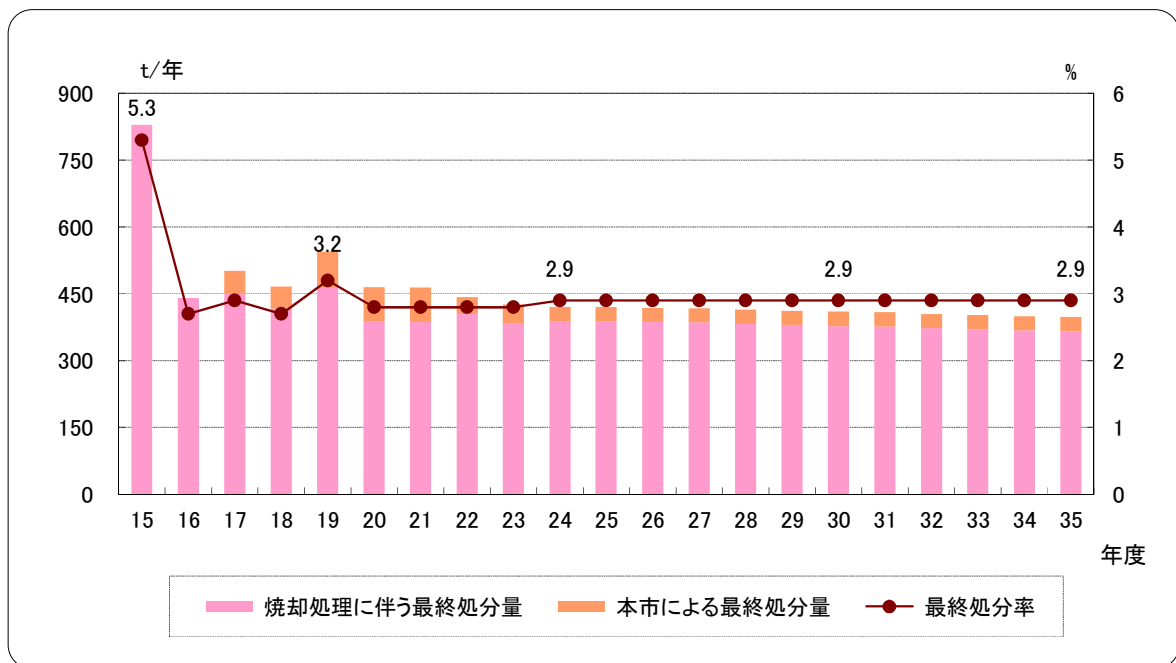


図 4-6 最終処分量の将来予測

4. 目標達成のための施策

「ごみになるもの」の発生抑制から、資源化、適正処理に至るまでのごみ処理の流れの各段階に沿って施策を進めていきます。

(1) 発生抑制のための取り組み

No.1 可燃ごみ及び資源ごみの収集回数を見直します。

- ・ 分別区分の統一に合わせて、可燃ごみの収集回数を週3回から週2回に、資源ごみのうち、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装の収集回数を月1回から月2回に変更します。

No.2 小・中学生のごみに関する学習の機会を提供します。

- ・ 学校との連携によるごみ処理場・美来の森等の施設見学会実施や、職員によるごみに関する出前講座の開催など、小・中学生がごみについて学ぶ機会を提供します。

No.3 家庭での生ごみの減量や堆肥化を推進します。

- ・ 家庭の台所から出る生ごみの堆肥化を、生ごみ処理容器の助成などを実施し推進します。

No.4 マイバッグ持参運動を推進します。

- ・ レジ袋有料化参加店舗などと協働し、マイバック持参運動を推進します。

No.5 フリーマーケット等ごみにしない取り組みを進めます。

- ・ イベントでのフリーマーケット開催支援など、ごみにしないための再使用の取り組みを進めます。

No.6 ごみ分別の手引やホームページで分別方法等の情報を、分かりやすく提供します。

- ・ ごみ分別の手引やホームページの内容を見直し、市民が見てわかりやすい情報を発信します。

No.7 事業系ごみについて広報やホームページにて情報提供や啓発を実施します。

- ・ 事業者の出すごみは、事業系ごみであることを認識してもらうことを目的として、情報提供や啓発を実施します。

No.8 多量排出事業者に対して減量化を指導します。

- ・ 多量に一般廃棄物を排出する事業者に対し、減量化計画の策定指導などを行います。

(2)資源化のための取り組み

No.9 穂積地区と巢南地区の分別区分を統一します。

- ・ 穂積地区において、容器包装プラスチックのステーション回収を行います。
- ・ 巢南地区において、陶磁器・ガラス類のステーション回収を行います。

No.10 美来の森を資源ごみの持ち込み拠点として整備します。

- ・ 美来の森に、市民が資源ごみを持ち込むことのできるエコステーション（仮称）を整備します。

No.11 空き容器回収機の運用方法を検討します。

- ・ 老朽化に伴う耐用年数の超過が懸念される空き容器回収機の、集約と運用方法を検討します。

No.12 小型家電の資源化を進めます。

- ・ 粗大ごみとして処理されている小型家電の資源化を検討します。

No.13 子供会、PTAや自治会などによる集団回収を促進します。

- ・ 各種団体が実施する集団回収について、資源類集団分別回収奨励金交付要綱による奨励金の交付や、回収基材の貸与により、集団回収の促進を支援します。

No.14 民間回収ルートによる資源化量の把握方法を検討します。

- ・ 小売店の駐車場等で実施されている古紙など資源の回収量を市の統計に加えるため、事業者と協働で民間回収ルートによる資源化量の把握方法を検討します。

(3)適正処理のための取り組み

No.15 地域と連携し、ごみステーションの配置や管理のあり方を検討します。

- ・ 自治会と連携し、ごみステーションに関するさまざまな問題を解決します。

No.16 高齢者、障がい者世帯に対するふれあい収集を検討します。

- ・ ステーションまでごみを排出できない高齢者等で支援が必要な世帯を対象として、玄関先までごみを収集に伺う「ふれあい収集」を検討します。

No.17 市の事務・事業でグリーン購入・契約を推進します。

- ・ 市自らも事業者として、グリーン購入・契約など循環型社会の形成に向けた行動を率先して実行します。

(4) 取り組みのスケジュール

本計画で定めた取り組みのスケジュールを、表 4-5 に示します。

表 4-5 取り組みのスケジュール

3つの基本施策		実施時期									
17の具体的な取り組み		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
発生抑制に関する取り組み											
1	可燃ごみ及び資源ごみの収集回数を見直します。	検討	←				実施				→
2	小・中学生のごみに関する学習の機会を提供します。	←					実施				→
3	家庭での生ごみの減量や堆肥化を推進します。	←					実施				→
4	マイバッグ持参運動を推進します。	←					実施				→
5	フリーマーケット等ごみにしない取り組みを進めます。	←					実施				→
6	ごみ分別手引やホームページで分別方法等の情報を、分かりやすく提供します。	←					実施				→
7	事業系ごみについて広報やホームページにて情報提供や啓発を実施します。	←					実施				→
8	多量排出事業者に対して減量化を指導します。	←					実施				→
資源化に関する取り組み											
9	穂積地区と巣南地区の分別区分を統一します。	検討	←				実施				→
10	美来の森を資源ごみの持ち込み拠点として整備します。	←	検討	→			実施				→
11	空き容器回収機の運用方法を検討します。	←	検討	→			実施				→
12	小型家電の資源化を進めます。	←	検討	→			実施				→
13	子供会、PTAや自治会などによる集団回収を促進します。	←					実施				→
14	民間回収ルートによる資源化量の把握方法を検討します。	←		検討	→			実施			→
適正処理に関する取り組み											
15	地域と連携し、収集ステーションの配置や管理のあり方を検討します。	←					実施				→
16	高齢者、障がい者世帯に対するふれあい収集を検討します。	←	検討	→			実施				→
17	市の事務・事業でグリーン購入・契約を推進します。	←					実施				→

5. ごみ処理に関する基本的事項

(1) 目標年次のごみ処理フロー

目標年次である平成 35 年度のごみ処理フローは、図 4-7 に示すとおりです。

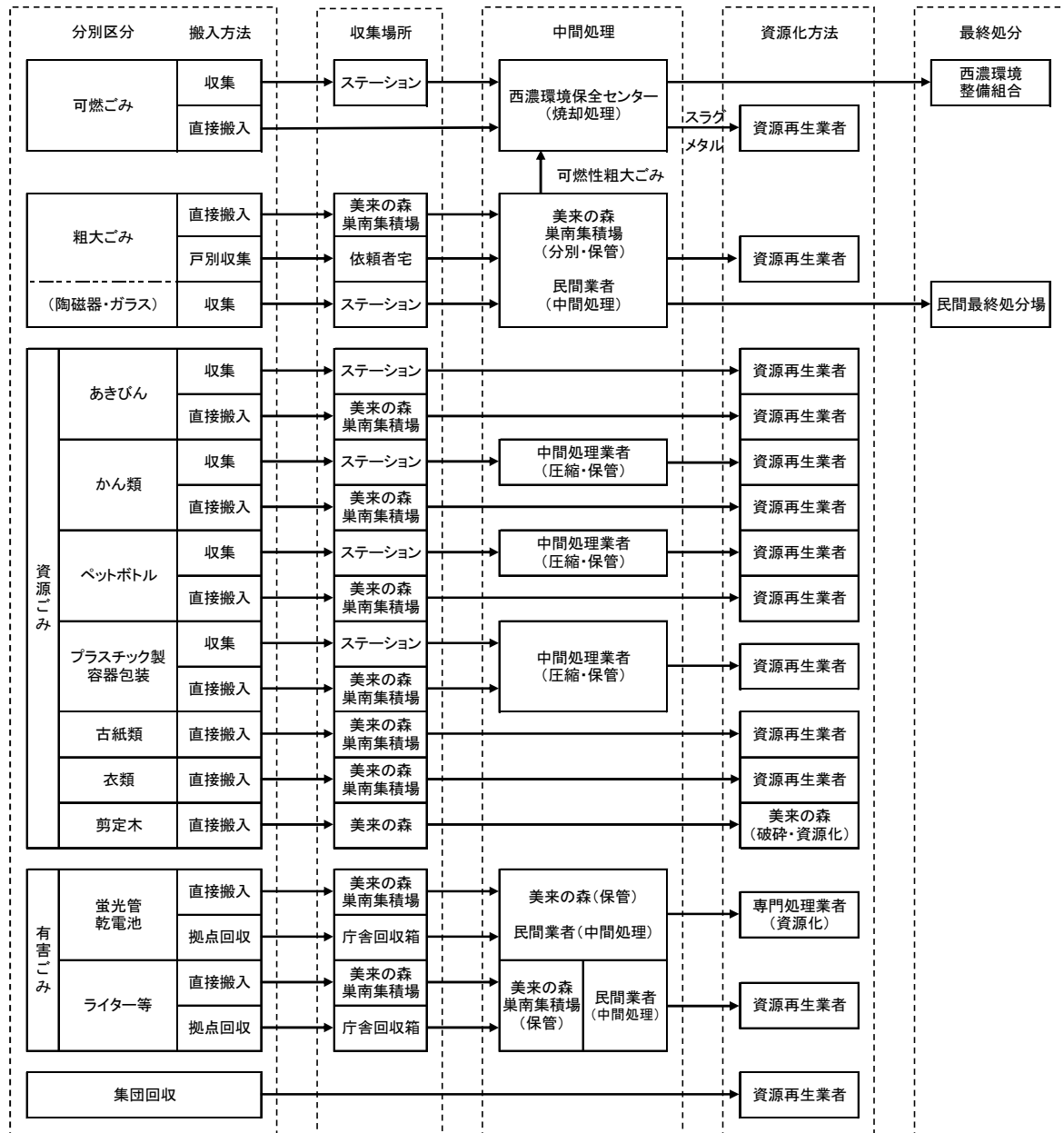


図 4-7 目標年次（平成 35 年度）のごみ処理フロー

(2) 収集・運搬計画

収集・運搬は、ごみ処理における市民との接点であり、ごみの排出方法や分別方法及び収集方法によっては、環境や衛生面の影響が大きく重要な部門です。

市民のニーズに合わせながら、今後の社会状況の変化に合わせた効率的かつ環境・衛生面に留意した収集を行い、中間処理を行う施設へより効率的な運搬に努めます。

① 収集形態・収集回数

平成 35 年度における家庭系ごみの収集は、表 4-6 に示すとおりです。

なお、事業系ごみについては、現状と同様に自己搬入または許可業者による随時収集とします。

- ・ 可燃ごみは、週 2 回の委託業者によるステーション収集とします。
- ・ 粗大ごみは、戸別収集もしくは、美来の森及び巢南集積場への持ち込みとします。
- ・ 粗大ごみのうち陶磁器・ガラス類は、月 1 回のステーション収集とします。
- ・ 資源ごみは、あきびんは現状と同様に月 1 回のステーション収集とし、かん類、ペットボトル、プラスチック製容器包装については月 2 回のステーション収集とします。飲料用ペットボトル及び缶の回収機は、老朽化に伴う耐用年数の超過が懸念されることから段階的な集約を検討します。

表 4-6 収集・運搬体制（平成 35 年度）

項目		収集形態	収集方法	収集頻度
可燃ごみ		委託	ステーション	週 2 回
粗大ごみ		—	直接搬入 戸別収集	—
(陶磁器・ガラス類)		委託	ステーション	月 1 回
資源 ご み	あきびん	委託	ステーション	月 1 回
	かん類	委託	ステーション	月 2 回
	ペットボトル	委託	ステーション	月 2 回
	プラスチック 製容器包装	委託	ステーション	月 2 回

② 排出禁止物

ごみの適正かつ効率的な処理のため、以下に示すものを排出禁止物とします。

- ・ 有毒性のあるもの
農薬、劇薬とその容器、バッテリー、その他有害性のあるもの。
- ・ 感染性のある物
鋭利な物（注射器、注射針）、血液、血液製剤等、その他感染の恐れがある物。
- ・ 危険性・引火性のある物
火薬類、ガスボンベ、塗料、その他危険性のあるもの。消火器、ガソリン、廃油（食用油を除く）、灯油、その他引火性のあるもの。
- ・ 著しく悪臭を発する物やその他処理が困難な物
分別していないごみ、オートバイ・スクーター、自動車、家電リサイクル 6 品目、パソコン本体、ノートパソコン。

③ 在宅医療廃棄物

在宅医療廃棄物については、感染性を有した鋭利なもの以外（血の付いた包帯、ガーゼ、おむつ等）については可燃ごみとして本市で委託業者により収集運搬し、西濃環境整備組合で焼却処理を行うものとします。

なお、注射器やカテーテルなどの感染性を有している鋭利なものについては、医師会や薬剤師会等と連絡を密に取りながら、適正な処理を行うことができるよう調整を行います。

④ 収集・運搬体制

- ・ 自治会等が設置・管理するステーション回収方式を継続します。
- ・ 住民ニーズに対応するため、委託収集を継続します。
- ・ 委託業者と連携を図りながら、迅速な収集の促進を図ります。
- ・ 環境面・衛生面に留意しながら、業務の効率化を図ります。
- ・ 排出量に応じた負担の公平化と、排出抑制を一層推進するため、可燃ごみ処理手数料の見直しを随時行います。
- ・ ステーションまでごみを排出できない高齢者等で支援が必要な世帯を対象として、玄関先までごみを収集に伺う「ふれあい収集」を検討します。

(3) 中間処理の計画

目標年次である平成 35 年度における中間処理の方法は、以下に示すとおりです。

① 可燃ごみ

可燃ごみは、現状と同様、西濃環境整備組合の焼却施設で処理します。

組合の焼却施設については、平成 24 年 3 月に組合が策定した長寿命化計画に基づき、温室効果ガス排出量削減や、エネルギー回収率の向上について、組合と協力して取り組みます。

② 粗大ごみ

戸別収集もしくは市民により直接持ち込まれた粗大ごみは、美来の森及び巣南集積場（以下、「美来の森等」という。）で分別、保管後に中間処理業者で破碎・選別処理を行い、可燃物、資源物と不燃残渣に分類し、それぞれ処理・処分を行います。

③ 空きびん（資源ごみ）

収集もしくは市民により美来の森等に持ち込まれた空きびんは、資源再生業者に引き渡します。

④ かん類（資源ごみ）

収集もしくは市民により美来の森等に持ち込まれたかん類は、中間処理業者で選別・圧縮後、資源再生業者に引き渡します。

⑤ ペットボトル（資源ごみ）

収集もしくは市民により美来の森等に持ち込まれたペットボトルは、中間処理業者で圧縮後、資源再生業者に引き渡します。

⑥ プラスチック製容器包装（資源ごみ）

収集もしくは市民により美来の森等に持ち込まれたプラスチック製容器包装は、中間処理業者で選別・圧縮後、資源再生業者に引き渡します。

⑦ 古紙類（資源ごみ）

市民により美来の森等に持ち込まれた古紙類は、資源再生業者に引き渡します。

⑧ 衣類（資源ごみ）

市民により美来の森等に持ち込まれた衣類は、資源再生業者に引き渡します。

⑨ 剪定木（資源ごみ）

市民により美来の森に持ち込まれた剪定木は、美来の森で破砕処理によりチップとして資源化します。

⑩ 有害ごみ

市民により庁舎回収箱及び美来の森等に持ち込まれた乾電池、蛍光灯などの有害ごみは、美来の森で一定量に達するまで保管後、専門の処理業者で処理・処分を行います。

（４）最終処分計画

本市は一般廃棄物最終処分場を保有しておらず、最終処分量は類似団体と比較すると少ない状況ですが、埋立物は無くならないことから最小限にとどめ、今後も民間業者に委託し処分します。

なお、可燃ごみの処理を委託している西濃環境整備組合は、平成 28 年度の埋立開始予定の一般廃棄物最終処分場を建設中です。

6. ごみ処理施設の整備に関する事項

家庭から出た資源ごみを持ち込める施設として、美来の森にエコステーション（仮称）を整備します。

平成 24 年 4 月まで廃棄物焼却施設のストックヤードとして利用していた建物を改修し、家庭で分別したびん、缶、ペットボトルなどの資源ごみと乾電池などの有害ごみを持ち込める施設とします。



参考：岐阜市柳津資源ステーション

7. その他ごみ処理に関し必要な事項

（1）廃棄物減量等推進審議会

市における廃棄物の減量化対策を実効あるものとするため、廃棄物減量等推進審議会の積極的活用を推進します。

（2）災害対策

震災時及び水害時に発生する災害廃棄物の処理は、防災的観点から「震災廃棄物対策指針」（平成 10 年 10 月）及び「水害廃棄物対策指針」（平成 17 年 6 月）に基づき策定した、「災害廃棄物処理計画」（平成 24 年 3 月）に基づき実施します。

（3）不適正排出及び不法投棄対策

不適正排出については、ごみの分別やごみ収集日などのごみ排出ルールがまだ完全に浸透していないことから、ごみの適正排出適正処理に向けた啓発を推進します。

不法投棄については、違法行為であることや環境の汚染につながることを啓発するとともに、不法投棄に向けた活動や指導をさらに推進します。

第 3 部 生活排水処理基本計画

第 1 章 生活排水処理の基本的事項

1. 生活排水処理の現状と課題

(1) 生活排水処理の沿革

生活排水処理に係る処理施設には、集合処理施設（下水道、農業集落排水処理施設、コミュニティプラント^{注10)} など）及び、個別処理施設（浄化槽など）があります。

本市では現在、特定環境保全公共下水道（西処理区）、農業集落排水処理施設（呂久処理区）及びコミュニティプラント（別府処理区）を整備して、生活排水の集合処理を進めています。

集合処理の推進策として、集合処理区域での住宅改築などによる水洗化を促進するため、「瑞穂市排水設備等改造助成金交付規則」及び「瑞穂市排水設備等改造資金融資あっ旋及び利子補給に関する規則」を定めて補助金ならびに融資あっ旋（利子補給含む）を実施し、接続率向上に努めています。

より広範囲を対象区域とする公共下水道の整備については、平成 24 年 3 月に「瑞穂市公共下水道全体計画」を策定し、平成 33 年度の供用開始を目指しています。

合併浄化槽については、かつて、宅地開発や規模の大きな施設を中心に設置されてきましたが、平成 10 年 4 月の「岐阜県浄化槽の設置に関する指導要綱」の制定、さらに、平成 13 年 4 月の浄化槽法改正に伴い、公共用水域に排出される汚濁負荷量が多い単独処理浄化槽の設置が禁止され、近年、一般家庭などについても合併浄化槽の普及が進んできました。

本市においては、平成 15 年度の本市誕生当初から合併処理浄化槽を設置するものに対して補助金を交付する制度を設け、合併浄化槽の普及に努めています。

新設が原則廃止となった、し尿のみを処理する単独処理浄化槽は、便所の水洗化に伴いし尿くみ取りから切り替えられてきましたが、まだ浄化槽の 6 割を占めており、既設のものについては早期に集合処理施設や合併浄化槽への転換を進めています。

本市のし尿の収集・運搬については、本市が許可した業者が行っています。

(2) 生活排水の処理主体

本市における生活排水の処理主体は、表 5-1 に示すとおりです。

表 5-1 生活排水の処理主体

区域	処理施設の種類	対象となる生活排水	処理主体
集合処理	特定環境公共下水道	し尿及び生活雑排水	本市
	農業集落排水処理施設	し尿及び生活雑排水	本市
	コミュニティプラント	し尿及び生活雑排水	本市
個別処理	合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水	個人等
	単独処理浄化槽	し尿	個人等
	し尿処理施設	し尿及び浄化槽汚泥	もとす広域連合

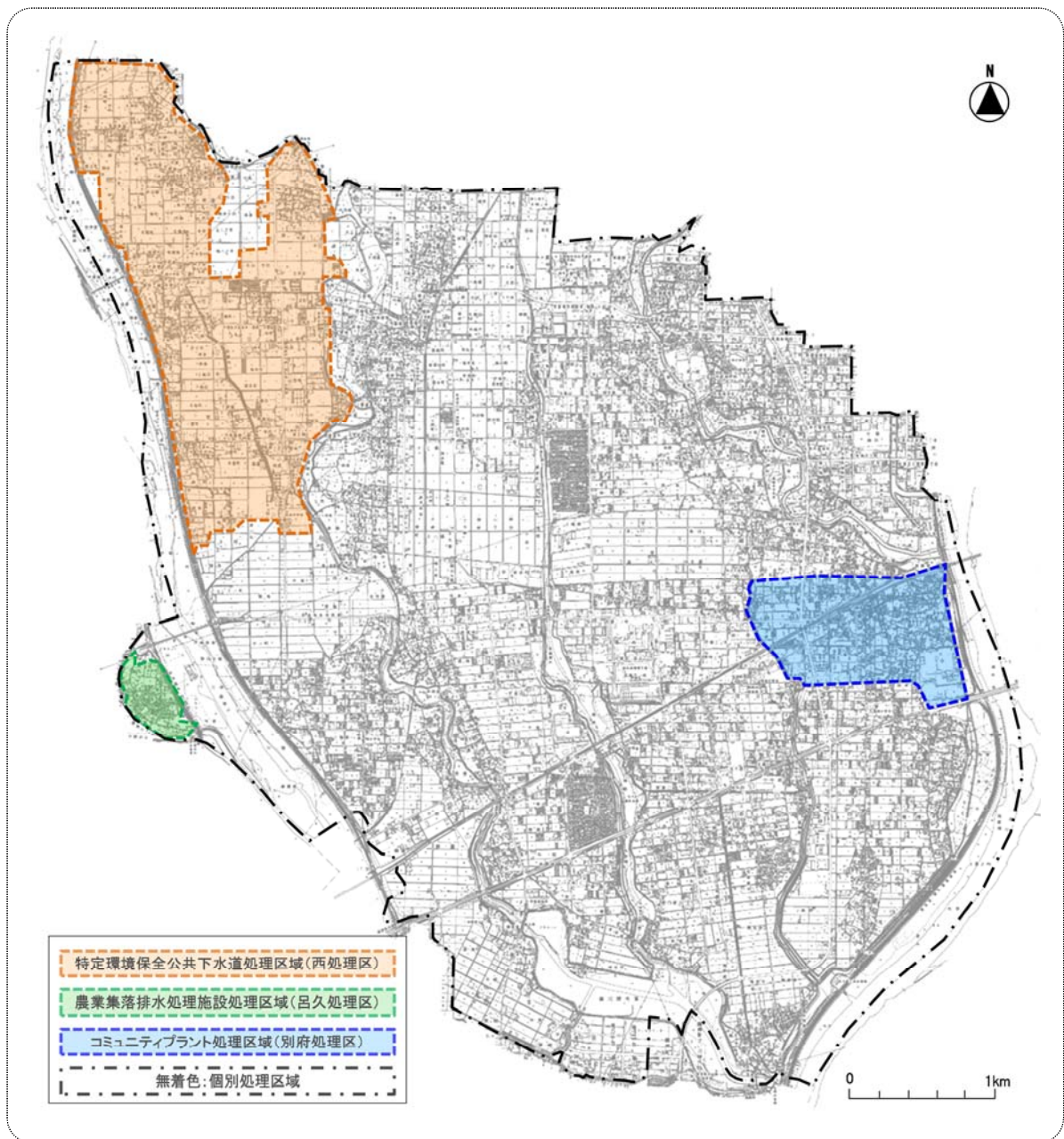


図 5-1 生活排水処理区域の概要

注 10) 以下文中で、特定環境保全公共下水道を「特環」、農業集落排水処理施設を「農集」、コミュニティプラントを「コミプラ」と略す場合があります。

(3) 生活排水処理体系の現状

平成 24 年度における本市の生活排水処理の流れは、図 5-2 に示すとおりです。

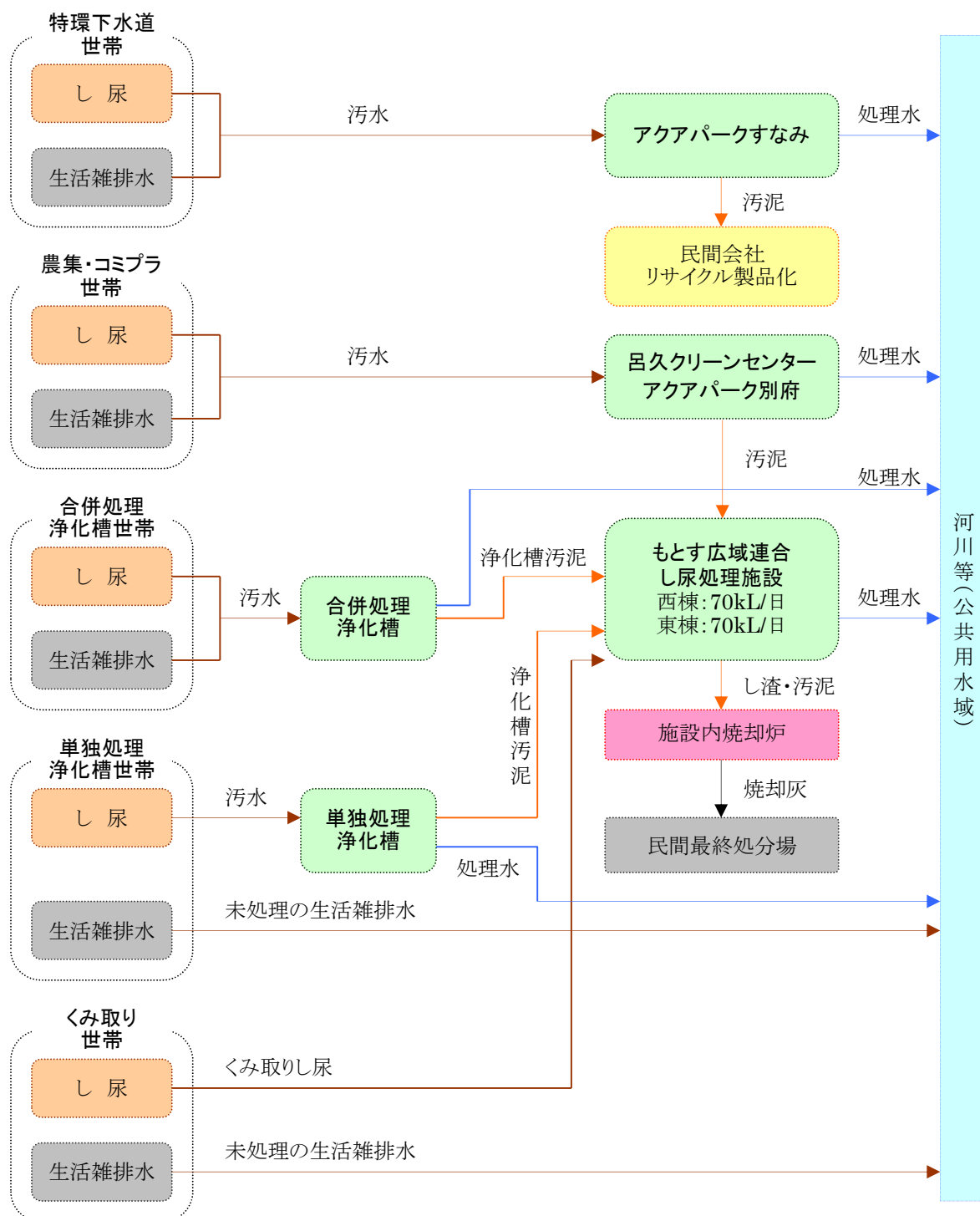


図 5-2 生活排水処理の流れ

(4)生活排水処理形態別人口の推移

本市における過去 5 年間の生活排水処理形態別人口の推移は、表 5-2 及び図 5-3 に示すとおりです。

平成 24 年度における本市の生活排水処理率^{注 11)}は、49.5%となっています。

表 5-2 生活排水処理形態別人口の推移

区 分	単位	H20	H21	H22	H23	H24
計画処理区域内人口	人	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453
水洗化・生活雑排水処理人口	人	21,217	22,867	23,545	24,781	25,978
特環公共下水道人口	人	2,744	2,783	2,860	2,840	2,821
農業集落排水人口	人	482	472	470	452	444
コミュニティプラント人口	人	1,330	1,419	1,560	1,610	1,621
合併処理浄化槽人口	人	16,661	18,193	18,655	19,879	21,092
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810
単独処理浄化槽人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810
非水洗化人口	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665
し尿人口（くみ取り）	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
世 帯 数	戸	18,184	18,374	18,587	18,850	19,154
1 世帯当たりの人数	人/戸	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7
生活排水処理率	%	41.5	44.6	45.6	47.6	49.5

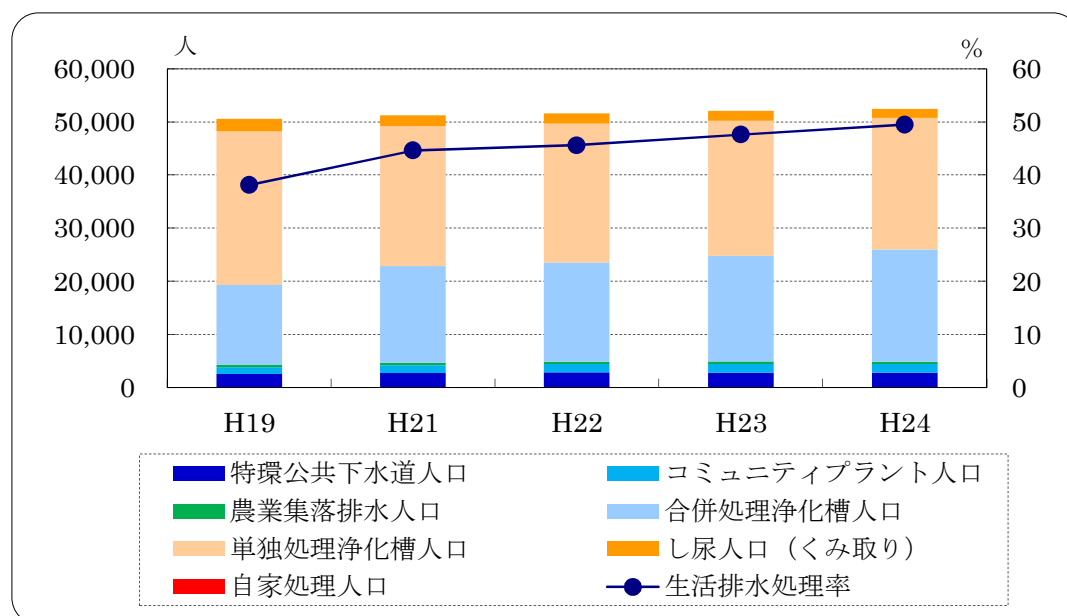


図 5-3 生活排水処理形態別人口の推移

注 11) 生活排水処理率＝水洗化・生活雑排水処理人口÷計画処理区域内人口

(5) し尿及び汚泥の排出状況

本市における過去 5 年間のし尿及び浄化槽汚泥排出量及び浄化槽設置基数の推移は、表 5-3 及び図 5-4 に示すとおりです。

表 5-3 し尿及び汚泥排出量の推移

区 分		単位	H20	H21	H22	H23	H24
収 集 量	し 尿	kL/年	1,046	1,002	968	906	850
	浄化槽汚泥合計	kL/年	27,612	28,630	29,183	30,509	30,969
	浄化槽汚泥	kL/年	27,444	28,428	28,895	30,225	30,688
	農業集落排水汚泥	kL/年	168	167	164	164	161
	コミプラ汚泥	kL/年	0	35	124	120	120
	合 計	kL/年	28,658	29,632	30,151	31,415	31,818
	1 日平均排出量	kL/日	78.5	81.2	82.6	85.8	87.2
設 置 数	浄化槽設置基数	基	12,634	11,143	11,420	11,709	11,802
	合併処理浄化槽基数	基	4,214	3,242	3,948	4,430	4,713
	単独処理浄化槽基数	基	8,420	7,901	7,472	7,279	7,089

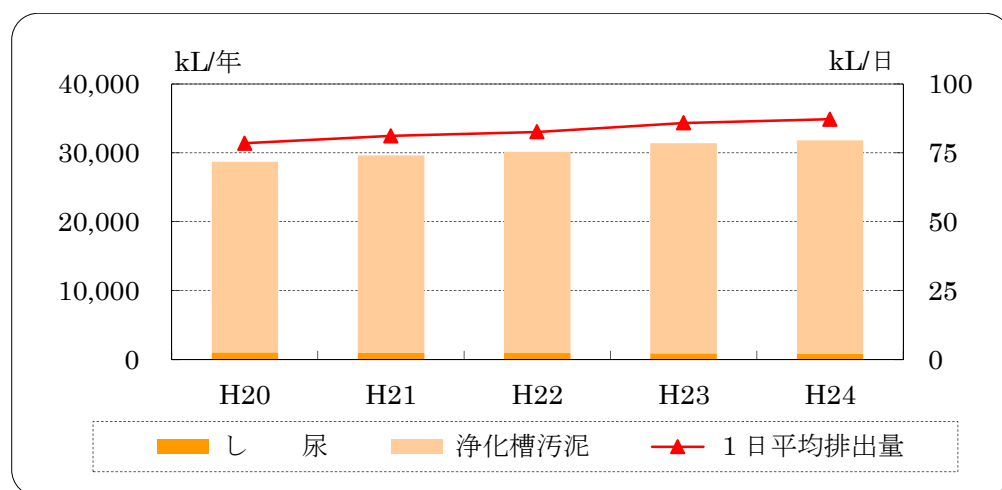


図 5-4 し尿及び汚泥排出量の推移

(6) 収集・運搬の現状

本市におけるし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬方法等は表 5-4 に示すとおりです。

表 5-4 収集運搬方法等

項 目	収集運搬方法	業者数	収集回数
し 尿	許可制	2 社	随時（穂積地区）月 1 回（巣南地区）
浄化槽汚泥	許可制	2 社	随時

出典：瑞穂市

(7) 生活排水処理施設の現状

本市における中間処理施設の位置は図 5-5 に、各施設の概要は表 5-5～表 5-8 に示すとおりです。



図 5-5 中間処理施設位置図

表 5-5 特定環境保全公共下水道（西処理区）の概要

施設名	アクアパークすなみ
施設所管	瑞穂市
所在地	瑞穂市大月 1260 番地
計画処理面積	約 146ha
計画処理人口	5,800 人
計画汚水量	3,070m ³ /日（日最大）
水処理方式	オキシデーションディッチ法
汚泥処理方式	機械脱水処理→場外搬出

出典) 瑞穂市

表 5-6 農業集落排水処理施設（呂久処理区）の概要

施設名	呂久クリーンセンター
施設所管	瑞穂市
所在地	瑞穂市呂久 1445 番地 1
計画処理面積	約 9.5ha
計画処理人口	700 人
計画汚水量	189m ³ /日（日最大）
水処理方式	JARUS-Ⅲ型
汚泥処理方式	濃縮→貯留→場外搬出

出典）瑞穂市

表 5-7 コミュニティプラント（別府処理区）の概要

施設名	アクアパーク別府
施設所管	瑞穂市
所在地	瑞穂市別府 881 番地 1
計画処理面積	約 96.4ha
計画処理人口	6,350 人
計画汚水量	3,300m ³ /日（日最大）
水処理方式	オキシデーションディッチ法
汚泥処理方式	濃縮→貯留→場外搬出

出典）瑞穂市

表 5-8 し尿処理施設の概要

施設名	もとす広域連合衛生施設
施設所管	もとす広域連合（瑞穂市、本巣市、本巣郡北方町）
所在地	瑞穂市生津天王東町 2 丁目 57 番地
計画処理人口	113,000 人
計画汚水量	140m ³ /日
水処理方式	標準脱窒素処理方式
汚泥処理方式	濃縮→脱水→乾燥→焼却→場外搬出
処理対象物	し尿・浄化槽汚泥

出典）もとす広域連合

もとす広域連合衛生施設の処理実績は、表 5-9 及び図 5-6 に示すとおりです。

表 5-9 もとす広域連合衛生施設処理実績

区 分	単位	H20	H21	H22	H23	H24
し 尿	kL/年	2,469	2,345	2,187	2,047	1,921
浄化槽汚泥	kL/年	52,100	51,286	51,163	53,946	52,446
農業集落排水汚泥	kL/年	4,128	3,191	3,000	2,851	4,782
コミプラ汚泥	kL/年	0	35	124	120	120
合 計	kL/年	58,697	56,857	56,474	58,964	59,269
	kL/日	160.8	155.8	154.7	161.1	162.4
浄化槽汚泥混入率	%	95.8	95.9	96.1	96.5	96.8

注) 浄化槽汚泥混入率 = (浄化槽汚泥 + コミプラ汚泥 + 農集汚泥) ÷ 総搬入量

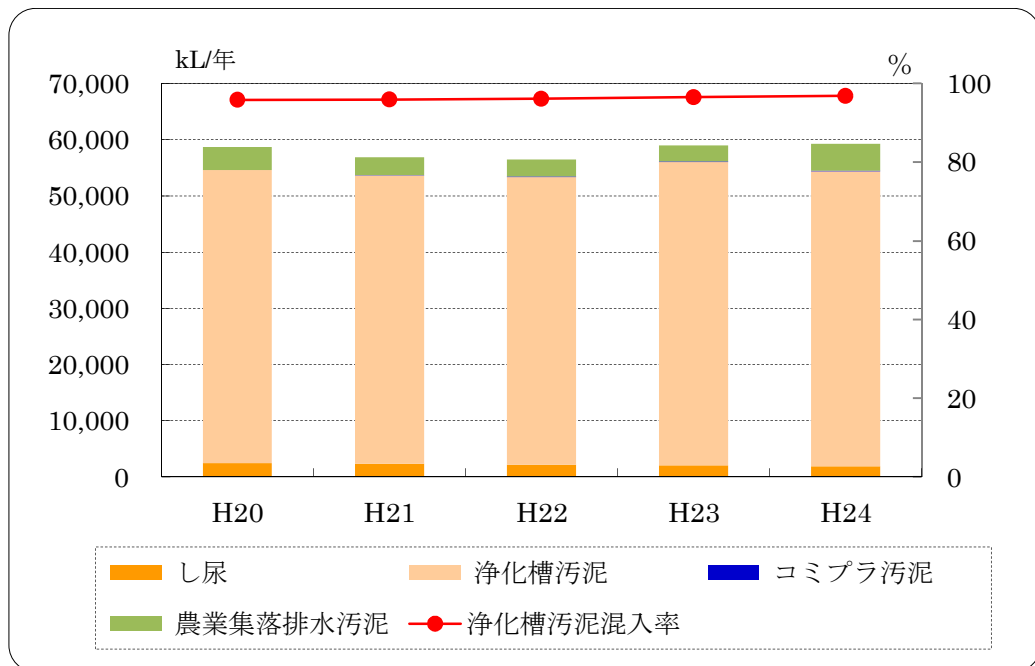


図 5-6 し尿・浄化槽汚泥の搬入実績

(8)生活排水処理事業の課題

本市における生活排水処理の現状を考慮し生活排水処理事業の課題を整理すると、次のとおりです。

① 生活排水処理の課題

岐阜県及び全国的生活排水処理の実態について、「平成 23 年度一般廃棄物処理実態調査」(環境省)によると、岐阜県的生活排水処理率は 78.6%でした。

岐阜県では下水道整備の推進などによる生活排水処理が進められており、生活排水処理率の向上によって、公共用水域の水質保全が図られています。

平成 23 年度における本市と岐阜県及び全国との生活排水処理形態別人口の比較は、表 5-10 に示すとおりです。

表 5-10 生活排水処理形態別人口の比較

区 分	単位	瑞穂市	岐阜県	全国
計画処理区域内人口	人	52,083	2,025,425	127,146,311
水洗化・生活雑排水処理人口	人	24,781	1,591,633	104,370,910
下水道人口	人	2,840	1,230,899	89,809,594
コミュニティプラント人口	人	1,610	11,213	285,623
合併処理浄化槽人口	人	20,331	349,521	14,275,693
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	25,478	310,055	13,315,639
単独処理浄化槽人口	人	25,478	310,055	13,315,639
非水洗化人口	人	1,824	123,737	9,459,762
し尿人口(くみ取り)	人	1,824	123,183	9,348,252
自家処理人口	人	0	554	111,510
生活排水処理率	%	47.6	78.6	82.1

注) 農業集落排水人口は合併浄化槽人口に含む。

本市では、集合処理区域での住宅改築などによる水洗化の促進策(「瑞穂市排水設備等改造助成金交付規則」及び「瑞穂市排水設備等改造資金融資あっ旋及び利子補給に関する規則」)や、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を図る施策(浄化槽設置整備事業)を実施して生活排水処理率の向上を図ってきましたが、平成 23 年度的生活排水処理率 47.6%は、全国の 82.1%や岐阜県の 78.6%を大きく下回っています。

国道 21 号線や鉄道沿線など比較的住宅などが集中している地域では集合処理の利点を活かして、公共下水道の整備を推進する一方、農地などが広がり住宅等が散在する地域では個別処理の利点を活かして、既設の汲取り便所や単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換を促進することにより、生活排水処理率を改善する必要があります。

② 浄化槽の適正な維持管理の課題

浄化槽の保守点検・清掃・定期検査（浄化槽の 3 つの義務）について、岐阜県は全国でも受験率の高い地域（11 条定期検査受験率：86.4%・平成 23 年度）ではありますが、依然として浄化槽の 3 つの義務を行っていない世帯があります。こうした世帯においては、浄化槽が適正に機能せず周辺環境へ著しい影響を及ぼす可能性があり、一層の周知を図る必要があります。

③ 下水道整備の課題

公共下水道においては、平成 24 年 3 月に策定した公共下水道全体計画に基づき、平成 33 年度の供用開始を目指した整備が必要です。

すでに整備済みの特定環境保全公共下水道、コミュニティプラントについては、接続率の向上が課題です。

表 5-11 下水道接続率（平成 24 年度）

区 分	整備区域人口	接続人口	水洗化率
特定環境保全公共下水道	4,422 人	2,821 人	63.8 %
農業集落排水処理施設	450 人	444 人	98.7 %
コミュニティプラント	3,834 人	1,621 人	42.3 %

注）水洗化率＝接続人口÷整備区域人口×100

④ し尿・浄化槽汚泥処理の課題

平成 24 年度におけるもとす広域連合し尿処理施設への搬入量は、162.4kL/日と施設の処理能力 140kL/日を超えています。

今後は構成市町で下水道整備が進むに従い、し尿・浄化槽汚泥の搬入量が減少すると考えられるものの、浄化槽汚泥混入率が約 97%と極めて高いことから、処理機能への影響が懸念されます。

また、西棟の施設は稼働後 30 年が経過し、その耐用年数が近づいていることから、今後は平成 23 年度作成の長寿命化計画に基づく施設管理が必要です。

2. 生活排水処理の将来予測

(1) 将来予測の流れ

本計画における生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥処理量の将来予測の流れは、図 5-7 に示すとおりです。

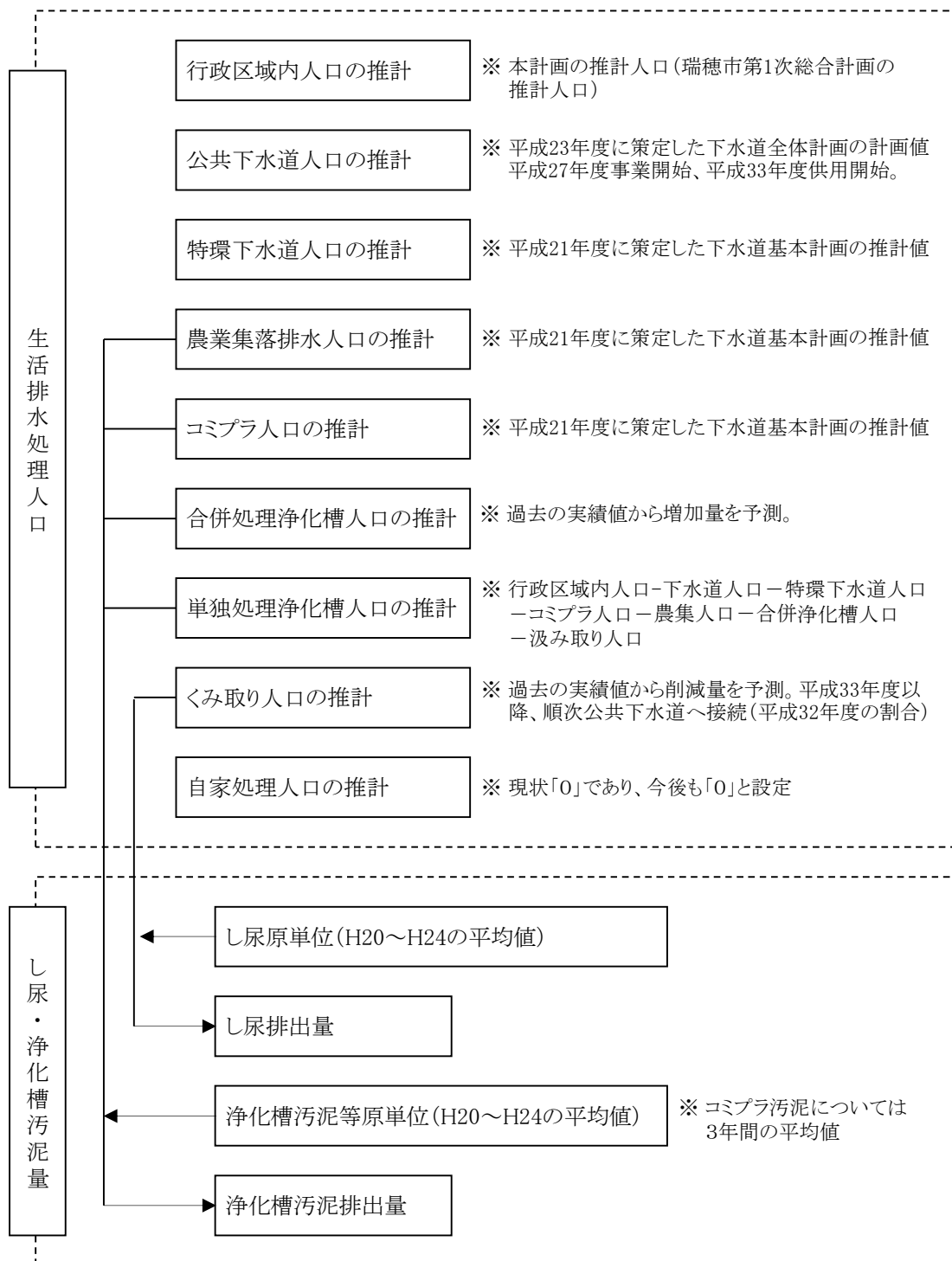


図 5-7 生活排水処理の将来予測方法

(2) 処理形態別人口の将来予測結果

生活排水処理形態別人口の将来予測結果は、表 5-12 及び図 5-8 に示すとおりです。目標年度である平成 35 年度の生活排水処理率は 89.0%となります。

表 5-12 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

区 分	単位	実績					予測	
		H20	H21	H22	H23	H24	H30	H35
計画処理区域内人口	人	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453	52,952	53,847
水洗化・生活雑排水処理人口	人	21,217	22,867	23,545	24,781	25,978	34,720	47,917
公共下水道人口	人	0	0	0	0	0	0	6,363
特環公共下水道人口	人	2,744	2,783	2,860	2,840	2,821	3,916	4,576
農業集落排水人口	人	482	472	470	452	444	513	539
コミュニティプラント人口	人	1,330	1,419	1,560	1,610	1,621	2,957	3,831
合併処理浄化槽人口	人	16,661	18,193	18,655	19,879	21,092	27,334	32,608
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810	17,127	5,427
単独処理浄化槽人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810	17,127	5,427
非水洗化人口	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665	1,105	503
し尿人口（くみ取り）	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665	1,105	503
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	41.5	44.6	45.6	47.6	49.5	65.6	89.0

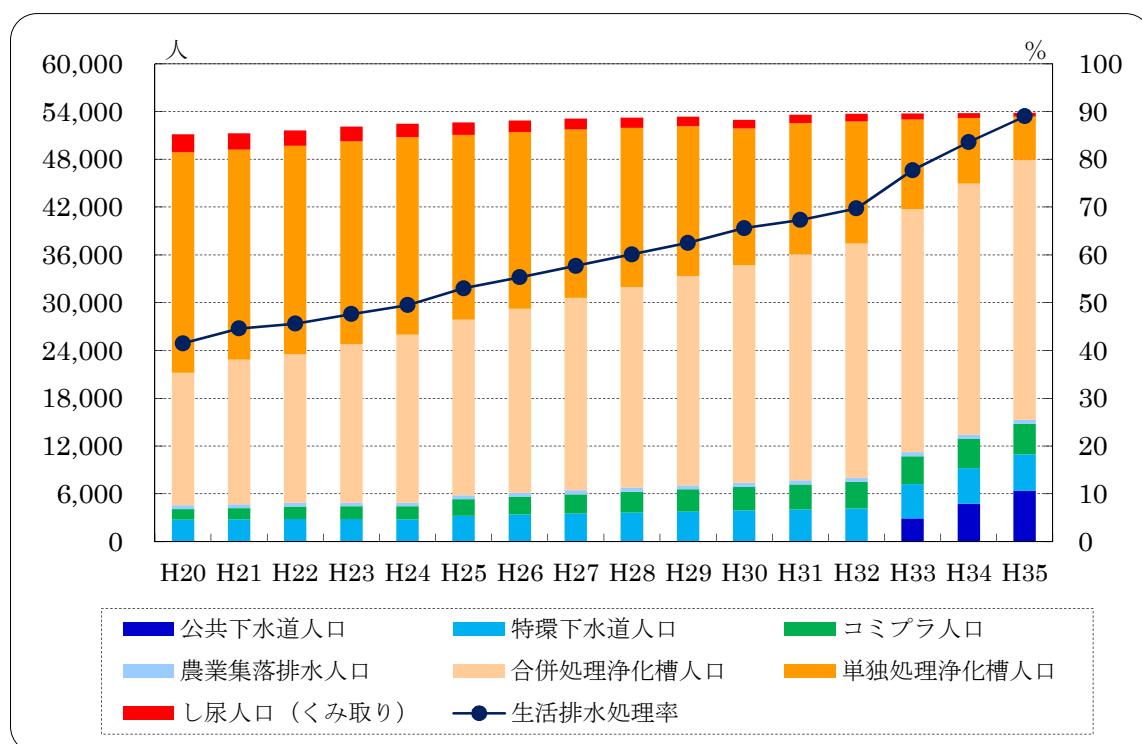


図 5-8 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

(3) し尿・浄化槽汚泥発生量の将来予測結果

し尿・浄化槽汚泥量の将来予測結果は、表 5-13 及び図 5-9 に示すとおりです。

表 5-13 し尿・浄化槽汚泥量の将来予測結果

区 分	単位	実績					予測	
		H20	H21	H22	H23	H24	H30	H35
し尿収集量	kL	1,046	1,002	968	906	850	545	249
浄化槽汚泥収集量	kL	27,444	28,630	29,183	30,509	30,969	29,016	24,890
農業集落排水汚泥収集量	kL	168	167	164	164	161	182	192
コミプラ汚泥収集量	kL	0	35	124	120	120	223	290
合 計	kL	28,658	29,834	30,438	31,699	32,099	29,966	25,621

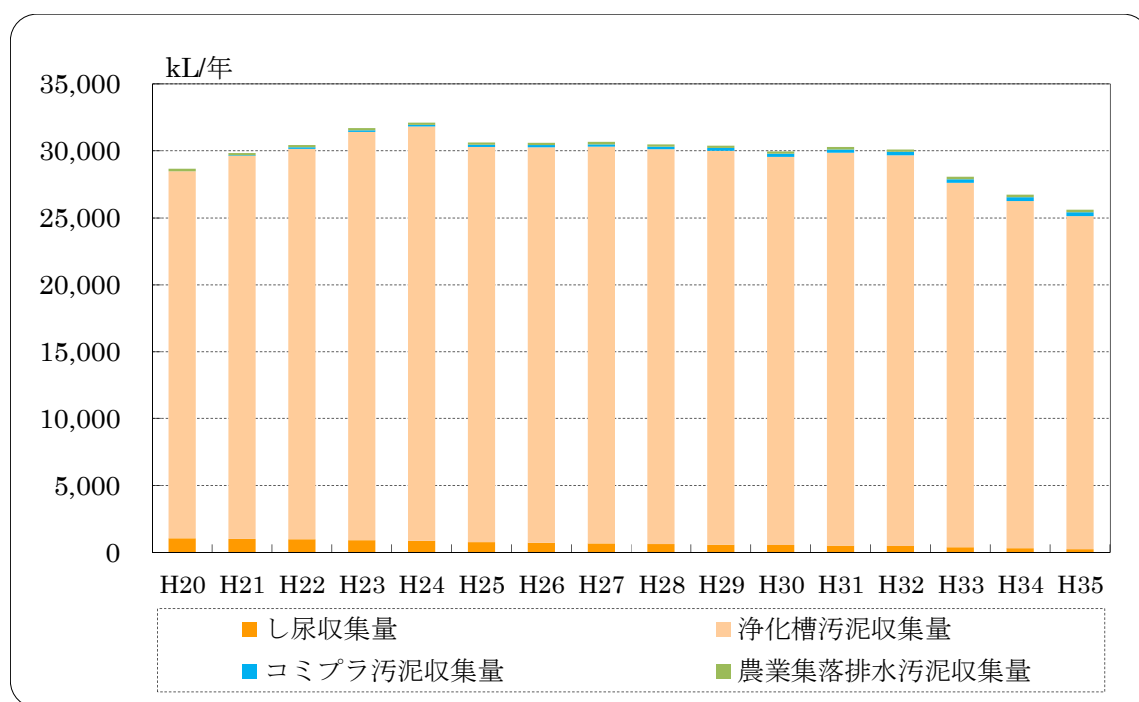


図 5-9 し尿・浄化槽汚泥量の将来予測結果

第2章 生活排水処理計画

1. 生活排水処理の基本方針

(1) 基本理念

清流、長良川や揖斐川をはじめ、大小 16 の川が流れる本市。かつて輪中と呼ばれる水郷地帯であったこの地域には、数多くの水路が張り巡らされています。

市内を流れる川や水路は「瑞穂」（稲穂がみずみずしく育っている様子）の名が示すように、豊かな実りをもたらし、暮らしに潤いを与えてきました。

しかし、現在は家庭からの排水等により、生活環境の悪化や公共水域の汚濁が懸念されています。また、汚れた水を処理する污水处理施設も、他市町村と比べて普及が遅れており、健全な水環境を取り戻すために、早急な対策が求められています。

このため、水質改善のために生活排水の適正処理を推進し、さらには、蛍や淡水魚などをはじめとする多様な水生生物の生息が可能な川であり続けることを目指します。

(2) 生活排水処理施設整備の基本方針

生活排水対策の基本として、水質保全に関する普及啓発と共に、生活排水の処理施設を随時整備していくこととします。

生活排水処理施設整備の基本方針については、次のとおりとします。

- ・ 公共下水道事業は、平成 33 年度の供用開始を目指し整備を行います。
- ・ 特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設、コミュニティプラントの集合処理区域内においては、未接続世帯の解消により接続率の増加を進めます。
- ・ 個別処理区域においては、合併処理浄化槽の設置奨励を行い、普及拡大に努め処理を行います。
- ・ 汲み取り便所やし尿だけを処理する単独処理浄化槽を設置している家庭については、生活雑排水（台所・風呂などからの排水）の適正処理を進めるため、個別の状況を勘案しつつ合併処理浄化槽の設置や転換の普及啓発を行います。

2. 生活排水処理に関する基本事項

(1) 処理の目標

平成 35 年度における生活排水処理率の目標及び生活排水処理形態別人口は、以下に示すとおりです。

平成35年度の生活排水処理率を 89% にします。

表 6-1 目標年次における生活排水処理形態別人口

項 目 \ 年 度	単 位	現在 平成24年度	目標年次 平成35年度
計画処理区域内人口	人	52,453	53,847
水洗化・生活雑排水処理人口	人	25,978	47,917
公共下水道人口	人	0	6,363
特環公共下水道人口	人	2,821	4,576
農業集落排水人口	人	444	539
コミュニティプラント人口	人	1,621	3,831
合併処理浄化槽人口	人	21,092	32,608
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	24,810	5,427
単独処理浄化槽人口	人	24,810	5,427
非水洗化人口	人	1,665	503
し尿人口（汲み取り）	人	1,665	503
自家処理人口	人	0	0
計画処理区域外人口	人	0	0
生活排水処理率	%	49.5	89.0

(2) 生活排水を処理する区域及び人口

本市が公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設、コミュニティプラント、合併浄化槽を整備する地域については、地区の特性、周辺環境、地区の要望等から、区域を定めました。

特に公共下水道は、瑞穂市公共下水道全体計画が、平成 33 年度の供用開始に向けて整備が進められています。

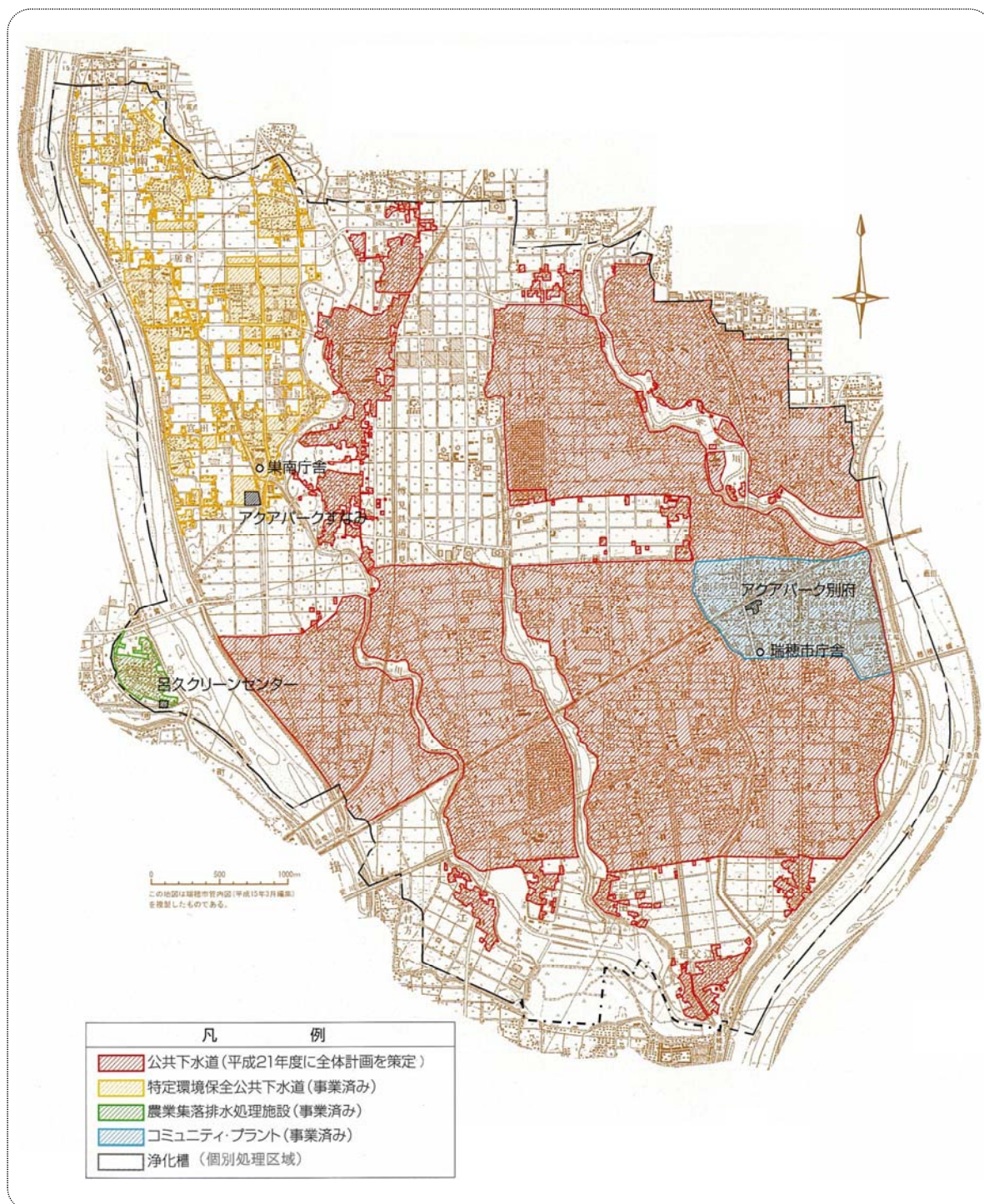


図 6-1 生活排水処理区域(計画)

(3) 施設及びその整備計画の概要

本市が計画目標達成のために計画する生活排水処理施設（現在供用しているものを含む）の整備計画は、表 6-2 に示すとおりです。

集合処理区域では、現在、特定環境保全公共下水道（西処理区）、農業集落排水処理施設（呂久処理区）及びコミュニティプラント（別府処理区）により集合処理を行っています。

また、公共下水道（瑞穂処理区）、公共関連特定環境保全公共下水道（中処理区）の整備を推進し、平成 33 年度の供用を目指します。

一方、個別処理区域では、汲み取り便槽や単独浄化槽から合併浄化槽への転換を進めるため、浄化槽設置整備事業を活用して、合併浄化槽の普及を推進します。

表 6-2 生活排水処理施設の整備計画

区域	処理施設の種類	処理区域	整備時期
集合 処理	公共下水道	瑞穂処理区	平成 33 年度供用開始予定
	公共関連特定環境保全公共下水道	中処理区	
	特定環境保全公共下水道	西処理区	整備完了
	農業集落排水処理施設	呂久処理区	整備完了
	コミュニティプラント	別府処理区	整備完了
個別 処理	合併浄化槽	集合処理区域 以外	下水道区域以外で単独浄化槽からの転換促進を継続

(4) し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

し尿及び浄化槽汚泥については、これまでどおり、もとす広域連合のし尿処理施設において適正処理を実施していきます。

① 収集運搬計画

7. 収集運搬の範囲

収集運搬の範囲は、現行どおり本市全域とします。

4. 収集運搬の主体

し尿の収集運搬は、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が実施しています。浄化槽の清掃に伴って生じた汚泥の運搬は、浄化槽法に基づく浄化槽清掃業者の許可及び、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が、一体の業務としてバキューム式汚泥収集車で行っています。

今後も、この体制を継続していくと共に、収集対象物の排出量の変化への対応、計画的収集作業の指導により、より安定的な収集・運搬を行います。

② 中間処理計画

収集されたし尿及び浄化槽汚泥は現在と同様に、もとす広域連合に処理・処分を委託します。

(5) 市民に対する広報・啓発活動

個々の家庭から排出される生活雑排水の未処理放流が、生活環境の悪化や公共用水域の水質汚濁の要因となることを広く周知し、生活環境や水環境の保全のための生活排水の適正処理の必要性について、岐阜県が推進する「ブルーリバー作戦」等により、家庭で実践できる排水対策の啓発活動を進めていきます。

また、個別処理区域においては、合併処理浄化槽の設置と適切な維持管理によって、下水道と同程度の処理性能が発揮できることを周知し、本市が設置している瑞穂市浄化槽設置整備事業補助金制度の活用による設置促進を働きかけていきます。

ブルーリバー作戦：あなたもできる「^よ四い心がけ」

- ・ 流さない 水切りネットや ゴミかごで
- ・ 流さない 廃油回収 再利用
- ・ 流さない 洗剤適量 少なめに
- ・ 流さない 小さなゴミも 空き缶も

第 4 部 計 画 の 推 進

1. 地球温暖化防止への配慮

日本における平成 23 年度の温室効果ガス排出量のうち、廃棄物部門からの二酸化炭素排出量は約 2%を占めており、基準年（1990 年）から比較すると 16.5%増加しています。

本市は収集運搬、可燃ごみの中間処理及び最終処分を、西濃環境整備組合及び民間業者に委託していることから、組合及び民間業者と協力し、京都議定書により約束された第 1 約束期間の 6%削減と、それ以降のさらなる削減に向けて、今後より一層の「循環型社会形成」を推進することで、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

2. 計画の推進と公表

本計画の推進には、市民・事業者・行政の協働が必要です。

住民や事業者の意見・要望を反映させ本計画を効率的に推進していくために、廃棄物減量等推審議会によって進捗状況の管理と長期的展望に立ったシステムの選択を行い、「計画」(Plan)・「実行」(Do)・「評価」(Check)・「見直し」(Action) のいわゆる PDCA サイクルで継続的に本計画の点検・見直し・評価を実施します。

また、本計画を広く周知するため、ホームページ等で公開するとともに、「広報みずほ」等により情報提供を行います。

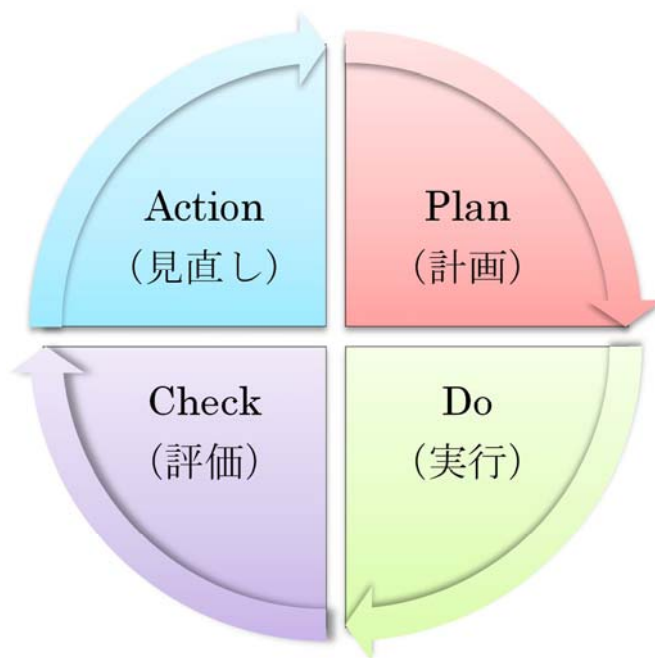


図 7 PDCA サイクル

資 料 編

資料1	瑞穂市の概要	61
1.	本市の概況	61
2.	人口動態	62
3.	産業の動向	64
資料2	ごみ量の実績及び将来予測	67
資料3	生活排水処理の実績及び将来予測	91
資料4	家庭ごみに関する市民アンケート調査結果	93
資料5	パブリックコメント	101
資料6	諮問・答申	102
資料7	廃棄物減量等推進審議会	107

資料 1 本市の概要

1. 本市の概況

本市は、平成 15 年 5 月に穂積町と巢南町の合併により誕生しました。

濃尾平野の北西に位置し、岐阜市と大垣市に隣接しています。市の東には、清流長良川、西には揖斐川が流れ、輪中と呼ばれる水郷地帯であり、条里制の画地割りが残る田園環境等の自然環境にも恵まれています。

江戸時代には、5 街道のひとつの中山道が通り、宿場も置かれていました。現代においても、JR 東海道本線が市域を通り、JR 東海道新幹線を使えば、東京まで 3 時間、大阪まで 1 時間半の交通の利便性が高い都市となっています。

現在は、「市民参加・協働のまちづくり」～市民と行政が一体になったまちづくりをめざします～を将来像に、市民が自らの地域のまちづくりを自主的に考え、自ら行えることは自主的に活動し、不足している部分は行政に提案する「提案型の市民参加」を目指し、理想的なまちづくりを進めています。



図 1-1 瑞穂市位置図

2. 人口動態

本市の人口は、平成25年3月31日末現在52,453人であり、世帯数は19,154世帯となっています。過去10年間の経年変化を見ると、人口・世帯数ともに概ね増加傾向にありますが、人口の増加率より世帯数の増加率が低いため、1世帯当たり人口はやや減少傾向にあります。

平成25年の年齢別人口を見ると、60代前半及び30代後半～40代前半の人口が多くなっており、団塊世代と団塊二世が多いことが分かります。

表 1-1 人口及び世帯数の推移

区 分	世帯数 (世帯)	人口 (人)				1世帯当 たりの人 口 (人)
		総 数	男	女	外国人	
平成15年度	16,553	48,273	23,279	23,395	1,599	2.92
平成16年度	16,822	48,744	23,438	23,653	1,653	2.90
平成17年度	17,122	49,435	23,683	24,021	1,731	2.89
平成18年度	17,497	49,820	23,859	24,070	1,891	2.85
平成19年度	17,977	50,620	24,225	24,403	1,992	2.82
平成20年度	18,184	51,126	24,475	24,666	1,985	2.81
平成21年度	18,374	51,271	24,605	24,805	1,861	2.79
平成22年度	18,587	51,634	24,829	25,017	1,788	2.78
平成23年度	18,850	52,083	25,101	25,259	1,723	2.76
平成24年度	19,154	52,453	25,308	25,449	1,696	2.74

注) 各年3月31日現在

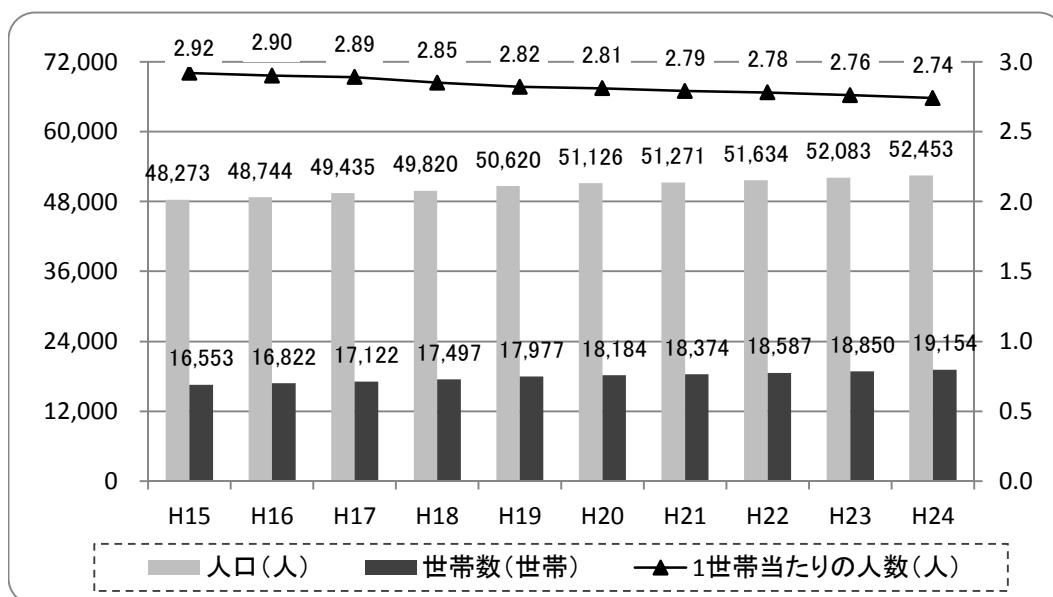


図 1-2 人口及び世帯数の推移

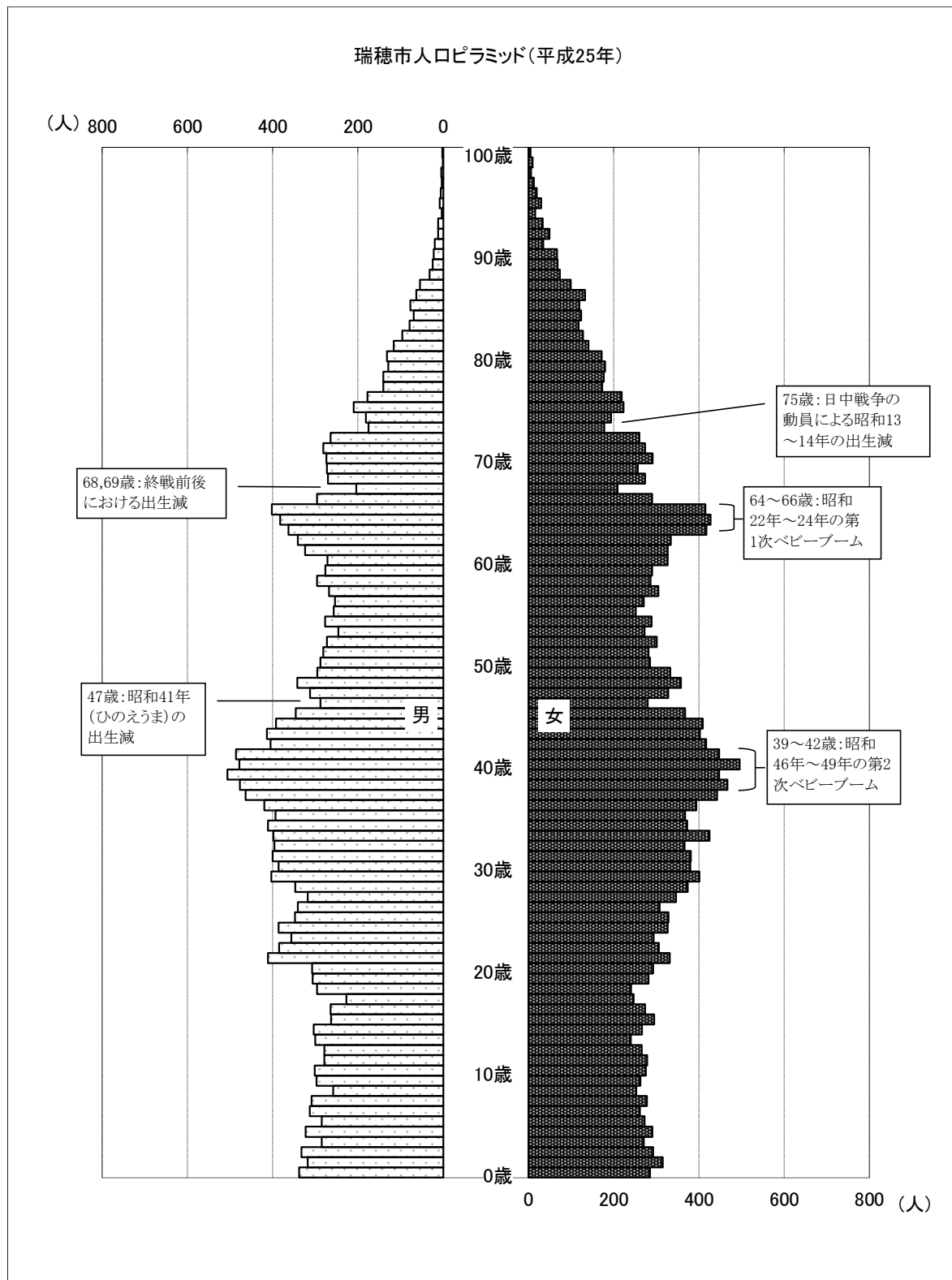


図 1-3 瑞穂市人口ピラミッド (平成 25 年 3 月末)

3. 産業の動向

(1) 産業別就業人口

本市の産業大分類別就業人口の推移は、表 1-2 及び図 1-4 に示すとおりです。

就業人口は平成 22 年度現在 24,401 人であり、第 2 次産業が約 30%、第 3 次産業が約 66%でそのほとんどを占めています。

表 1-2 産業別就業人口の推移

単位：人

年度	第1次産業	第2次産業	第3次産業	就業人口
平成 2 年	872	8,873	10,265	20,010
7 年	822	9,071	12,747	22,640
12 年	811	8,879	14,006	23,696
17 年	789	8,120	15,667	24,576
22 年	637	7,611	16,153	24,401
岐阜県(H22)	31,614	331,945	625,184	1,022,616

出典) 国勢調査

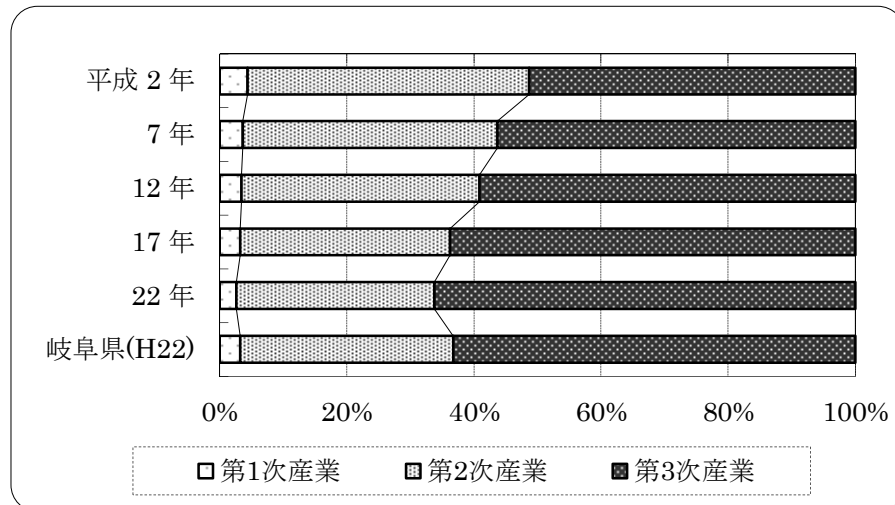


図 1-4 産業別就業人口割合の推移

(2)工 業

本市の工業の概況は、表 1-3 及び図 1-5 に示すとおりです。

本市の製造品出荷額は、平成 20 年 9 月のリーマン・ショックが引き金となった世界的な金融危機が起きるまでは増加傾向にあり、これに伴い従業員数も増加傾向にありました。

しかし、その後の世界的な景気低迷を受け、本市の製造品出荷額も減少しています。

表 1-3 工業の概況

項 目	事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
平成18年	120	3,543	74,654
平成19年	125	3,733	76,696
平成20年	210	3,882	77,230
平成21年	113	3,393	65,527
平成22年	111	3,401	64,998

出典：瑞穂市 DATABOOK2012 市勢要覧・企画財政課「工業統計調査」

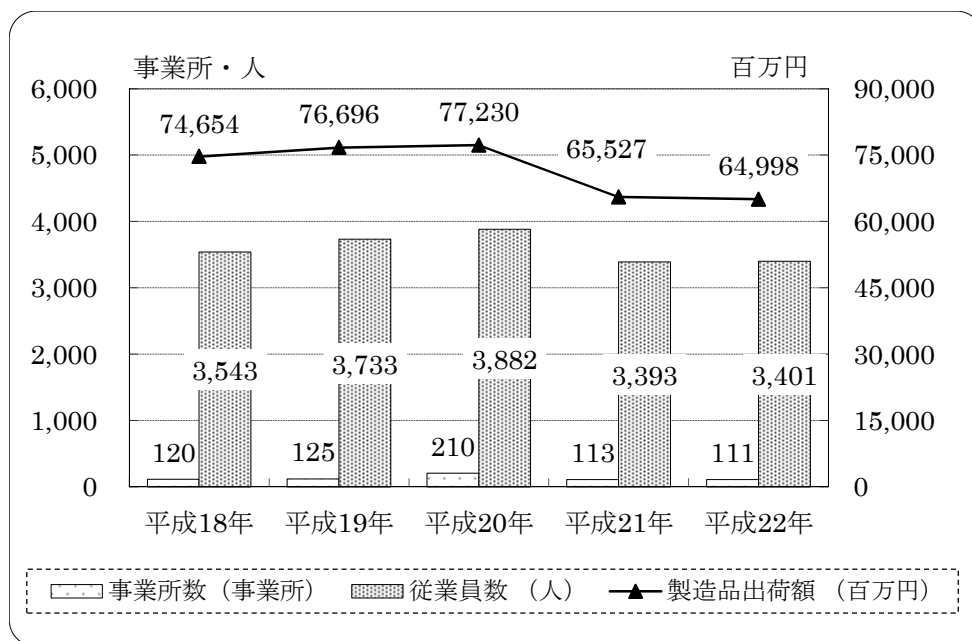


図 1-5 工業の概況

(3)商 業

本市の商業の概況は、表 1-4 及び図 1-6 に示すとおりです。

本市の年間商品販売額は、平成 14 年度にやや減少しましたが、その後は増加傾向を示しています。また、事業所数は減少傾向にありますが、従業者数は平成 14 年度以降増加傾向にあります。

表 1-4 商業の概況

項目	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
平成 9 年	413	2,543	72,432
平成11年	437	2,979	76,646
平成14年	421	3,038	71,983
平成16年	420	2,868	72,653
平成19年	383	3,111	81,152

出典：瑞穂市 DATABOOK2012 市勢要覧・企画財政課「商業統計調査」

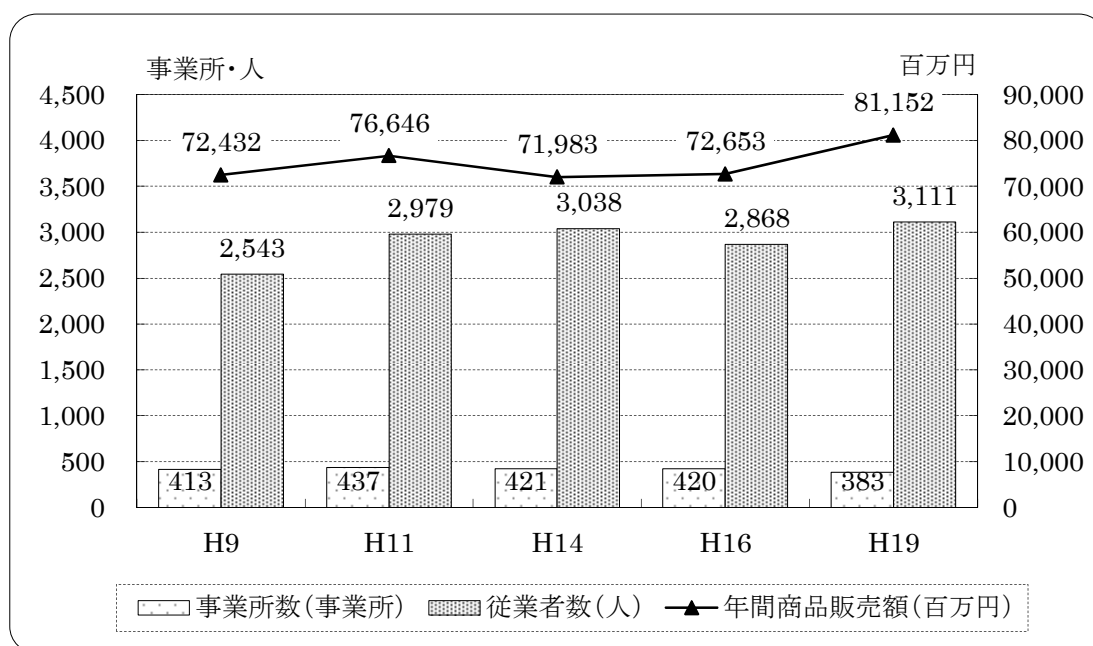


図 1-6 商業の概況

資料２　ごみ量の実績及び将来予測

区分			平成年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35					
人口	(1)	行政区城内人口(外国人を含む)	単位	実績										見通し										目標年次	見通し				目標年次
	(2)	計画収集人口	人	48,273	48,744	49,435	49,820	50,620	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453	52,641	52,872	53,102	53,225	53,348	53,472	53,595	53,718	53,761	53,804	53,847					
	(3)	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
予測	(4)	1人1日あたりごみ総排出量	(8)+(2)÷365,366日×1,000,000	g／人・日	883	918	949	953	926	887	886	832	799	746	760	754	747	741	735	730	724	718	713	708	702				
	(5)	1人1日あたりごみ排出量	(9)+(2)÷365,366日×1,000,000	g／人・日	792	825	853	860	867	833	807	782	757	713	719	712	706	700	694	689	683	677	672	667	662				
	(6)	1日あたり事業系ごみ排出量	(163)	t／日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	(7)	リサイクル率	(160)	%	15.2	21.6	22.3	22.3	20.4	23.0	26.1	22.8	20.6	18.3	20.3	20.3	20.3	20.4	20.4	20.4	20.5	20.5	20.5	20.6	20.6				
年間排出量	(8)	ごみ総排出量	(9)+(64)	t／年	15,601.8	16,327.4	17,114.9	17,329.2	17,154.0	16,546.3	16,582.2	15,682.5	15,234.9	14,285.3	14,607.6	14,545.7	14,522.8	14,401.9	14,320.8	14,239.9	14,198.2	14,079.0	13,989.0	13,895.9	13,840.8				
	(9)	ごみ排出量	(10)+(26)	t／年	13,985.8	14,670.9	15,391.9	15,639.2	16,056.3	15,546.0	15,109.8	14,744.9	14,429.1	13,649.7	13,810.2	13,746.8	13,720.1	13,601.3	13,520.0	13,438.8	13,394.4	13,277.0	13,187.6	13,095.1	13,038.3				
	(10)	収集ごみ	(11)+(12)+(13)+(14)	t／年	6,917.2	7,182.5	7,431.7	7,608.7	7,835.4	7,054.9	6,897.7	6,665.3	6,636.4	6,551.6	6,713.9	6,693.0	6,690.0	6,636.9	6,601.5	6,566.0	6,548.3	6,494.4	6,448.5	6,402.8	6,374.1				
	(11)	可燃ごみ	(145)×365,366日	t／年	6,026.3	6,046.9	6,347.6	6,500.0	6,644.8	6,499.2	6,412.0	6,259.7	6,274.4	6,212.8	6,340.2	6,323.9	6,324.4	6,277.3	6,247.3	6,217.1	6,203.6	6,156.1	6,116.1	6,076.1	6,052.5				
	(12)	不燃ごみ(陶磁器・ガラス類を含む)	(146)×365,366日	t／年	545.7	814.6	755.5	747.4	804.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	(13)	粗大ごみ	(147)×365,366日	t／年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	(14)	資源ごみ	(15)+(19)+(23)+(24)+(25)	t／年	345.2	321.0	328.6	361.3	386.7	555.7	485.7	405.6	361.9	338.8	373.6	369.2	365.6	359.6	354.2	348.9	344.6	338.3	332.4	326.7	321.6				
	(15)	びん	(16)+(17)+(18)	t／年	247.5	243.4	245.8	282.8	305.8	303.0	272.7	236.7	221.0	213.5	236.7	232.0	227.9	222.1	216.8	211.5	206.8	200.9	195.2	189.6	184.4				
	(16)		白(無色透明)ガラスびん	(150)×365,366日	t／年	109.8	109.7	108.4	129.9	140.8	136.4	131.8	118.2	110.1	107.5	114.2	111.9	109.9	107.1	104.6	102.0	99.8	96.9	94.2	91.5	89.0			
	(17)		茶色ガラスびん	(151)×365,366日	t／年	105.7	101.5	103.7	114.5	121.3	122.4	104.6	88.6	82.7	80.0	91.0	89.2	87.6	85.4	83.4	81.3	79.5	77.3	75.1	72.9	70.9			
	(18)	その他のガラスびん	(152)×365,366日	t／年	32.1	32.2	33.7	38.5	43.7	44.3	36.3	30.0	28.1	26.1	31.5	30.9	30.3	29.6	28.9	28.2	27.5	26.7	26.0	25.2	24.5				
	(19)	カン類	(20)+(21)+(22)	t／年	0.0	19.3	15.8	13.1	11.9	11.3	18.9	18.7	71.0	59.5	66.6	66.5	66.6	66.2	66.0	65.8	65.7	65.3	65.0	64.7	64.5				
	(20)	スチール缶(旧巢南町)	(154)×365,366日	t／年	0.0	17.0	14.3	10.6	9.7	9.4	14.7	14.7	13.6	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(21)		アルミ缶(旧巢南町)	(155)×365,366日	t／年	0.0	2.3	1.5	2.6	2.2	1.9	4.2	4.0	3.9	4.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(22)		缶類(旧穂積町)	(156)×365,366日	t／年	—	—	—	—	—	—	—	—	53.5	40.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(23)	金物類	(157)×365,366日	t／年	—	—	—	—	—	170.8	126.5	84.5	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	(24)	ペットボトル	(158)×365,366日	t／年	0.0	5.7	6.2	5.2	4.9	3.9	4.0	3.1	3.0	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2				
	(25)	プラスチック製容器包装	(159)×365,366日	t／年	97.6	52.8	60.8	60.2	64.1	66.7	63.8	62.6	66.9	62.6	67.1	67.4	67.8	68.0	68.2	68.3	68.9	68.8	68.9	69.1	69.4				
	(26)	直接搬入ごみ	(27)+(30)+(31)+(47)+(60)	t／年	7,068.6	7,488.4	7,960.2	8,030.5	8,220.8	8,491.1	8,212.1	8,079.6	7,792.7	7,098.1	7,096.3	7,053.8	7,030.2	6,964.4	6,918.5	6,872.8	6,846.2	6,782.6	6,739.2	6,692.4	6,664.2				
	(27)	可燃ごみ	(28)+(29)	t／年	5,706.4	5,781.8	6,188.4	6,134.8	6,281.7	5,844.8	5,544.4	5,425.8	5,588.0	5,698.1	5,569.5	5,524.5	5,494.7	5,434.8	5,390.1	5,345.5	5,315.6	5,256.9	5,216.2	5,172.1	5,142.2				
	(28)	家庭系可燃ごみ	(162)×365,366日	t／年	207.2	182.3	203.4	178.9	151.6	150.9	148.3	160.0	139.4	180.4	141.9	137.1	132.8	127.7	123.1	118.7	114.8	110.4	106.2	102.3	98.7				
	(29)	事業系可燃ごみ	(163)×365,366日	t／年	5,499.3	5,599.6	5,984.9	5,955.9	6,130.1	5,693.9	5,396.1	5,265.7	5,448.6	5,517.7	5,427.6	5,387.4	5,361.9	5,307.1	5,267.0	5,226.8	5,200.9	5,146.5	5,110.0	5,069.9	5,043.5				
	(30)	不燃ごみ(陶磁器・ガラス類を含む)	(164)×365,366日	t／年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	(31)	粗大ごみ	(165)×365,366日	t／年	1,356.8	1,298.5	1,271.3	1,354.3	1,218.9	1,699.2	1,571.4	1,568.1	1,348.9	671.2	736.0	739.2	744.5	744.2	745.9	747.6	751.4	751.1	751.7	752.3	754.9				
	(32)	中間処理後資源化	(33)+(34)	t／年	411.6	475.8	492.4	487.3	486.1	474.0	496.1	357.4	316.5	144.2	234.8	235.8	237.5	237.4	237.9	238.5	239.7	239.6	239.8	240.0	240.8				
	(33)	粗大金物類		t／年	411.6	475.8	492.4	487.3	486.1	474.0	480.7	347.6	307.0	138.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(34)	アルミ・被覆線・モーター		t／年	—	—	—	—	—	—	0.0	15.4	9.8	9.5	5.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(35)	中間処理後処分	(169)×365,366日	t／年	945.2	822.8	778.9	867.0	732.8	1,225.2	1,075.3	1,210.7	1,032.4	527.0	501.2	503.4	507.0	506.8	508.0	509.1	511.7	511.5	511.9	512.3	514.1				
	(36)	粗大木材		t／年	285.8	407.5	339.6	382.1	298.8	478.7	443.5	506.6	484.5	164.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(37)	廃プラスチック(民間業者)		t／年	530.2	248.5	226.7	263.6	196.1	298.1	306.6	388.9	230.5	180.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	(38)	廃プラスチック(西濃環境)		t／年	—	—	—	—																					

ごみ発生原単位

区分			平成年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
			単位	実績										見通し										
																		目標年次	見通し					目標年次
(75)	人口1人1日あたりごみ総排出量	(76)+(131)	g/人・日	883.1	917.7	948.5	953.0	925.9	886.7	886.1	832.1	799.2	746.1	760.3	753.7	747.2	741.3	735.4	729.6	723.8	718.1	712.9	707.6	702.3
(76)	人口1人1日あたりごみ排出量	(77)+(93)	g/人・日	791.6	824.6	853.0	860.0	866.7	833.1	807.4	782.4	756.9	713.0	718.8	712.3	705.9	700.1	694.3	688.6	682.8	677.2	672.1	666.8	661.6
(77)	人口1人1日あたり収集ごみ量	(78)+(79)+(80)+(81)	g/人・日	391.5	403.7	411.9	418.4	422.9	378.1	368.6	353.7	348.1	342.2	349.4	346.8	344.2	341.6	339.0	336.4	333.8	331.2	328.6	326.0	323.4
(78)	可燃ごみ		g/人・日	341.1	339.9	351.8	357.5	358.7	348.3	342.6	332.1	329.2	324.5	330.0	327.7	325.4	323.1	320.8	318.5	316.3	314.0	311.7	309.4	307.1
(79)	不燃ごみ(陶磁器・ガラス類を含む)		g/人・日	30.9	45.8	41.9	41.1	43.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(80)	粗大ごみ		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(81)	資源ごみ	(82)+(86)+(90)+(91)+(92)	g/人・日	19.5	18.0	18.2	19.9	20.9	29.8	26.0	21.5	19.0	17.7	19.4	19.1	18.8	18.5	18.2	17.9	17.6	17.3	16.9	16.6	16.3
(82)	びん	(83)+(84)+(85)	g/人・日	14.0	13.7	13.6	15.5	16.5	16.2	14.6	12.6	11.6	11.2	12.3	12.0	11.7	11.4	11.1	10.8	10.5	10.2	10.0	9.7	9.4
(83)	白(無色透明)ガラスびん		g/人・日	6.2	6.2	6.0	7.1	7.6	7.3	7.0	6.3	5.8	5.6	5.9	5.8	5.7	5.5	5.4	5.2	5.1	4.9	4.8	4.7	4.5
(84)	茶色ガラスびん		g/人・日	6.0	5.7	5.7	6.3	6.5	6.6	5.6	4.7	4.3	4.2	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	3.9	3.8	3.7	3.6
(85)	その他のガラスびん		g/人・日	1.8	1.8	1.9	2.1	2.4	2.4	1.9	1.6	1.5	1.4	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2
(86)	カン類	(87)+(88)+(89)	g/人・日	0.0	1.1	0.9	0.7	0.6	0.6	1.0	1.0	3.7	3.1	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
(87)	スチール缶(旧巢南町)		g/人・日	0.0	1.0	0.8	0.6	0.5	0.5	0.8	0.8	0.7	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(88)	アルミ缶(旧巢南町)		g/人・日	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(89)	缶類(旧穂積町)		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(90)	金物類		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2	6.8	4.5	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(91)	ペットボトル		g/人・日	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
(92)	プラスチック製容器包装		g/人・日	5.5	3.0	3.4	3.3	3.5	3.6	3.4	3.3	3.5	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
(93)	人口1人1日あたり直接搬入ごみ量	(94)+(97)+(98)+(114)+(127)	g/人・日	400.1	420.9	441.2	441.6	443.7	455.0	438.8	428.7	408.8	370.7	369.3	365.5	361.7	358.5	355.3	352.1	349.0	345.9	343.4	340.8	338.1
(94)	可燃ごみ	(95)+(96)	g/人・日	323.0	325.0	343.0	337.4	339.1	313.2	296.3	287.9	293.1	297.6	289.9	286.3	282.7	279.8	276.8	273.9	271.0	268.1	265.8	263.4	260.9
(95)	家庭系可燃ごみ		g/人・日	11.7	10.2	11.3	9.8	8.2	8.1	7.9	8.5	7.3	9.4	7.4	7.1	6.8	6.6	6.3	6.1	5.9	5.6	5.4	5.2	5.0
(96)	事業系可燃ごみ		g/人・日	311.3	314.7	331.7	327.5	330.9	305.1	288.3	279.4	285.8	288.2	282.5	279.2	275.9	273.2	270.5	267.8	265.1	262.5	260.4	258.2	255.9
(97)	不燃ごみ(陶磁器・ガラス類を含む)		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(98)	粗大ごみ	(99)+(102)	g/人・日	76.8	73.0	70.5	74.5	65.8	91.1	84.0	83.2	70.8	35.1	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
(99)	中間処理後資源化	(100)+(101)	g/人・日	23.3	26.7	27.3	26.8	26.2	25.4	26.5	19.0	16.6	7.5	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2
(100)	粗大金物類		g/人・日	23.3	26.7	27.3	26.8	26.2	25.4	25.7	18.4	16.1	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(101)	アルミ・被覆線・モーター		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	0.5	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(102)	中間処理後処分	(103)～(113)	g/人・日	53.5	46.2	43.2	47.7	39.6	65.7	57.5	64.2	54.2	27.5	0.0	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1	26.1
(103)	粗大木材		g/人・日	16.2	22.9	18.8	21.0	16.1	25.7	23.7	26.9	25.4	8.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(104)	廃プラスチック(民間業者)		g/人・日	30.0	14.0	12.6	14.5	10.6	16.0	16.4	20.6	12.1	9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(105)	廃プラスチック(西濃環境)		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.8	3.6	3.7	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(106)	廃プラスチック(美来の森焼却)		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(107)	布団類		g/人・日	3.6	4.7	4.8	5.0	6.0	5.2	6.2	6.3	6.1	2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(108)	家電類		g/人・日	2.0	2.5	1.8	2.1	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(109)	板ガラス・陶磁器		g/人・日	1.8	2.3	2.4	2.3	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(110)	板ガラス		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4	2.3	2.2	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(111)	陶磁器		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.5	2.1	2.2	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(112)	廃タイヤ		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.3	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(113)	鏡・ブロック等		g/人・日	0.0	0.0	2.8	2.7	4.4	4.2	4.2	2.0	2.2	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(114)	資源ごみ	(115)+(116)+(119)+(125)+(126)	g/人・日	0.0	22.6	27.3	29.4	38.3	50.5	57.9	56.5	44.2	37.4	40.5	40.2	40.0	39.7	39.5	39.2	39.0	38.8	38.6	38.4	38.2
(115)	ペットボトル(回収機による)		g/人・日	0.0	5.9	6.8	8.0	9.5	10.2	9.9	8.9	7.9	7.4	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0
(116)	カン類(飲料用・回収機による)	(117)+(118)	g/人・日	0.0	7.9	7.4	7.9	7.9	8.1	7.8	6.2	5.1	4.4	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6
(117)	スチール缶		g/人・日	0.0	4.0	3.6	3.9	3.7	3.9	3.5	2.4	2.1	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(118)	アルミ缶		g/人・日	0.0	4.0	3.9	4.0	4.2	4.2	4.2	3.7	3.0	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(119)	古紙類	(120)+(121)+(122)+(123)+(124)	g/人・日	0.0	8.8	13.1	13.6	13.3	19.6	22.8	20.4	10.7	6.9	6.6	6.4	6.2	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.1	5.0	4.8
(120)	新聞紙		g/人・日	0.0	3.4	5.3	5.7	5.5	8.2	8.7	7.6	3.5	2.9	3.5	3.2	3.0	2.8	2.6	2.4	2.2	2.1	1.9	1.8	1.7
(121)	チラシ		g/人・日	0.0	0.0	0.2	0.5	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(122)	雑誌		g/人・日	0.0	3.6	5.0	4.9	5.1	7.6	7.9	6.9	4.0	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(123)	ダンボール		g/人・日	0.0	1.7	2.6	2.5	2.3	3.7	6.2	5.8	3.2	1.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
(124)	牛乳パック		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(125)	衣類		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	4.1	4.4	3.4	1.3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
(126)	剪定木		g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	10.9	13.3	16.6	17.1	17.4	17.7	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8	17.8
(127)	有害ごみ	(128)+(129)+(130)	g/人・日	0.3	0.3	0.4	0.3	0.6	0.3	0.7	1.1	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
(128)	蛍光灯・電球		g/人・日	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
(129)	乾電池		g/人・日	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.4	0.7	0.4	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
(130)	ライター		g/人・日	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
(131)	人口1人1日あたり集団回収量	(132)～(141)	g/人・日	91.5	93.1	95.5	92.9	59.3	53.6	78.7	49.8	42.3	33.2	41.5	41.4	41.3	41.2	41.1	41.0	41.0	40.9	40.8	40.8	40.7
(132)	ダンボール		g/人・日	9.9	9.9	10.2	9.4	6.1	5.8	9.2	6.0	5.3	4.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
(133)	新聞紙		g/人・日	39.5	39.3	41.0	37.1	25.3	29.2	41.7	25.8	21.1	17.2	21.										

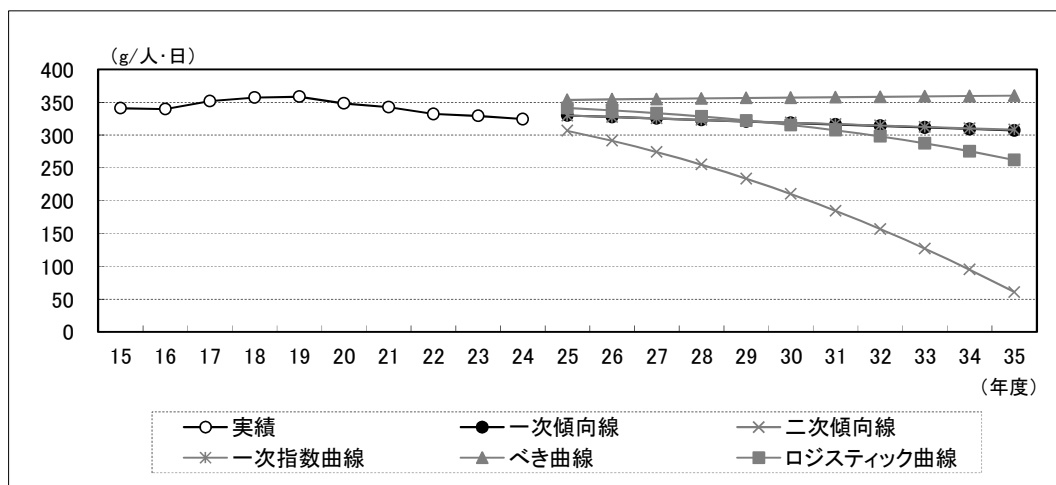
このページは空白です

1. 収集ごみ量の予測

収集 可燃ごみ

単位: g/人・日

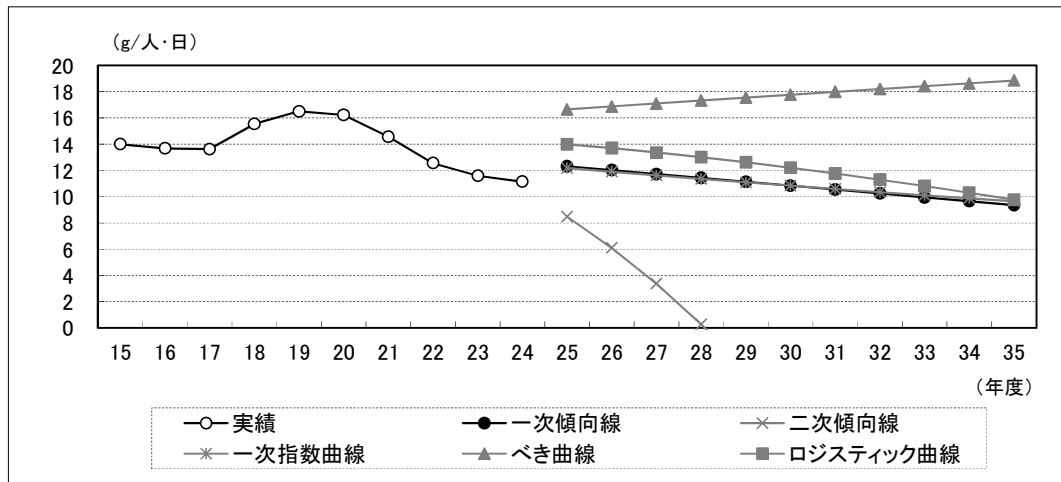
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	341.088	—	341.088	—	341.088	—	341.088	—	341.088	—	341.09
	16		339.874	-1.21	339.874	-1.21	339.874	-1.21	339.874	-1.21	339.874	-1.21	339.87
	17		351.791	11.92	351.791	11.92	351.791	11.92	351.791	11.92	351.791	11.92	351.79
	18		357.453	5.66	357.453	5.66	357.453	5.66	357.453	5.66	357.453	5.66	357.45
	19		358.656	1.20	358.656	1.20	358.656	1.20	358.656	1.20	358.656	1.20	358.66
	20		348.275	-10.38	348.275	-10.38	348.275	-10.38	348.275	-10.38	348.275	-10.38	348.28
	21		342.632	-5.64	342.632	-5.64	342.632	-5.64	342.632	-5.64	342.632	-5.64	342.63
	22		332.144	-10.49	332.144	-10.49	332.144	-10.49	332.144	-10.49	332.144	-10.49	332.14
	23		329.153	-2.99	329.153	-2.99	329.153	-2.99	329.153	-2.99	329.153	-2.99	329.15
	24		324.509	-4.64	324.509	-4.64	324.509	-4.64	324.509	-4.64	324.509	-4.64	324.51
25	見 通 し	329.98	5.47	306.62	-17.89	329.87	5.36	353.73	29.22	341.29	16.78	342.56	
26		327.69	-2.29	291.60	-15.03	327.65	-2.23	354.47	0.74	337.72	-3.58		
27		325.41	-2.29	274.45	-17.15	325.44	-2.21	355.18	0.71	333.46	-4.26		
28		323.12	-2.29	255.17	-19.27	323.24	-2.19	355.87	0.69	328.41	-5.05		
29		320.83	-2.29	233.78	-21.40	321.06	-2.18	356.54	0.67	322.46	-5.95		
30		318.55	-2.29	210.26	-23.52	318.90	-2.17	357.19	0.65	315.50	-6.96		
31		316.26	-2.29	184.61	-25.64	316.75	-2.15	357.82	0.63	307.41	-8.09		
32		313.97	-2.29	156.85	-27.77	314.61	-2.14	358.44	0.62	298.10	-9.31		
33		311.68	-2.29	126.96	-29.89	312.49	-2.12	359.04	0.60	287.48	-10.62		
34		309.40	-2.29	94.94	-32.01	310.38	-2.11	359.63	0.59	275.52	-11.96		
35		307.11	-2.29	60.81	-34.14	308.29	-2.09	360.20	0.58	262.23	-13.29		
採 用		○											
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	387.15		-7.79		390.67		3.20		-7.92			
	b =	-2.29		39.12		0.99		0.60		-0.20			
	c =			-1.06									
	Yo =							341.09					
	to =							15.00					
	K =									358.66			
	r =	0.594152		0.916478		0.588054		-0.233289		0.279497			



収集 びん

単位: g/人・日

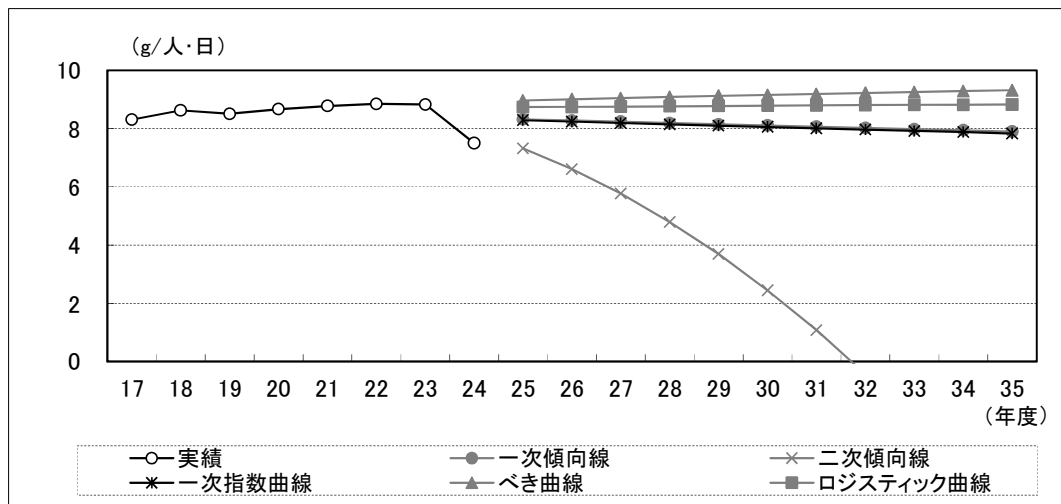
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	14.010	—	14.010	—	14.010	—	14.010	—	14.010	—	14.01
	16		13.678	-0.33	13.678	-0.33	13.678	-0.33	13.678	-0.33	13.678	-0.33	13.68
	17		13.624	-0.05	13.624	-0.05	13.624	-0.05	13.624	-0.05	13.624	-0.05	13.62
	18		15.549	1.93	15.549	1.93	15.549	1.93	15.549	1.93	15.549	1.93	15.55
	19		16.505	0.96	16.505	0.96	16.505	0.96	16.505	0.96	16.505	0.96	16.51
	20		16.237	-0.27	16.237	-0.27	16.237	-0.27	16.237	-0.27	16.237	-0.27	16.24
	21		14.571	-1.67	14.571	-1.67	14.571	-1.67	14.571	-1.67	14.571	-1.67	14.57
	22		12.560	-2.01	12.560	-2.01	12.560	-2.01	12.560	-2.01	12.560	-2.01	12.56
	23		11.592	-0.97	11.592	-0.97	11.592	-0.97	11.592	-0.97	11.592	-0.97	11.59
	24		11.151	-0.44	11.151	-0.44	11.151	-0.44	11.151	-0.44	11.151	-0.44	11.15
25	見 通 し	12.32	1.17	8.49	-2.67	12.18	1.03	16.65	5.50	14.00	2.85	13.95	
26		12.02	-0.30	6.10	-2.39	11.90	-0.28	16.88	0.23	13.70	-0.30		
27		11.73	-0.30	3.36	-2.74	11.63	-0.27	17.11	0.23	13.37	-0.33		
28		11.43	-0.30	0.28	-3.08	11.36	-0.27	17.33	0.22	13.01	-0.36		
29		11.14	-0.30	-3.16	-3.43	11.10	-0.26	17.55	0.22	12.63	-0.39		
30		10.84	-0.30	-6.94	-3.78	10.84	-0.26	17.77	0.22	12.21	-0.41		
31		10.54	-0.30	-11.07	-4.13	10.60	-0.25	17.99	0.22	11.77	-0.44		
32		10.25	-0.30	-15.55	-4.48	10.35	-0.24	18.21	0.22	11.30	-0.47		
33		9.95	-0.30	-20.37	-4.83	10.12	-0.24	18.42	0.22	10.81	-0.49		
34		9.65	-0.30	-25.55	-5.18	9.88	-0.23	18.64	0.21	10.30	-0.51		
35		9.36	-0.30	-31.07	-5.52	9.66	-0.23	18.85	0.21	9.77	-0.53		
採 用		○											
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K／(1+EXP(a-bt))			
	a =	19.72		-45.11		21.76		0.35		-5.09			
	b =	-0.30		6.50		0.98		0.87		-0.13			
	c =			-0.17									
	Yo =							14.01					
	to =							15.00					
	K =									16.51			
	r =	0.489523		0.877625		0.466044		-0.223830		0.220146			



収集+回収機 缶類

単位: g/人・日

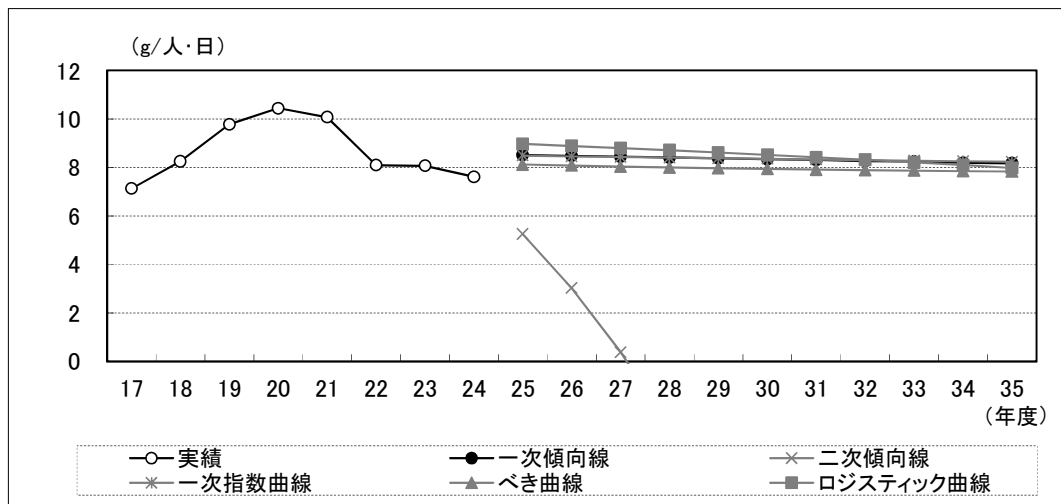
年 度		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	17	実 績	8.31	—	8.31	—	8.31	—	8.31	—	8.31	8.31	
	18		8.63	0.32	8.63	0.32	8.63	0.32	8.63	0.32	8.63	8.63	
	19		8.51	-0.12	8.51	-0.12	8.51	-0.12	8.51	-0.12	8.51	8.51	
	20		8.67	0.16	8.67	0.16	8.67	0.16	8.67	0.16	8.67	8.67	
	21		8.78	0.11	8.78	0.11	8.78	0.11	8.78	0.11	8.78	8.78	
	22		8.85	0.07	8.85	0.07	8.85	0.07	8.85	0.07	8.85	8.85	
	23		8.83	-0.02	8.83	-0.02	8.83	-0.02	8.83	-0.02	8.83	8.83	
	24		7.50	-1.33	7.50	-1.33	7.50	-1.33	7.50	-1.33	7.50	7.50	
	25	見 通 し	8.32	0.82	7.32	-0.18	8.29	0.79	8.97	1.47	8.74	1.24	8.51
	26		8.28	-0.04	6.61	-0.71	8.24	-0.05	9.01	0.04	8.75	0.01	
	27		8.24	-0.04	5.77	-0.84	8.19	-0.05	9.05	0.04	8.76	0.01	
	28		8.19	-0.05	4.79	-0.98	8.15	-0.04	9.09	0.04	8.77	0.01	
	29		8.15	-0.04	3.69	-1.10	8.10	-0.05	9.13	0.04	8.78	0.01	
	30		8.11	-0.04	2.44	-1.25	8.06	-0.04	9.16	0.03	8.79	0.01	
	31		8.07	-0.04	1.07	-1.37	8.01	-0.05	9.19	0.03	8.80	0.01	
	32		8.03	-0.04	-0.44	-1.51	7.97	-0.04	9.23	0.04	8.81	0.01	
	33		7.98	-0.05	-2.08	-1.64	7.92	-0.05	9.26	0.03	8.82	0.01	
	34		7.94	-0.04	-3.86	-1.78	7.88	-0.04	9.29	0.03	8.82	0.00	
	35	7.90	-0.04	-5.77	-1.91	7.83	-0.05	9.32	0.03	8.83	0.01		
採 用						○							
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	9.37		-18.29		9.54		0.23		-1.88			
	b =	-0.04		2.69		0.99		0.52		0.08			
	c =			-0.07									
	Yo =							8.31					
	to =							17.00					
	K =									8.90			
	r =	0.234668		0.770064		0.237532		-0.057071		-0.048892			



収集+回収機 ペットボトル

単位: g/人・日

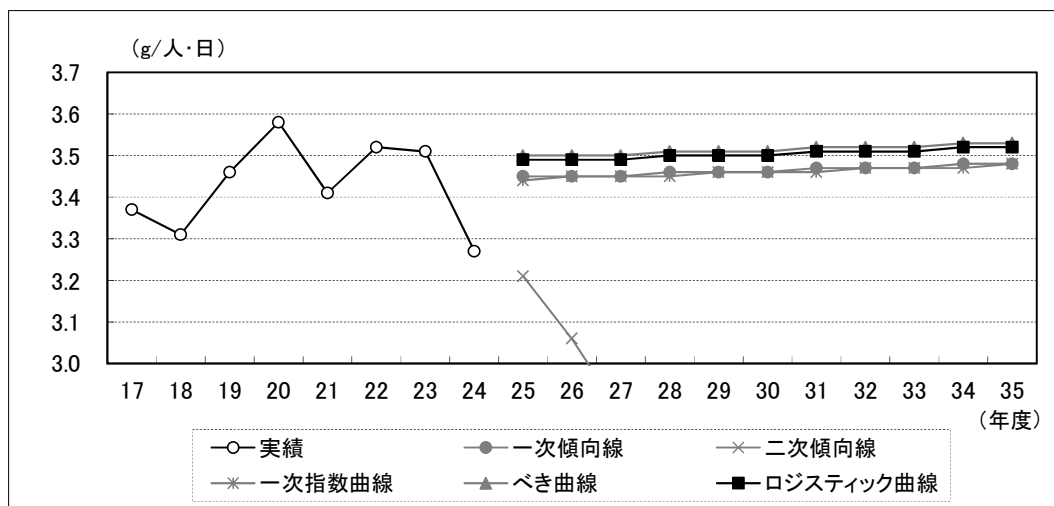
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	17	7.13	—	7.13	—	7.13	—	7.13	—	7.13	—	7.13
	18	8.25	1.12	8.25	1.12	8.25	1.12	8.25	1.12	8.25	1.12	8.25
	19	9.78	1.53	9.78	1.53	9.78	1.53	9.78	1.53	9.78	1.53	9.78
	20	10.44	0.66	10.44	0.66	10.44	0.66	10.44	0.66	10.44	0.66	10.44
	21	10.07	-0.37	10.07	-0.37	10.07	-0.37	10.07	-0.37	10.07	-0.37	10.07
	22	8.09	-1.98	8.09	-1.98	8.09	-1.98	8.09	-1.98	8.09	-1.98	8.09
	23	8.07	-0.02	8.07	-0.02	8.07	-0.02	8.07	-0.02	8.07	-0.02	8.07
	24	7.61	-0.46	7.61	-0.46	7.61	-0.46	7.61	-0.46	7.61	-0.46	7.61
	25	8.52	0.91	5.25	-2.36	8.49	0.88	8.12	0.51	8.97	1.36	8.68
	26	8.48	-0.04	3.03	-2.22	8.46	-0.03	8.08	-0.04	8.89	-0.08	
	27	8.45	-0.03	0.38	-2.65	8.43	-0.03	8.03	-0.05	8.80	-0.09	
	28	8.41	-0.04	-2.71	-3.09	8.41	-0.02	8.00	-0.03	8.71	-0.09	
	29	8.38	-0.03	-6.24	-3.53	8.38	-0.03	7.97	-0.03	8.62	-0.09	
	30	8.34	-0.04	-10.21	-3.97	8.36	-0.02	7.94	-0.03	8.52	-0.10	
	31	8.31	-0.03	-14.60	-4.39	8.33	-0.03	7.91	-0.03	8.42	-0.10	
	32	8.27	-0.04	-19.44	-4.84	8.30	-0.03	7.89	-0.02	8.32	-0.10	
	33	8.24	-0.03	-24.71	-5.27	8.28	-0.02	7.87	-0.02	8.21	-0.11	
	34	8.20	-0.04	-30.42	-5.71	8.25	-0.03	7.85	-0.02	8.10	-0.11	
	35	8.17	-0.03	-36.57	-6.15	8.23	-0.02	7.83	-0.02	7.98	-0.12	
採 用		○										
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))		
	a =	9.41		-81.15		9.17		2.41		-3.30		
	b =	-0.04		8.91		1.00		-0.43		-0.06		
	c =			-0.22								
	Yo =							7.13				
	to =							17.00				
	K =									10.50		
	r =	0.068521		0.868240		0.040526		-0.473832		0.025630		



収集 プラスチック製容器包装

単位: g/人・日

年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
平成	17	実 績	3.37	—	3.37	—	3.37	—	3.37	—	3.37	—	3.37
	18		3.31	-0.06	3.31	-0.06	3.31	-0.06	3.31	-0.06	3.31	-0.06	3.31
	19		3.46	0.15	3.46	0.15	3.46	0.15	3.46	0.15	3.46	0.15	3.46
	20		3.58	0.12	3.58	0.12	3.58	0.12	3.58	0.12	3.58	0.12	3.58
	21		3.41	-0.17	3.41	-0.17	3.41	-0.17	3.41	-0.17	3.41	-0.17	3.41
	22		3.52	0.11	3.52	0.11	3.52	0.11	3.52	0.11	3.52	0.11	3.52
	23		3.51	-0.01	3.51	-0.01	3.51	-0.01	3.51	-0.01	3.51	-0.01	3.51
	24		3.27	-0.24	3.27	-0.24	3.27	-0.24	3.27	-0.24	3.27	-0.24	3.27
見 通 し	25	見 通 し	3.45	0.18	3.21	-0.06	3.44	0.17	3.50	0.23	3.49	0.22	3.43
	26		3.45	0.00	3.06	-0.15	3.45	0.01	3.50	0.00	3.49	0.00	
	27		3.45	0.00	2.88	-0.18	3.45	0.00	3.50	0.00	3.49	0.00	
	28		3.46	0.01	2.67	-0.21	3.45	0.00	3.51	0.01	3.50	0.01	
	29		3.46	0.00	2.43	-0.24	3.46	0.01	3.51	0.00	3.50	0.00	
	30		3.46	0.00	2.15	-0.28	3.46	0.00	3.51	0.00	3.50	0.00	
	31		3.47	0.01	1.85	-0.30	3.46	0.00	3.52	0.01	3.51	0.01	
	32		3.47	0.00	1.51	-0.34	3.47	0.01	3.52	0.00	3.51	0.00	
	33		3.47	0.00	1.15	-0.36	3.47	0.00	3.52	0.00	3.51	0.00	
	34		3.48	0.01	0.75	-0.40	3.47	0.00	3.53	0.01	3.52	0.01	
	35		3.48	0.00	0.32	-0.43	3.48	0.01	3.53	0.00	3.52	0.00	
採 用										○			
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Y ₀ +a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	3.35		-3.04		3.36		0.07		-2.58			
	b =	0.00		0.64		1.00		0.28		0.03			
	c =			-0.02									
	Y ₀ =							3.37					
	to =							17.00					
K =									3.60				
r =	0.108812		0.702295		0.108812		0.220537		0.039440				

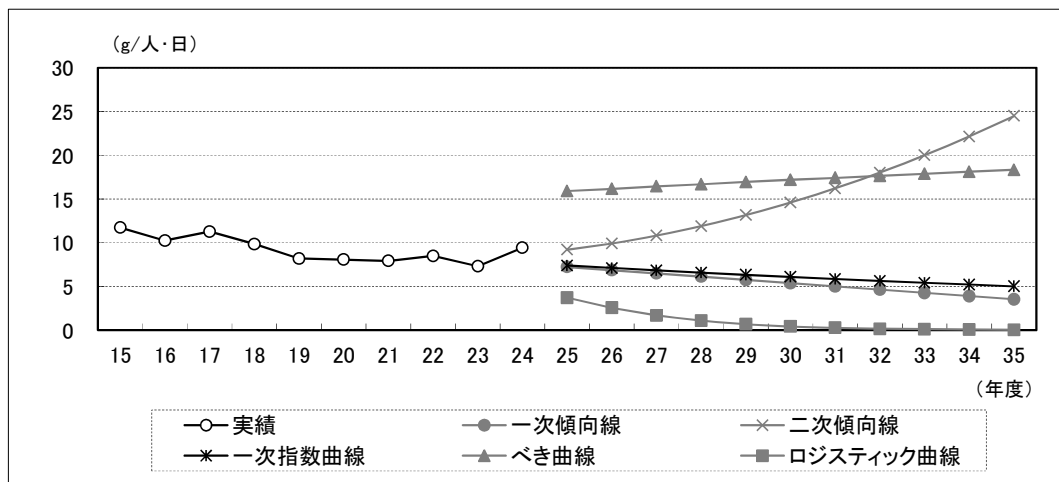


2. 直接搬入ごみ量の予測

直接搬入 可燃ごみ(家庭系)

単位: g/人・日

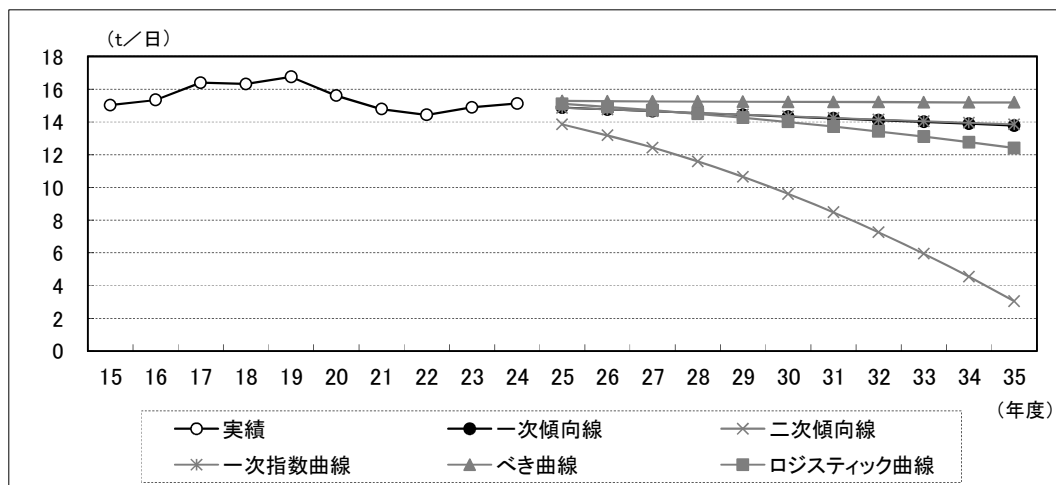
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		ベ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	11.726	—	11.726	—	11.726	—	11.726	—	11.726	—	11.73
	16		10.244	-1.48	10.244	-1.48	10.244	-1.48	10.244	-1.48	10.244	-1.48	10.24
	17		11.274	1.03	11.274	1.03	11.274	1.03	11.274	1.03	11.274	1.03	11.27
	18		9.837	-1.44	9.837	-1.44	9.837	-1.44	9.837	-1.44	9.837	-1.44	9.84
	19		8.182	-1.66	8.182	-1.66	8.182	-1.66	8.182	-1.66	8.182	-1.66	8.18
	20		8.084	-0.10	8.084	-0.10	8.084	-0.10	8.084	-0.10	8.084	-0.10	8.08
	21		7.925	-0.16	7.925	-0.16	7.925	-0.16	7.925	-0.16	7.925	-0.16	7.93
	22		8.491	0.57	8.491	0.57	8.491	0.57	8.491	0.57	8.491	0.57	8.49
	23		7.315	-1.18	7.315	-1.18	7.315	-1.18	7.315	-1.18	7.315	-1.18	7.32
24	9.421	2.11	9.421	2.11	9.421	2.11	9.421	2.11	9.421	2.11	9.42		
25	見 通 し	7.22	-2.20	9.21	-0.21	7.39	-2.04	15.90	6.48	3.71	-5.71	9.25	
26		6.85	-0.37	9.92	0.72	7.11	-0.28	16.17	0.27	2.56	-1.15		
27		6.48	-0.37	10.82	0.90	6.83	-0.27	16.44	0.26	1.69	-0.87		
28		6.11	-0.37	11.90	1.08	6.57	-0.26	16.69	0.26	1.09	-0.61		
29		5.74	-0.37	13.16	1.26	6.32	-0.25	16.94	0.25	0.68	-0.41		
30		5.37	-0.37	14.60	1.44	6.08	-0.24	17.19	0.24	0.42	-0.26		
31		5.00	-0.37	16.22	1.62	5.85	-0.23	17.43	0.24	0.26	-0.16		
32		4.63	-0.37	18.02	1.80	5.63	-0.22	17.66	0.23	0.16	-0.10		
33		4.26	-0.37	20.00	1.98	5.41	-0.22	17.89	0.23	0.10	-0.06		
34		3.89	-0.37	22.17	2.16	5.21	-0.21	18.11	0.22	0.06	-0.04		
35	3.52	-0.37	24.51	2.35	5.01	-0.20	18.33	0.22	0.04	-0.02			
採 用						○							
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K／(1+EXP(a-bt))			
	a =	16.46		50.11		19.49		0.91		-11.83			
	b =	-0.37		-3.90		0.96		0.66		-0.50			
	c =			0.09									
	Yo =							11.73					
	to =							15.00					
	K =									11.73			
	r =	0.747668		0.879444		0.768234		-0.191239		0.539113			



直接搬入 可燃ごみ(事業系)

単位: t/日

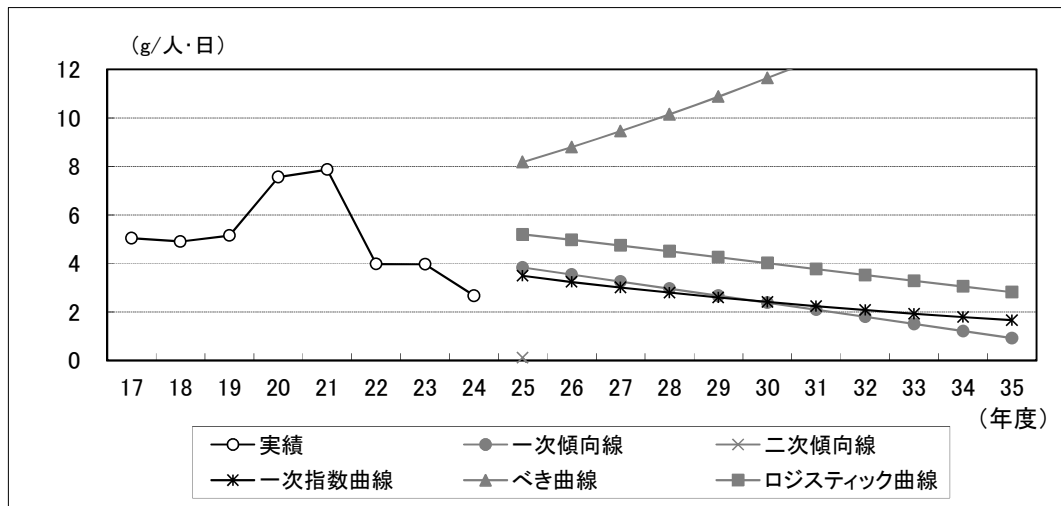
年 度	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	実績の 平均値
t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	
平成 15	15.025	15.025	15.025	15.025	15.025	15.03
16	15.341	15.341	15.341	15.341	15.341	15.34
17	16.397	16.397	16.397	16.397	16.397	16.40
18	16.318	16.318	16.318	16.318	16.318	16.32
19	16.749	16.749	16.749	16.749	16.749	16.75
20	15.600	15.600	15.600	15.600	15.600	15.60
21	14.784	14.784	14.784	14.784	14.784	14.78
22	14.427	14.427	14.427	14.427	14.427	14.43
23	14.887	14.887	14.887	14.887	14.887	14.89
24	15.117	15.117	15.117	15.117	15.117	15.12
25	14.870	13.850	14.860	15.280	15.100	15.46
26	14.760	13.180	14.760	15.270	14.910	
27	14.650	12.430	14.650	15.260	14.710	
28	14.540	11.580	14.550	15.240	14.490	
29	14.430	10.640	14.450	15.230	14.260	
30	14.320	9.600	14.340	15.220	14.000	
31	14.210	8.480	14.240	15.220	13.720	
32	14.100	7.260	14.140	15.210	13.420	
33	14.000	5.950	14.040	15.200	13.100	
34	13.890	4.540	13.950	15.190	12.760	
35	13.780	3.050	13.850	15.190	12.400	
採用	○					
予 測 式	Yt = a+bt	a+bt+ct ²	a・b ^t	Yo+a(t-to) ^b	K/(1+EXP(a-bt))	
a =	17.59	0.38	17.72	1.19	-5.04	
b =	-0.11	1.70	0.99	-0.66	-0.11	
c =		-0.05				
Yo =				15.03		
to =				15.00		
K =					16.80	
r =	0.426728	0.622720	0.418631	-0.187785	0.311587	



直接搬入 新聞紙

単位: g/人・日

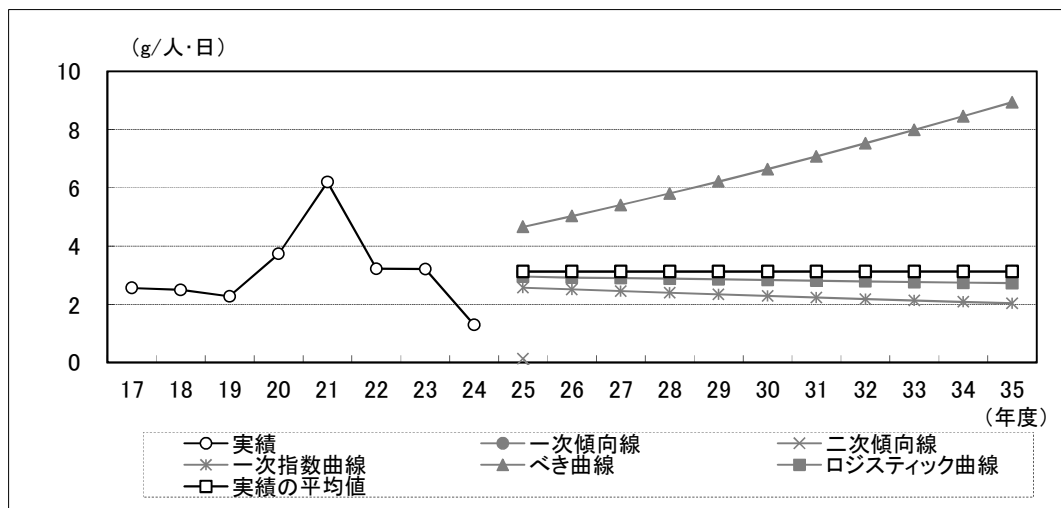
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	17	実 績	5.04	—	5.04	—	5.04	—	5.04	—	5.04	5.04	
	18		4.90	-0.14	4.90	-0.14	4.90	-0.14	4.90	-0.14	4.90	4.90	
	19		5.15	0.25	5.15	0.25	5.15	0.25	5.15	0.25	5.15	5.15	
	20		7.56	2.41	7.56	2.41	7.56	2.41	7.56	2.41	7.56	7.56	
	21		7.87	0.31	7.87	0.31	7.87	0.31	7.87	0.31	7.87	7.87	
	22		3.98	-3.89	3.98	-3.89	3.98	-3.89	3.98	-3.89	3.98	3.98	
	23		3.97	-0.01	3.97	-0.01	3.97	-0.01	3.97	-0.01	3.97	3.97	
	24		2.67	-1.30	2.67	-1.30	2.67	-1.30	2.67	-1.30	2.67	2.67	
	25	見 通 し	3.83	1.16	0.11	-2.56	3.49	0.82	8.18	5.51	5.20	2.53	5.14
	26		3.54	-0.29	-2.66	-2.77	3.24	-0.25	8.80	0.62	4.97	-0.23	
	27		3.25	-0.29	-5.93	-3.27	3.01	-0.23	9.46	0.66	4.74	-0.23	
	28		2.96	-0.29	-9.70	-3.77	2.79	-0.22	10.15	0.69	4.50	-0.24	
	29		2.67	-0.29	-13.96	-4.26	2.59	-0.20	10.88	0.73	4.26	-0.24	
	30		2.38	-0.29	-18.72	-4.76	2.41	-0.18	11.65	0.77	4.01	-0.25	
	31		2.09	-0.29	-23.98	-5.26	2.24	-0.17	12.44	0.79	3.77	-0.24	
	32		1.80	-0.29	-29.73	-5.75	2.08	-0.16	13.26	0.82	3.52	-0.25	
	33	1.51	-0.29	-35.97	-6.24	1.93	-0.15	14.12	0.86	3.28	-0.24		
	34	1.21	-0.30	-42.72	-6.75	1.79	-0.14	15.00	0.88	3.05	-0.23		
	35	0.92	-0.29	-49.96	-7.24	1.66	-0.13	15.91	0.91	2.82	-0.23		
採 用						○							
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	11.11		-91.90		22.32		0.13		-3.76			
	b =	-0.29		9.89		0.93		1.53		-0.12			
	c =			-0.25									
	Yo =							5.04					
	to =							17.00					
	K =									7.90			
	r =	0.401897		0.792088		0.340519		-0.341798		0.177551			



直接搬入 ダンボール

単位: g/人・日

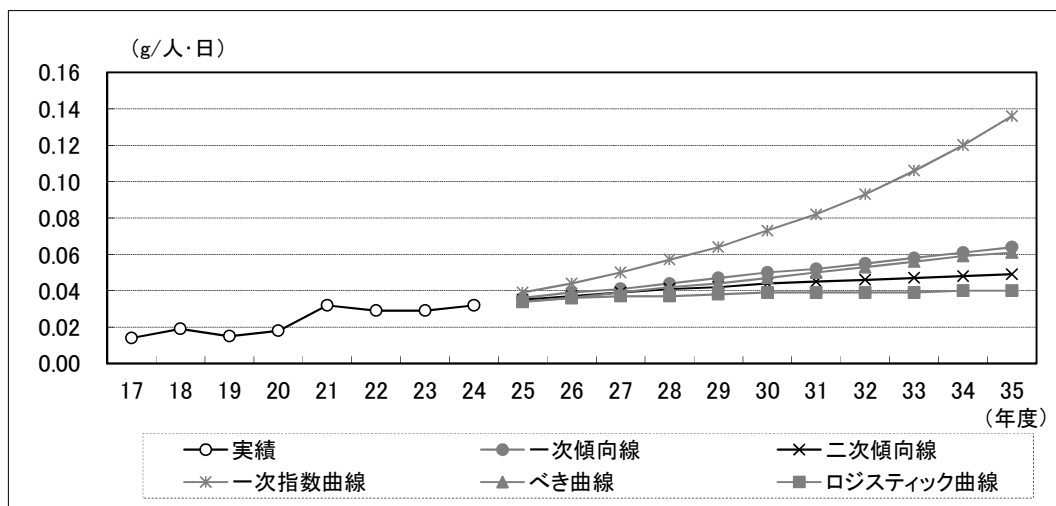
年 度		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	17	実 績	2.56	—	2.56	—	2.56	—	2.56	—	2.56	—	2.56
	18		2.49	-0.07	2.49	-0.07	2.49	-0.07	2.49	-0.07	2.49	-0.07	2.49
	19		2.27	-0.22	2.27	-0.22	2.27	-0.22	2.27	-0.22	2.27	-0.22	2.27
	20		3.73	1.46	3.73	1.46	3.73	1.46	3.73	1.46	3.73	1.46	3.73
	21		6.20	2.47	6.20	2.47	6.20	2.47	6.20	2.47	6.20	2.47	6.20
	22		3.22	-2.98	3.22	-2.98	3.22	-2.98	3.22	-2.98	3.22	-2.98	3.22
	23		3.21	-0.01	3.21	-0.01	3.21	-0.01	3.21	-0.01	3.21	-0.01	3.21
	24		1.29	-1.92	1.29	-1.92	1.29	-1.92	1.29	-1.92	1.29	-1.92	1.29
	25	見 通 し	3.12	1.83	0.13	-1.16	2.57	1.28	4.66	3.37	2.95	1.66	3.12
	26		3.12	0.00	-1.86	-1.99	2.51	-0.06	5.03	0.37	2.92	-0.03	3.12
	27		3.12	0.00	-4.25	-2.39	2.45	-0.06	5.41	0.38	2.90	-0.02	3.12
	28		3.12	0.00	-7.04	-2.79	2.40	-0.05	5.81	0.40	2.88	-0.02	3.12
	29		3.12	0.00	-10.22	-3.18	2.34	-0.06	6.22	0.41	2.86	-0.02	3.12
	30		3.12	0.00	-13.81	-3.59	2.29	-0.05	6.64	0.42	2.83	-0.03	3.12
	31		3.13	0.01	-17.79	-3.98	2.23	-0.06	7.08	0.44	2.81	-0.02	3.12
	32		3.13	0.00	-22.18	-4.39	2.18	-0.05	7.53	0.45	2.79	-0.02	3.12
	33		3.13	0.00	-26.96	-4.78	2.13	-0.05	7.99	0.46	2.76	-0.03	3.12
	34		3.13	0.00	-32.14	-5.18	2.08	-0.05	8.46	0.47	2.74	-0.02	3.12
	35	3.13	0.00	-37.71	-5.57	2.03	-0.05	8.94	0.48	2.72	-0.02	3.12	
採 用												○	
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	3.11		-79.56		4.62		0.12		-0.27			
	b =	0.00		8.17		0.98		1.37		-0.01			
	c =			-0.20									
	Yo =							2.56					
	to =							17.00					
	K =									6.20			
	r =	0.000000		0.674858		-0.001272		-0.072926		-0.003517			



直接搬入 牛乳パック

単位: g/人・日

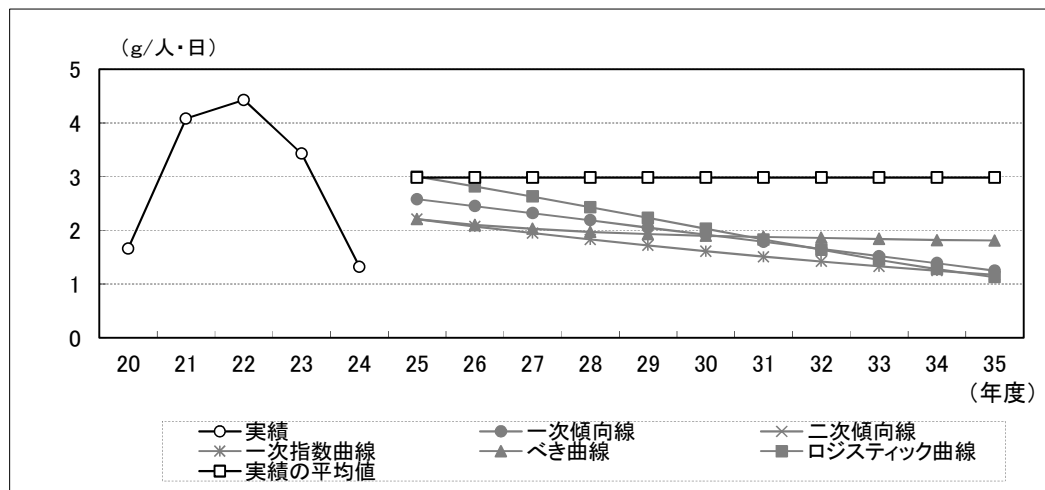
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成	17	実 										



直接搬入 衣類

単位: g/人・日

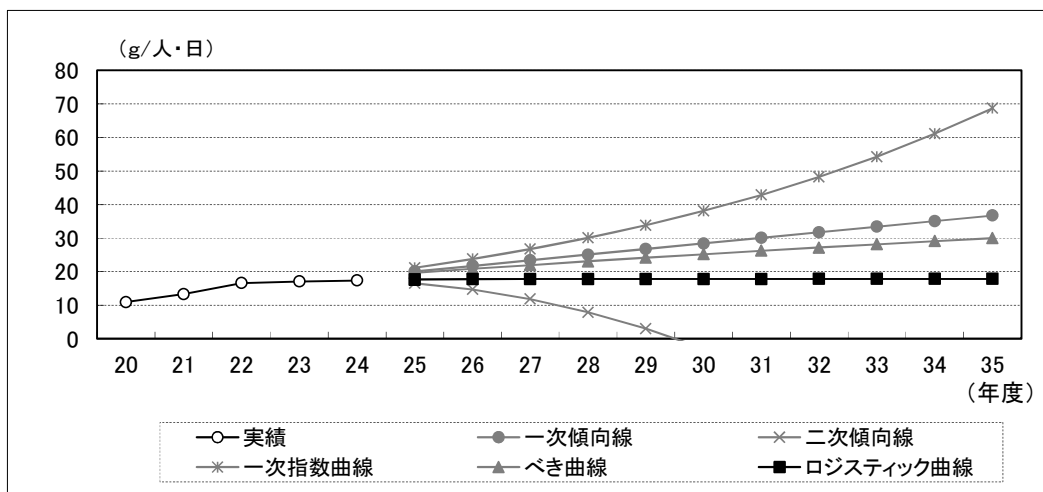
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
	20	1.660	—	1.660	—	1.660	—	1.660	—	1.660	—	1.66
	21	4.080	2.42	4.080	2.42	4.080	2.42	4.080	2.42	4.080	2.42	4.08
	22	4.430	0.35	4.430	0.35	4.430	0.35	4.430	0.35	4.430	0.35	4.43
	23	3.430	-1.00	3.430	-1.00	3.430	-1.00	3.430	-1.00	3.430	-1.00	3.43
	24	1.320	-2.11	1.320	-2.11	1.320	-2.11	1.320	-2.11	1.320	-2.11	1.32
	25	2.580	1.26	-2.620	-3.94	2.210	0.89	2.210	0.89	3.000	1.68	2.98
	26	2.450	-0.13	-7.960	-5.34	2.070	-0.14	2.100	-0.11	2.820	-0.18	2.98
	27	2.320	-0.13	-14.780	-6.82	1.950	-0.12	2.030	-0.07	2.630	-0.19	2.98
	28	2.190	-0.13	-23.100	-8.32	1.830	-0.12	1.970	-0.06	2.430	-0.20	2.98
	29	2.050	-0.14	-32.890	-9.79	1.720	-0.11	1.930	-0.04	2.230	-0.20	2.98
	30	1.920	-0.13	-44.180	-11.29	1.610	-0.11	1.900	-0.03	2.030	-0.20	2.98
	31	1.790	-0.13	-56.960	-12.78	1.510	-0.10	1.880	-0.02	1.830	-0.20	2.98
	32	1.650	-0.14	-71.220	-14.26	1.420	-0.09	1.860	-0.02	1.640	-0.19	2.98
	33	1.520	-0.13	-86.960	-15.74	1.330	-0.09	1.840	-0.02	1.450	-0.19	2.98
	34	1.390	-0.13	-104.200	-17.24	1.250	-0.08	1.820	-0.02	1.280	-0.17	2.98
	35	1.250	-0.14	-122.920	-18.72	1.170	-0.08	1.810	-0.01	1.130	-0.15	2.98
採 用												○
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))		
	a =	5.91		-352.49		10.72		3.59		-5.18		
	b =	-0.13		32.58		0.94		-1.17		-0.18		
	c =			-0.74				1.66				
	Yo =							20.00		4.50		
	to =											
	K =											
	r =	0.143300		0.994136		0.069762		-0.467727		0.077830		



直接搬入 剪定木

単位: g/人・日

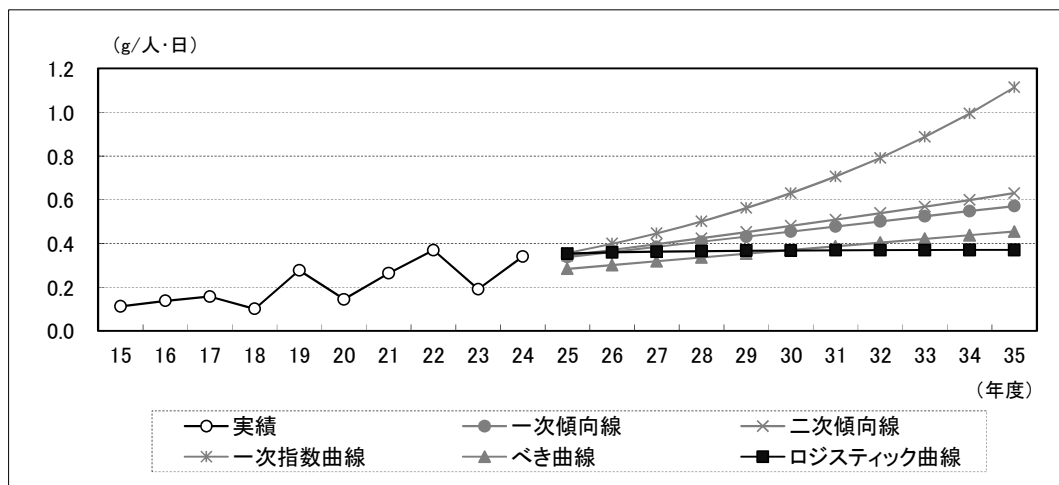
年 度	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	実績の 平均値
t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	
20	10.89	10.89	10.89	10.89	10.89	10.89
21	13.32	13.32	13.32	13.32	13.32	13.32
22	16.61	16.61	16.61	16.61	16.61	16.61
23	17.05	17.05	17.05	17.05	17.05	17.05
24	17.37	17.37	17.37	17.37	17.37	17.37
25	20.06	16.52	21.11	19.59	17.66	15.05
26	21.72	14.65	23.76	20.80	17.75	
27	23.39	11.78	26.73	21.96	17.79	
28	25.06	7.89	30.08	23.07	17.80	
29	26.73	3.00	33.85	24.14	17.81	
30	28.40	-2.91	38.10	25.18	17.81	
31	30.07	-9.83	42.87	26.19	17.81	
32	31.74	-17.75	48.24	27.18	17.82	
33	33.41	-26.69	54.29	28.14	17.82	
34	35.08	-36.63	61.09	29.08	17.82	
35	36.75	-47.59	68.75	30.00	17.82	
採用					○	
予 測 式	$Y_t = a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t - t_0)^b$	$K / (1 + \exp(a - bt))$	
a =	-21.67	-265.08	1.10	2.75	16.38	
b =	1.67	23.89	1.13	0.72	0.84	
c =		-0.51				
Y ₀ =				10.89		
t ₀ =				20.00		
K =					17.82	
r =	0.931335	0.989337	0.905401	0.962647	0.986117	



直接搬入 有害ごみ(蛍光灯・電球)

単位: g/人・日

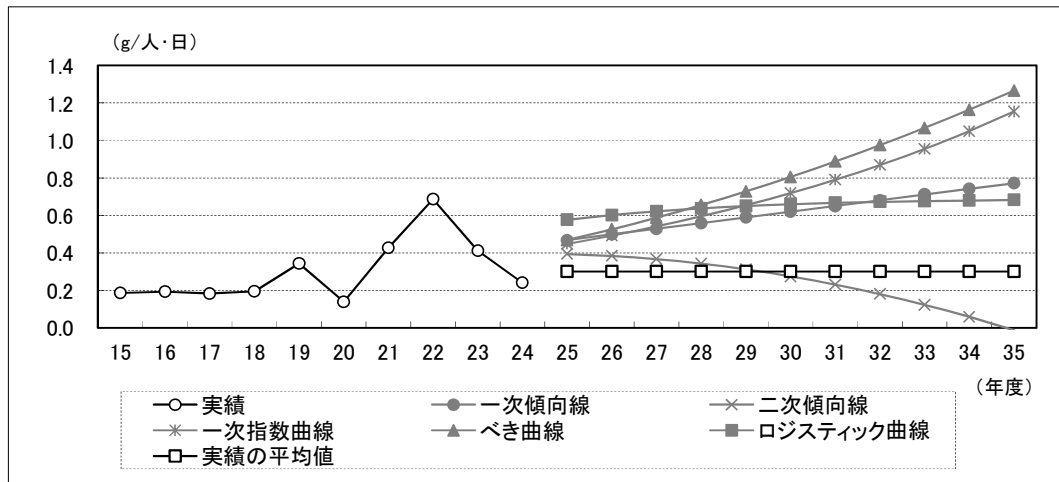
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	0.112	—	0.112	—	0.112	—	0.112	—	0.112	—	0.11
	16		0.138	0.026	0.138	0.026	0.138	0.026	0.138	0.026	0.138	0.026	0.14
	17		0.157	0.019	0.157	0.019	0.157	0.019	0.157	0.019	0.157	0.019	0.16
	18		0.101	-0.056	0.101	-0.056	0.101	-0.056	0.101	-0.056	0.101	-0.056	0.10
	19		0.277	0.176	0.277	0.176	0.277	0.176	0.277	0.176	0.277	0.176	0.28
	20		0.145	-0.132	0.145	-0.132	0.145	-0.132	0.145	-0.132	0.145	-0.132	0.15
	21		0.264	0.119	0.264	0.119	0.264	0.119	0.264	0.119	0.264	0.119	0.26
	22		0.369	0.105	0.369	0.105	0.369	0.105	0.369	0.105	0.369	0.105	0.37
	23		0.191	-0.178	0.191	-0.178	0.191	-0.178	0.191	-0.178	0.191	-0.178	0.19
24	0.341	0.150	0.341	0.150	0.341	0.150	0.341	0.150	0.341	0.150	0.34		
25	見 通 し	0.338	-0.003	0.343	0.002	0.356	0.015	0.284	-0.057	0.353	0.012	0.21	
26		0.361	0.023	0.370	0.027	0.399	0.043	0.301	0.017	0.359	0.006		
27		0.384	0.023	0.397	0.027	0.447	0.048	0.318	0.017	0.362	0.003		
28		0.408	0.024	0.424	0.027	0.501	0.054	0.336	0.018	0.365	0.003		
29		0.431	0.023	0.452	0.028	0.562	0.061	0.353	0.017	0.367	0.002		
30		0.454	0.023	0.480	0.028	0.630	0.068	0.370	0.017	0.368	0.001		
31		0.478	0.024	0.509	0.029	0.706	0.076	0.387	0.017	0.369	0.001		
32		0.501	0.023	0.539	0.030	0.791	0.085	0.404	0.017	0.369	0.000		
33		0.524	0.023	0.569	0.030	0.887	0.096	0.421	0.017	0.369	0.000		
34	0.548	0.024	0.599	0.030	0.994	0.107	0.438	0.017	0.370	0.001			
35	0.571	0.023	0.630	0.031	1.114	0.120	0.455	0.017	0.370	0.000			
採 用										○			
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K／(1+EXP(a-bt))			
	a =	-0.25		-0.15		0.02		0.02		7.42			
	b =	0.02		0.01		1.12		1.00		0.42			
	c =			0.00									
	Yo =							0.11					
	to =							15.00					
	K =									0.37			
	r =	0.731518		0.732158		0.719122		0.678809		0.697408			



直接搬入 有害ごみ(乾電池)

単位: g/人・日

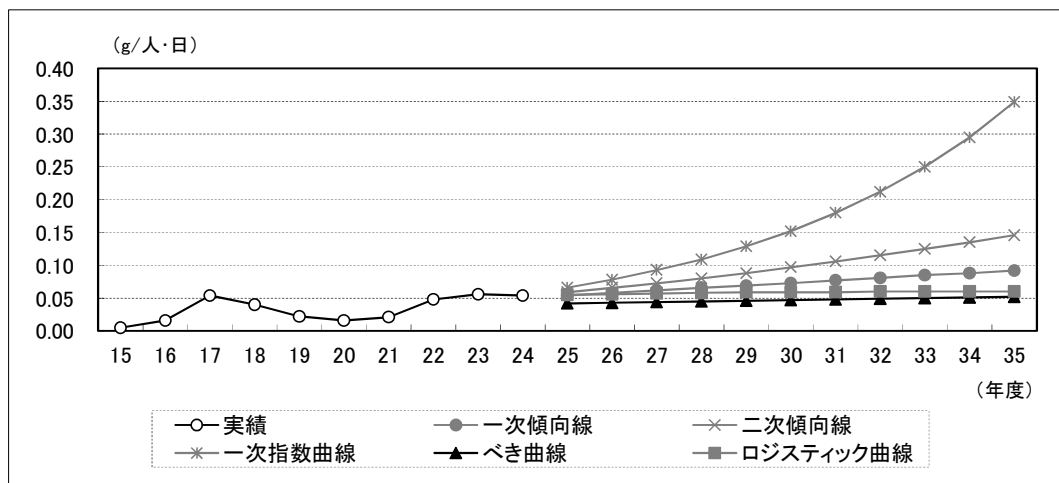
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
平成	15	実 績	0.187	—	0.187	—	0.187	—	0.187	—	0.187	—	0.19
	16		0.194	0.007	0.194	0.007	0.194	0.007	0.194	0.007	0.194	0.007	0.19
	17		0.183	-0.011	0.183	-0.011	0.183	-0.011	0.183	-0.011	0.183	-0.011	0.18
	18		0.195	0.012	0.195	0.012	0.195	0.012	0.195	0.012	0.195	0.012	0.20
	19		0.344	0.149	0.344	0.149	0.344	0.149	0.344	0.149	0.344	0.149	0.34
	20		0.139	-0.205	0.139	-0.205	0.139	-0.205	0.139	-0.205	0.139	-0.205	0.14
	21		0.428	0.289	0.428	0.289	0.428	0.289	0.428	0.289	0.428	0.289	0.43
	22		0.687	0.259	0.687	0.259	0.687	0.259	0.687	0.259	0.687	0.259	0.69
	23		0.411	-0.276	0.411	-0.276	0.411	-0.276	0.411	-0.276	0.411	-0.276	0.41
	24		0.241	-0.170	0.241	-0.170	0.241	-0.170	0.241	-0.170	0.241	-0.170	0.24
25	見 通 し	0.468	0.227	0.394	0.153	0.448	0.207	0.469	0.228	0.577	0.336	0.30	
26		0.499	0.031	0.384	-0.010	0.493	0.045	0.526	0.057	0.602	0.025	0.30	
27		0.529	0.030	0.367	-0.017	0.542	0.049	0.588	0.062	0.622	0.020	0.30	
28		0.559	0.030	0.343	-0.024	0.595	0.053	0.656	0.068	0.638	0.016	0.30	
29		0.590	0.031	0.313	-0.030	0.654	0.059	0.728	0.072	0.650	0.012	0.30	
30		0.620	0.030	0.275	-0.038	0.719	0.065	0.805	0.077	0.660	0.010	0.30	
31		0.651	0.031	0.231	-0.044	0.791	0.072	0.888	0.083	0.667	0.007	0.30	
32		0.681	0.030	0.181	-0.050	0.869	0.078	0.975	0.087	0.673	0.006	0.30	
33		0.712	0.031	0.123	-0.058	0.955	0.086	1.067	0.092	0.677	0.004	0.30	
34		0.742	0.030	0.059	-0.064	1.050	0.095	1.164	0.097	0.680	0.003	0.30	
35	0.772	0.030	-0.012	-0.071	1.154	0.104	1.266	0.102	0.683	0.003	0.30		
採 用												○	
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	-0.29		-1.55		0.04		0.00		5.60			
	b =	0.03		0.16		1.10		1.94		0.29			
	c =			-0.00									
	Yo =							0.19					
	to =							15.00					
	K =									0.69			
	r =	0.543803		0.565126		0.492444		0.449200		0.525284			



直接搬入 有害ごみ(ライター)

単位: g/人・日

年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	0.005	—	0.005	—	0.005	—	0.005	—	0.005	—	0.01
	16		0.016	0.011	0.016	0.011	0.016	0.011	0.016	0.011	0.016	0.011	0.02
	17		0.054	0.038	0.054	0.038	0.054	0.038	0.054	0.038	0.054	0.038	0.05
	18		0.040	−0.014	0.040	−0.014	0.040	−0.014	0.040	−0.014	0.040	−0.014	0.04
	19		0.022	−0.018	0.022	−0.018	0.022	−0.018	0.022	−0.018	0.022	−0.018	0.02
	20		0.016	−0.006	0.016	−0.006	0.016	−0.006	0.016	−0.006	0.016	−0.006	0.02
	21		0.021	0.005	0.021	0.005	0.021	0.005	0.021	0.005	0.021	0.005	0.02
	22		0.048	0.027	0.048	0.027	0.048	0.027	0.048	0.027	0.048	0.027	0.05
	23		0.056	0.008	0.056	0.008	0.056	0.008	0.056	0.008	0.056	0.008	0.06
	24		0.054	−0.002	0.054	−0.002	0.054	−0.002	0.054	−0.002	0.054	−0.002	0.05
25	見 通 し	0.054	0.000	0.059	0.005	0.066	0.012	0.042	−0.012	0.055	0.001	0.03	
26		0.058	0.004	0.066	0.007	0.078	0.012	0.043	0.001	0.056	0.001		
27		0.062	0.004	0.073	0.007	0.093	0.015	0.044	0.001	0.057	0.001		
28		0.066	0.004	0.080	0.007	0.109	0.016	0.045	0.001	0.058	0.001		
29		0.069	0.003	0.088	0.008	0.129	0.020	0.046	0.001	0.059	0.001		
30		0.073	0.004	0.097	0.009	0.152	0.023	0.047	0.001	0.059	0.000		
31		0.077	0.004	0.106	0.009	0.180	0.028	0.048	0.001	0.059	0.000		
32		0.081	0.004	0.115	0.009	0.212	0.032	0.049	0.001	0.060	0.001		
33		0.085	0.004	0.125	0.010	0.250	0.038	0.050	0.001	0.060	0.000		
34		0.088	0.003	0.135	0.010	0.295	0.045	0.051	0.001	0.060	0.000		
35		0.092	0.004	0.146	0.011	0.349	0.054	0.052	0.001	0.060	0.000		
採 用								○					
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct ²		a・b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))			
	a =	−0.04		0.04		0.00		0.02		6.56			
	b =	0.00		−0.01		1.18		0.37		0.35			
	c =			0.00									
	Yo =							0.01					
	to =							15.00					
	K =									0.06			
	r =	0.606374		0.599117		0.603899		0.584048		0.567175			

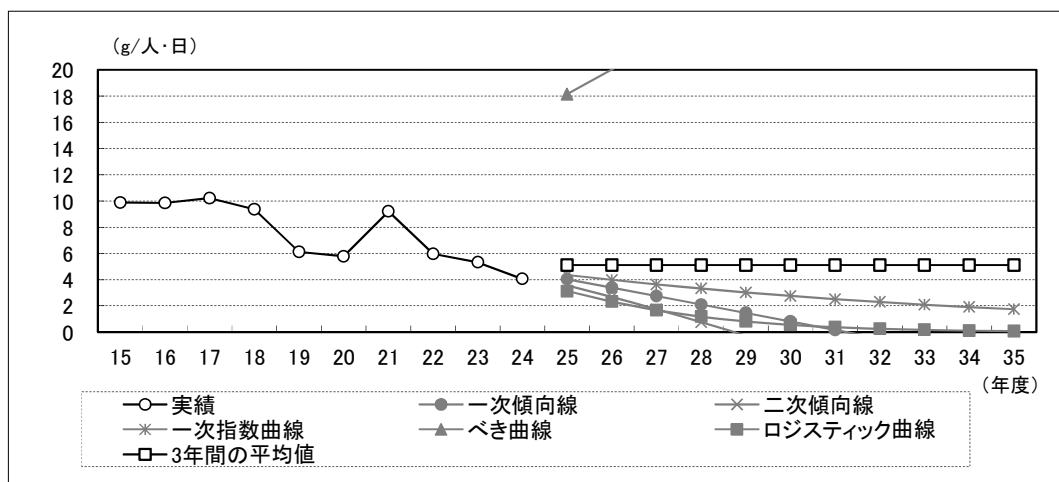


3. 集団回収量の予測

集団回収 ダンボール

単位: g/人・日

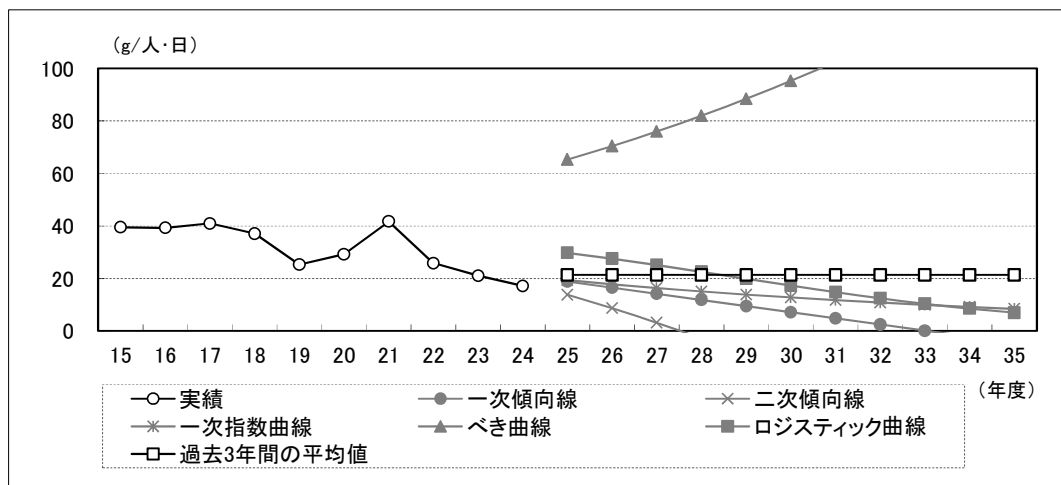
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロジスティック曲線		3年間 の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実	9.885	—	9.885	—	9.885	—	9.885	—	9.885	—	9.89
	16		9.850	-0.04	9.850	-0.04	9.850	-0.04	9.850	-0.04	9.850	-0.04	9.85
	17		10.220	0.37	10.220	0.37	10.220	0.37	10.220	0.37	10.220	0.37	10.22
	18		9.365	-0.86	9.365	-0.86	9.365	-0.86	9.365	-0.86	9.365	-0.86	9.37
	19		6.121	-3.24	6.121	-3.24	6.121	-3.24	6.121	-3.24	6.121	-3.24	6.12
20	5.787	-0.33	5.787	-0.33	5.787	-0.33	5.787	-0.33	5.787	-0.33	5.787	-0.33	5.79
21	9.202	3.42	9.202	3.42	9.202	3.42	9.202	3.42	9.202	3.42	9.202	3.42	9.20
22	5.968	-3.23	5.968	-3.23	5.968	-3.23	5.968	-3.23	5.968	-3.23	5.968	-3.23	5.97
23	5.319	-0.65	5.319	-0.65	5.319	-0.65	5.319	-0.65	5.319	-0.65	5.319	-0.65	5.32
24	4.053	-1.27	4.053	-1.27	4.053	-1.27	4.053	-1.27	4.053	-1.27	4.053	-1.27	4.05
25	4.03	-0.02	3.57	-0.48	4.37	0.31	18.14	14.09	3.13	-0.92			5.11
26	3.39	-0.64	2.67	-0.90	3.98	-0.38	20.03	1.89	2.32	-0.81			5.11
27	2.75	-0.64	1.74	-0.94	3.63	-0.35	22.12	2.10	1.67	-0.65			5.11
28	2.10	-0.64	0.76	-0.98	3.32	-0.32	24.43	2.31	1.18	-0.50			5.11
29	1.46	-0.65	-0.27	-1.02	3.03	-0.29	26.95	2.52	0.81	-0.36			5.11
30	0.81	-0.64	-1.33	-1.07	2.76	-0.27	29.69	2.74	0.56	-0.26			5.11
31	0.17	-0.64	-2.44	-1.11	2.52	-0.24	32.65	2.96	0.38	-0.18			5.11
32	-0.48	-0.64	-3.59	-1.15	2.30	-0.22	35.83	3.18	0.25	-0.12			5.11
33	-1.12	-0.64	-4.78	-1.19	2.10	-0.20	39.24	3.41	0.17	-0.08			5.11
34	-1.76	-0.64	-6.01	-1.23	1.91	-0.18	42.87	3.63	0.11	-0.06			5.11
35	-2.41	-0.65	-7.29	-1.28	1.75	-0.17	46.73	3.86	0.08	-0.04			5.11
採 用												○	
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct ²		a・b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))			
	a =	20.14		12.31		43.26		0.06		-9.38			
	b =	-0.64		0.18		0.91		2.16		-0.41			
	c =			-0.02									
	Yo =							9.89					
	to =							15.00					
	K =									10.22			
	r =	0.838024		0.840927		0.823834		-0.355933		0.824631			



集団回収 新聞紙

単位: g/人・日

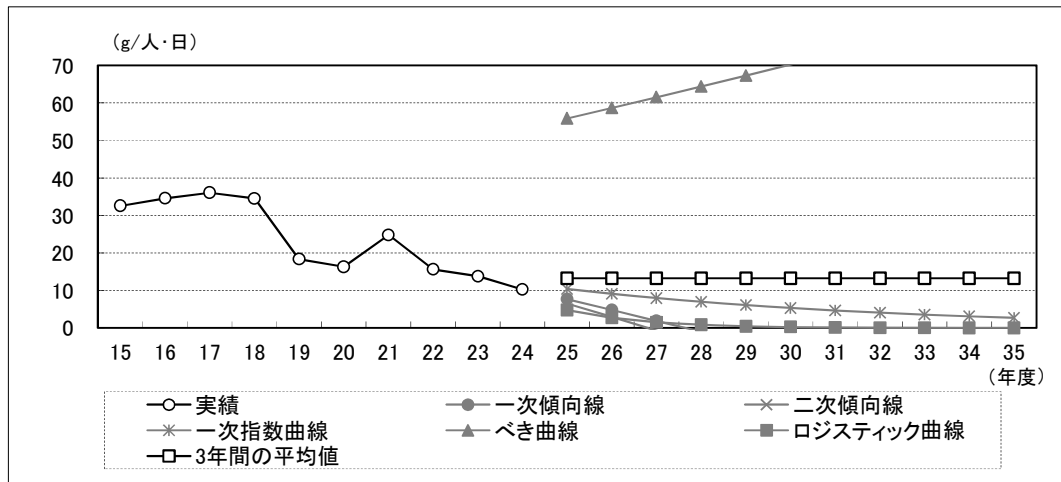
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		過去3 年間の 平均値	
	t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	実 績	39.492	—	39.492	—	39.492	—	39.492	—	39.492	—	39.49
	16		39.264	-0.23	39.264	-0.23	39.264	-0.23	39.264	-0.23	39.264	-0.23	39.26
	17		40.975	1.71	40.975	1.71	40.975	1.71	40.975	1.71	40.975	1.71	40.98
	18		37.070	-3.91	37.070	-3.91	37.070	-3.91	37.070	-3.91	37.070	-3.91	37.07
	19		25.289	-11.78	25.289	-11.78	25.289	-11.78	25.289	-11.78	25.289	-11.78	25.29
	20		29.204	3.92	29.204	3.92	29.204	3.92	29.204	3.92	29.204	3.92	29.20
	21		41.738	12.53	41.738	12.53	41.738	12.53	41.738	12.53	41.738	12.53	41.74
	22		25.838	-15.90	25.838	-15.90	25.838	-15.90	25.838	-15.90	25.838	-15.90	25.84
	23		21.058	-4.78	21.058	-4.78	21.058	-4.78	21.058	-4.78	21.058	-4.78	21.06
	24	17.169	-3.89	17.169	-3.89	17.169	-3.89	17.169	-3.89	17.169	-3.89	17.17	
	25	見 通 し	18.84	1.67	13.79	-3.38	19.29	2.12	65.33	48.16	29.81	12.64	21.36
	26		16.50	-2.34	8.70	-5.09	17.76	-1.53	70.46	5.13	27.55	-2.26	21.36
	27		14.16	-2.34	3.14	-5.55	16.35	-1.41	76.02	5.56	25.09	-2.45	21.36
	28		11.82	-2.34	-2.87	-6.01	15.05	-1.30	82.01	5.99	22.51	-2.58	21.36
	29		9.48	-2.34	-9.34	-6.47	13.85	-1.20	88.43	6.42	19.88	-2.63	21.36
	30		7.14	-2.34	-16.28	-6.93	12.75	-1.10	95.28	6.85	17.28	-2.60	21.36
	31		4.80	-2.34	-23.67	-7.39	11.74	-1.01	102.56	7.27	14.79	-2.49	21.36
	32		2.46	-2.34	-31.51	-7.85	10.80	-0.93	110.25	7.69	12.48	-2.31	21.36
	33		0.12	-2.34	-39.82	-8.31	9.95	-0.86	118.36	8.11	10.38	-2.09	21.36
	34	-2.22	-2.34	-48.59	-8.77	9.16	-0.79	126.88	8.53	8.54	-1.84	21.36	
	35	-4.56	-2.34	-57.82	-9.23	8.43	-0.73	135.82	8.94	6.95	-1.59	21.36	
採 用												○	
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Y ₀ +a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	77.34		-8.05		152.91		0.33		-7.23			
	b =	-2.34		6.61		0.92		1.90		-0.25			
	c =			-0.23									
	Y ₀ =							39.49					
	to =							15.00					
	K =									41.74			
	r =	0.781544		0.805241		0.756849		-0.332636		0.362360			



集団回収 雑誌

単位: g/人・日

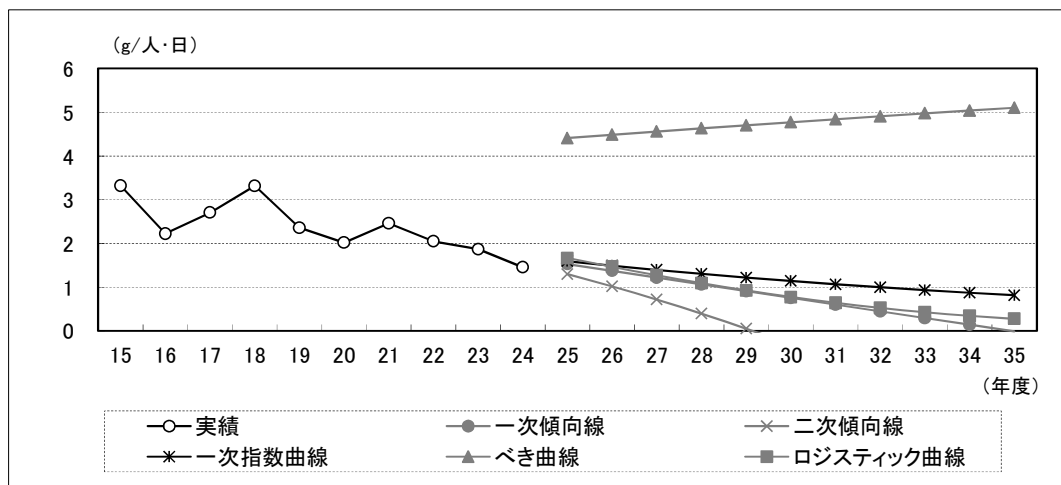
年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		3年間の平均値
t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	15	32.584	—	32.584	—	32.584	—	32.584	—	32.584	—	32.58
	16	34.564	1.98	34.564	1.98	34.564	1.98	34.564	1.98	34.564	1.98	34.56
	17	36.071	1.51	36.071	1.51	36.071	1.51	36.071	1.51	36.071	1.51	36.07
	18	34.539	-1.53	34.539	-1.53	34.539	-1.53	34.539	-1.53	34.539	-1.53	34.54
	19	18.350	-16.19	18.350	-16.19	18.350	-16.19	18.350	-16.19	18.350	-16.19	18.35
	20	16.303	-2.05	16.303	-2.05	16.303	-2.05	16.303	-2.05	16.303	-2.05	16.30
	21	24.804	8.50	24.804	8.50	24.804	8.50	24.804	8.50	24.804	8.50	24.80
	22	15.636	-9.17	15.636	-9.17	15.636	-9.17	15.636	-9.17	15.636	-9.17	15.64
	23	13.803	-1.83	13.803	-1.83	13.803	-1.83	13.803	-1.83	13.803	-1.83	13.80
	24	10.266	-3.54	10.266	-3.54	10.266	-3.54	10.266	-3.54	10.266	-3.54	10.27
	25	7.71	-2.56	6.50	-3.77	10.38	0.11	55.90	45.64	4.77	-5.50	13.24
	26	4.80	-2.91	2.93	-3.57	9.08	-1.30	58.69	2.78	2.71	-2.06	13.24
	27	1.89	-2.91	-0.75	-3.68	7.94	-1.14	61.52	2.83	1.50	-1.21	13.24
	28	-1.02	-2.91	-4.53	-3.79	6.94	-1.00	64.40	2.87	0.82	-0.68	13.24
	29	-3.92	-2.91	-8.43	-3.90	6.07	-0.87	67.31	2.92	0.44	-0.38	13.24
	30	-6.83	-2.91	-12.44	-4.01	5.31	-0.76	70.27	2.96	0.24	-0.20	13.24
	31	-9.74	-2.91	-16.55	-4.12	4.65	-0.67	73.26	2.99	0.13	-0.11	13.24
	32	-12.64	-2.91	-20.78	-4.23	4.06	-0.58	76.28	3.03	0.07	-0.06	13.24
	33	-15.55	-2.91	-25.12	-4.34	3.55	-0.51	79.34	3.06	0.04	-0.03	13.24
	34	-18.46	-2.91	-29.56	-4.45	3.11	-0.45	82.43	3.09	0.02	-0.02	13.24
	35	-21.36	-2.91	-34.12	-4.56	2.72	-0.39	85.55	3.12	0.01	-0.01	13.24
採 用												○
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))		
	a =	80.37		59.92		295.93		1.53		-13.82		
	b =	-2.91		-0.76		0.87		1.18		-0.63		
	c =			-0.05								
	Yo =							32.58				
	to =							15.00				
	K =									36.08		
	r =	0.882286		0.883298		0.859551		-0.302045		0.820856		



集団回収 布類

単位: g/人・日

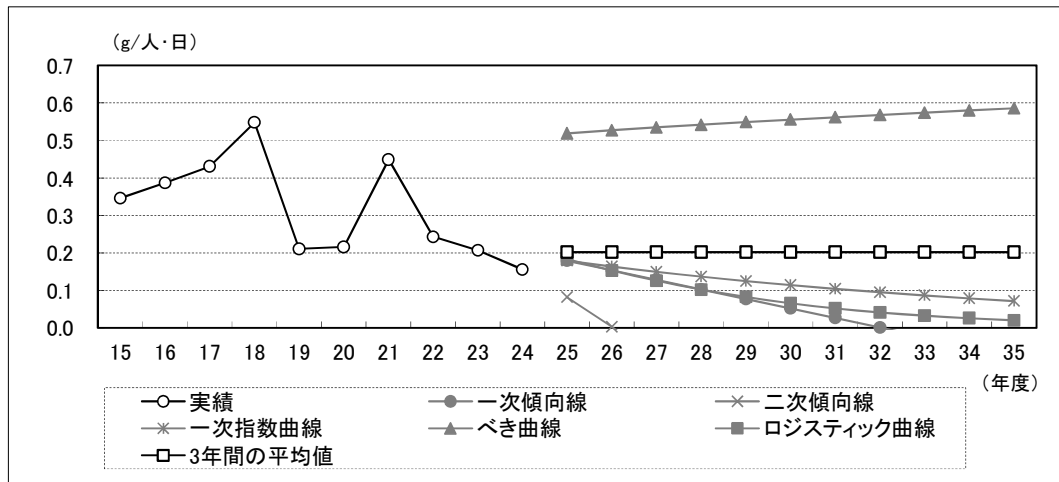
年 度	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線	過去の 平均値
t	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	
平成 15	3.32	—	3.32	—	3.32	3.32
16	2.23	-1.10	2.23	-1.10	2.23	2.23
17	2.71	0.48	2.71	0.48	2.71	2.71
18	3.32	0.61	3.32	0.61	3.32	3.32
19	2.36	-0.96	2.36	-0.96	2.36	2.36
20	2.02	-0.34	2.02	-0.34	2.02	2.02
21	2.46	0.44	2.46	0.44	2.46	2.46
22	2.05	-0.41	2.05	-0.41	2.05	2.05
23	1.87	-0.18	1.87	-0.18	1.87	1.87
24	1.46	-0.41	1.46	-0.41	1.46	1.46
25	1.53	0.07	1.30	-0.16	1.67	2.38
26	1.38	-0.16	1.02	-0.28	1.47	
27	1.22	-0.15	0.72	-0.30	1.28	
28	1.07	-0.15	0.40	-0.32	1.09	
29	0.91	-0.15	0.05	-0.34	0.93	
30	0.76	-0.16	-0.31	-0.36	0.77	
31	0.60	-0.15	-0.69	-0.39	0.64	
32	0.45	-0.15	-1.10	-0.41	0.53	
33	0.30	-0.16	-1.53	-0.43	0.43	
34	0.14	-0.15	-1.97	-0.45	0.35	
35	-0.01	-0.15	-2.44	-0.47	0.28	
採用			○			
予 測 式	Yt =	a+bt	a+bt+ct ²	a・b ^t	Yo+a(t-to) ^b	K/(1+EXP(a-bt))
	a =	5.39	1.49	8.56	0.21	-6.00
	b =	-0.15	0.25	0.94	0.71	-0.24
	c =		-0.01			
	Yo =				3.32	
	to =				15.00	
	K =					3.32
	r =	0.777299	0.788453	0.762620	-0.153018	0.716878



集団回収 牛乳パック

単位: g/人・日

年 度		一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べ き 曲 線		ロジスティック曲線		3年間 の 平 均 値	
t		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
平成	15	実 績	0.35	—	0.35	—	0.35	—	0.35	—	0.35	—	0.35
	16		0.39	0.04	0.39	0.04	0.39	0.04	0.39	0.04	0.39	0.04	0.39
	17		0.43	0.04	0.43	0.04	0.43	0.04	0.43	0.04	0.43	0.04	0.43
	18		0.55	0.12	0.55	0.12	0.55	0.12	0.55	0.12	0.55	0.12	0.55
	19		0.21	-0.34	0.21	-0.34	0.21	-0.34	0.21	-0.34	0.21	-0.34	0.21
	20		0.22	0.01	0.22	0.01	0.22	0.01	0.22	0.01	0.22	0.01	0.22
	21		0.45	0.23	0.45	0.23	0.45	0.23	0.45	0.23	0.45	0.23	0.45
	22		0.24	-0.21	0.24	-0.21	0.24	-0.21	0.24	-0.21	0.24	-0.21	0.24
	23		0.21	-0.04	0.21	-0.04	0.21	-0.04	0.21	-0.04	0.21	-0.04	0.21
	24		0.16	-0.05	0.16	-0.05	0.16	-0.05	0.16	-0.05	0.16	-0.05	0.16
25	見 通 し	0.18	0.02	0.08	-0.07	0.18	0.02	0.52	0.36	0.18	0.03	0.20	
26		0.15	-0.03	0.00	-0.08	0.16	-0.02	0.53	0.01	0.15	-0.03	0.20	
27		0.13	-0.03	-0.09	-0.09	0.15	-0.01	0.54	0.01	0.13	-0.03	0.20	
28		0.10	-0.03	-0.18	-0.10	0.14	-0.01	0.54	0.01	0.10	-0.02	0.20	
29		0.08	-0.03	-0.29	-0.11	0.13	-0.01	0.55	0.01	0.08	-0.02	0.20	
30		0.05	-0.03	-0.40	-0.11	0.11	-0.01	0.56	0.01	0.07	-0.02	0.20	
31		0.03	-0.03	-0.52	-0.12	0.10	-0.01	0.56	0.01	0.05	-0.01	0.20	
32		0.00	-0.03	-0.66	-0.13	0.10	-0.01	0.57	0.01	0.04	-0.01	0.20	
33		-0.02	-0.03	-0.80	-0.14	0.09	-0.01	0.57	0.01	0.03	-0.01	0.20	
34		-0.05	-0.03	-0.95	-0.15	0.08	-0.01	0.58	0.01	0.03	-0.01	0.20	
35	-0.08	-0.03	-1.11	-0.16	0.07	-0.01	0.59	0.01	0.02	-0.01	0.20		
採 用												○	
予 測 式	Yt =	a+bt		a+bt+ct ²		a・b ^t		Yo+a(t-to) ^b		K/(1+EXP(a-bt))			
	a =	0.82		-0.84		1.74		0.06		-5.76			
	b =	-0.03		0.15		0.91		0.47		-0.26			
	c =			-0.00									
	Yo =							0.35					
	to =							15.00					
	K =									0.55			
	r =	0.588766		0.642824		0.547715		-0.154808		0.555277			



資料３ 生活排水処理の実績及び将来予測

１．生活排水処理形態別人口の将来予測

生活排水処理形態別人口の将来予測は、表 3-1 に示すとおりです。

表 3-1 生活排水処理形態別人口の将来予測

区 分	単位	実績値				
		H20	H21	H22	H23	H24
計画処理区域内人口	人	51,126	51,271	51,634	52,083	52,453
水洗化・生活雑排水処理人口	人	21,217	22,867	23,545	24,781	25,978
公共下水道人口	人	0	0	0	0	0
特環公共下水道人口	人	2,744	2,783	2,860	2,840	2,821
農業集落排水人口	人	482	472	470	452	444
コミュニティプラント人口	人	1,330	1,419	1,560	1,610	1,621
合併処理浄化槽人口	人	16,661	18,193	18,655	19,879	21,092
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810
単独処理浄化槽人口	人	27,680	26,361	26,151	25,478	24,810
非水洗化人口	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665
し尿人口（くみ取り）	人	2,229	2,043	1,938	1,824	1,665
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	41.5	44.6	45.6	47.6	49.5

区 分	単位	推計値				
		H25	H26	H27	H28	H29
計画処理区域内人口	人	52,641	52,872	53,102	53,225	53,348
水洗化・生活雑排水処理人口	人	27,886	29,253	30,620	31,987	33,354
公共下水道人口	人	0	0	0	0	0
特環公共下水道人口	人	3,256	3,388	3,520	3,652	3,784
農業集落排水人口	人	486	491	497	502	507
コミュニティプラント人口	人	2,084	2,259	2,433	2,608	2,783
合併処理浄化槽人口	人	22,060	23,115	24,170	25,225	26,280
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	23,189	22,158	21,120	19,967	18,809
単独処理浄化槽人口	人	23,189	22,158	21,120	19,967	18,809
非水洗化人口	人	1,566	1,461	1,362	1,271	1,185
し尿人口（くみ取り）	人	1,566	1,461	1,362	1,271	1,185
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	53.0	55.3	57.7	60.1	62.5

区 分	単位	推計値					
		H30	H31	H32	H33	H34	H35
計画処理区域内人口	人	52,952	53,595	53,718	53,761	53,804	53,847
水洗化・生活雑排水処理人口	人	34,720	36,087	37,454	41,746	44,958	47,917
公共下水道人口	人	0	0	0	2,925	4,770	6,363
特環公共下水道人口	人	3,916	4,048	4,180	4,312	4,444	4,576
農業集落排水人口	人	513	518	523	529	534	539
コミュニティプラント人口	人	2,957	3,132	3,307	3,481	3,656	3,831
合併処理浄化槽人口	人	27,334	28,389	29,444	30,499	31,554	32,608
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	17,127	16,477	15,302	11,245	8,216	5,427
単独処理浄化槽人口	人	17,127	16,477	15,302	11,245	8,216	5,427
非水洗化人口	人	1,105	1,031	962	770	630	503
し尿人口（くみ取り）	人	1,105	1,031	962	770	630	503
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	65.6	67.3	69.7	77.7	83.6	89.0

2. し尿・浄化槽汚泥発生量の将来予測

し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測は、表 3-2 に示すとおりです。

表 3-2 し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測

	年度	し尿収集量	浄化槽汚泥 収集量	農業集落排水 汚泥収集量	コミプラ 汚泥収集量	合計
実績値	H20	1,046	27,444	168	0	28,658
	H21	1,002	28,630	167	35	29,834
	H22	968	29,183	164	124	30,438
	H23	906	30,509	164	120	31,699
	H24	850	30,969	161	120	32,099
推計値	H25	773	29,530	172	157	30,632
	H26	721	29,546	174	170	30,611
	H27	674	29,638	177	184	30,673
	H28	627	29,493	178	197	30,495
	H29	585	29,426	180	210	30,401
	H30	545	29,016	182	223	29,966
	H31	510	29,361	184	237	30,292
	H32	475	29,202	186	249	30,112
	H33	380	27,243	188	263	28,074
	H34	311	25,955	189	276	26,731
	H35	249	24,890	192	290	25,621

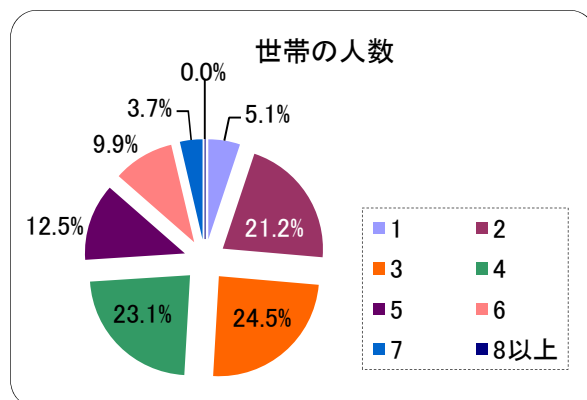
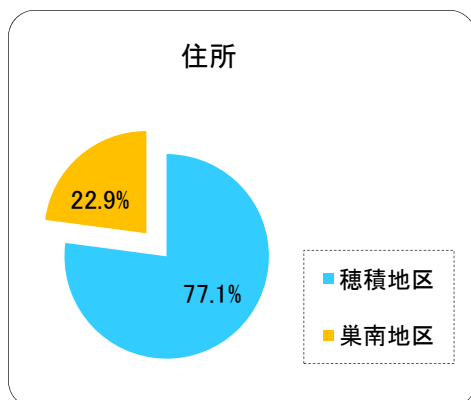
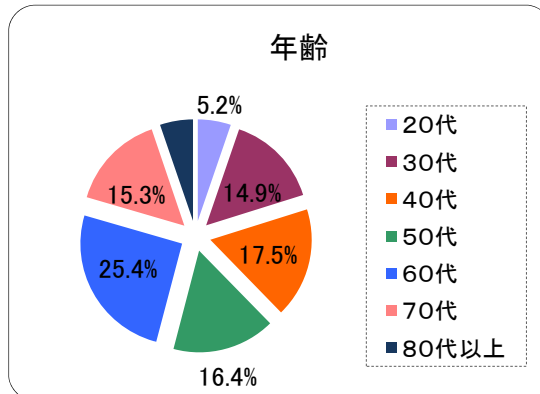
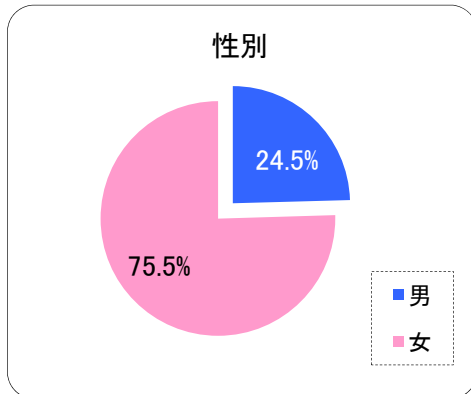
資料４ 家庭ごみに関する市民アンケート調査結果

【実施期間】 平成 25 年 7 月 5 日～7 月 22 日

【概 要】 調査票配布数：600 件（郵送 500 件、美来の森配布 100 件）

有効回答数：271 件（45.2%）

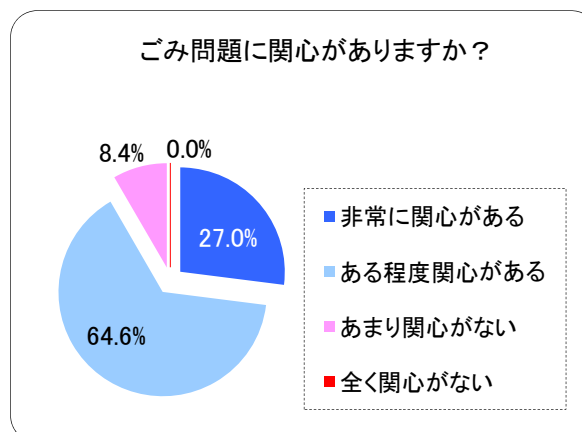
■ 最初にあなたのことについてお伺いいたします。



問 1 ごみ問題に関心がありますか？

（回答数：263 件）

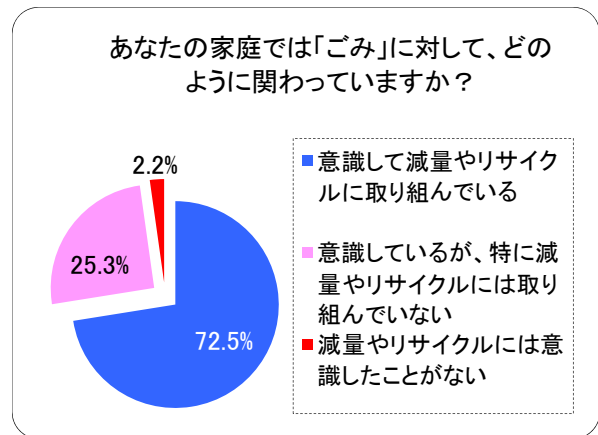
- ① 非常に関心がある
- ② ある程度関心がある
- ③ あまり関心がない
- ④ 全く関心がない



問2 あなたの家庭では「ごみ」に対し、どのように関わっていますか？

(回答数：269 件)

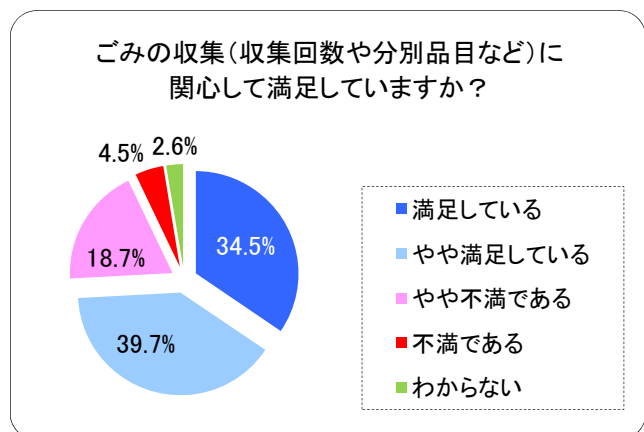
- ① 意識して減量やリサイクルに取り組んでいる
- ② 意識しているが、特に減量やリサイクルには取り組んでいない
- ③ 減量やリサイクルは意識したことがない



問3 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？

(回答数：267 件)

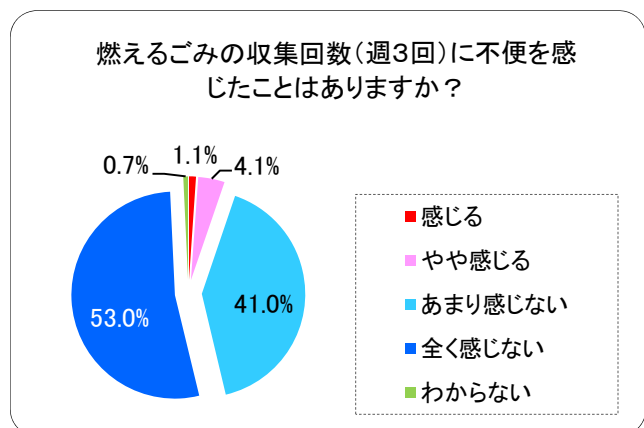
- ① 満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ 不満である
- ⑤ わからない



問4 燃えるごみの収集回数（週3回）に不便を感じたことはありますか？

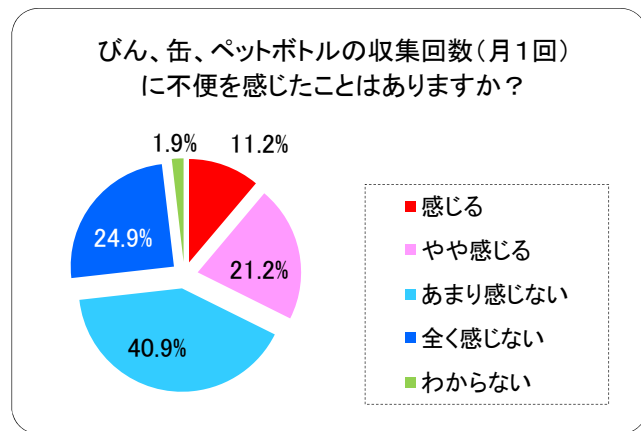
(回答数：268 件)

- ① 感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない
- ⑤ わからない



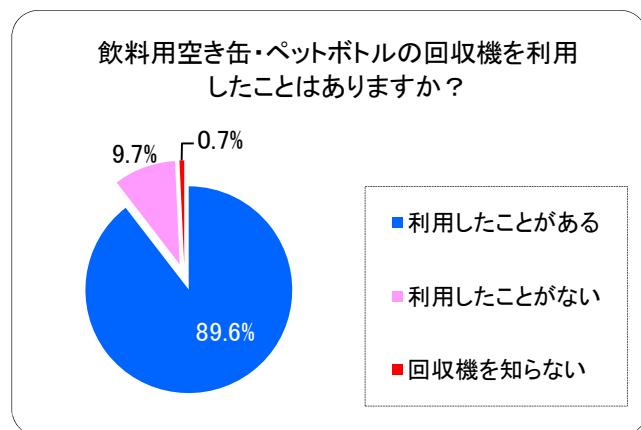
問5 びん、缶、ペットボトルの収集回数（月1回）に不便を感じたことはありますか？
（回答数：269 件）

- ① 感じる
- ② やや感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない
- ⑤ わからない



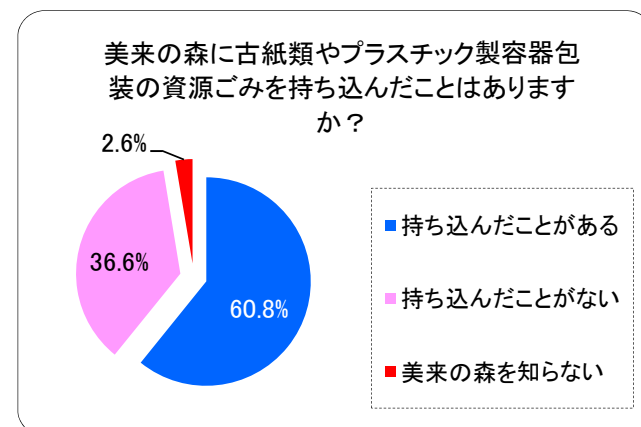
問6 飲料用空き缶・ペットボトルの回収機を利用したことはありますか？
（回答数 268 件）

- ① 利用したことがある
- ② 利用したことがない
- ③ 回収機を知らない



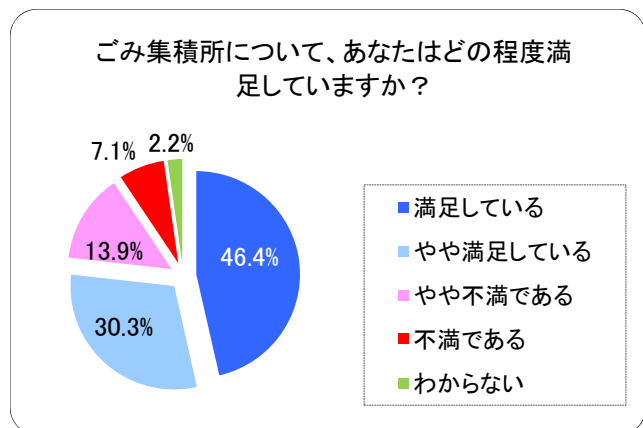
問7 美来の森に古紙類やプラスチック製容器包装の資源ごみを持ち込んだことはありますか？（回答数 268 件）

- ① 持ち込んだことがある
- ② 持ち込んだことがない
- ③ 美来の森を知らない



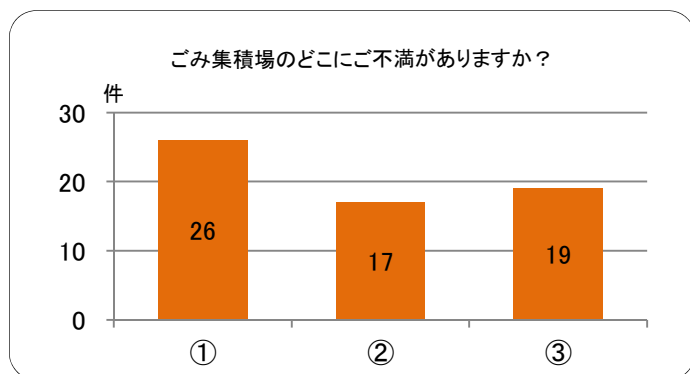
問 8 ごみ集積所について、あなたはどの程度満足していますか？（回答数 267 件）

- ① 満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ 不満である
- ⑤ わからない



問 9 問 8 で「③ やや不満である、④ 不満である」と回答した人にお聞きします。ごみ集積場のどこにご不満がありますか？（複数回答可）

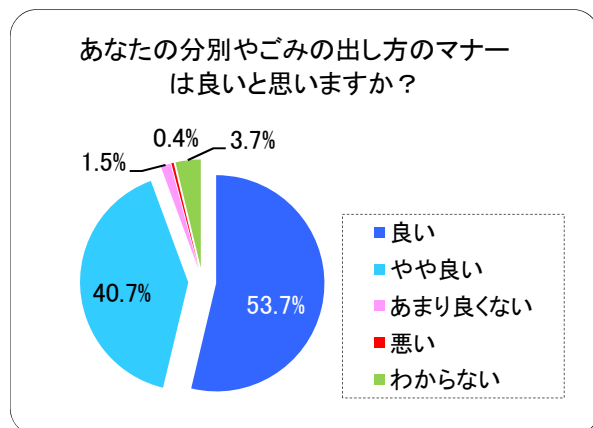
- ① ごみ集積所が遠い
- ② 清潔でない
- ③ その他



問 10 あなたの分別やごみの出し方のマナーは良いと思いますか？

（回答数：268 件）

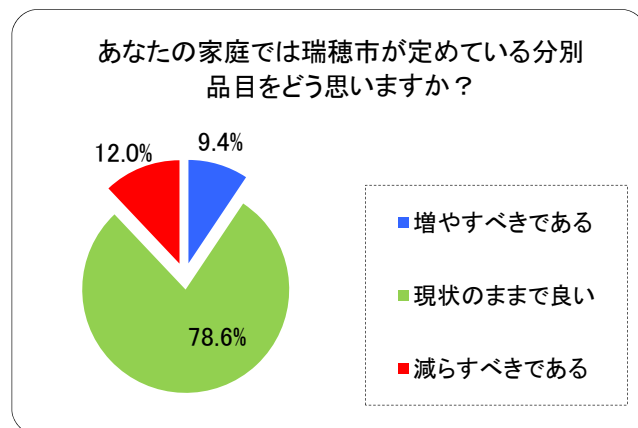
- ① 良い
- ② やや良い
- ③ あまり良くない
- ④ 悪い
- ⑤ わからない



問 1 1 あなたの家庭では瑞穂市が定めている分別品目をどう思いますか？

(回答数：郵送 266 件)

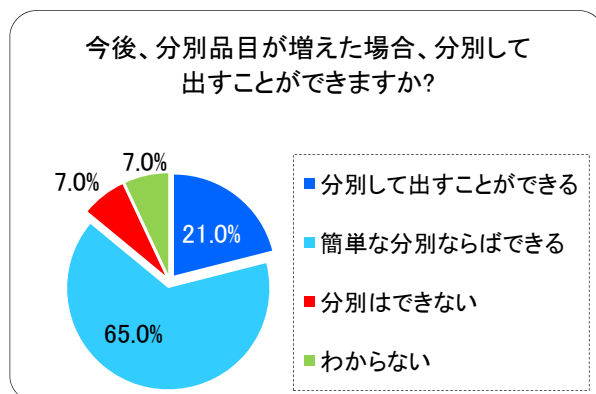
- ① 分別品目を増やすべきである
- ② 現状のままでよい
- ③ 分別品目を減らすべきである



問 1 2 今後、分別収集品目が増えた場合、分別して出すことができますか？

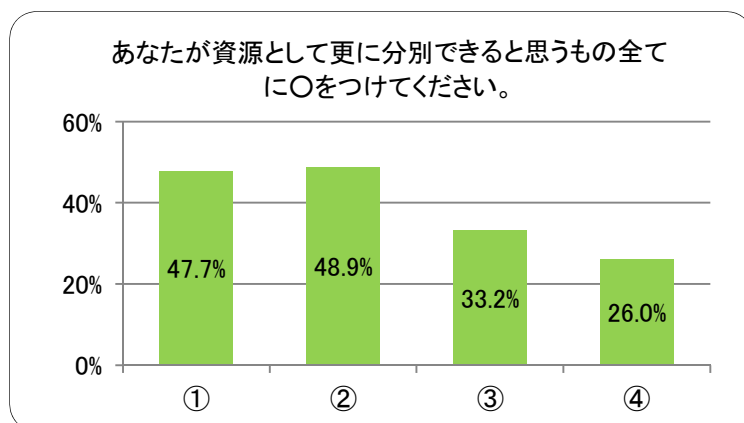
(回答数：268 件)

- ① 手間がかかっても分別して出すことができる
- ② 簡単な分別ならばできる
- ③ 分別はできない
- ④ わからない



問 1 3 問 1 2 の中で、あなたが資源として更に分別できると思うもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

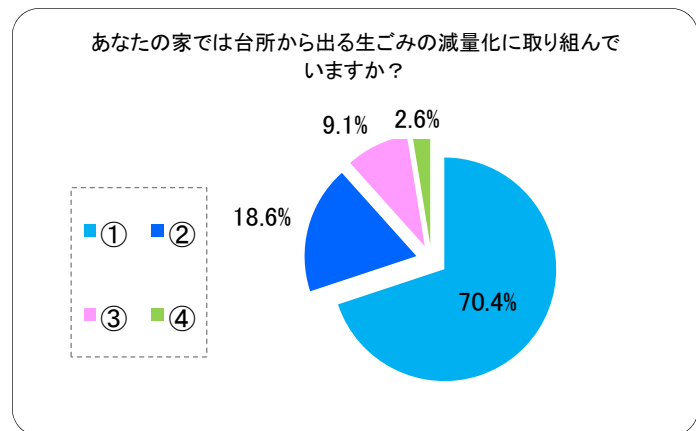
- ① 白色トレイ
- ② 発泡スチロール
- ③ 容器包装プラスチック
- ④ 紙製容器包装



問 1 4 あなたの家では台所から出るごみの減量化に取り組んでいますか？

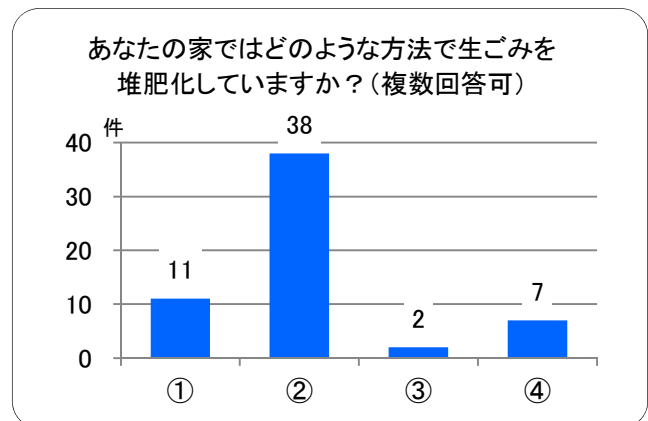
(回答数：郵送 268 件)

- ① 水切りをして燃えるごみに出している。
- ② 堆肥化している
- ③ 特に何もしていない
- ④ その他



問 1 5 問 1 4 で「② 堆肥化している」と回答した人にお聞きます。あなたの家ではどのような方法で生ごみを堆肥化していますか？（複数回答可）

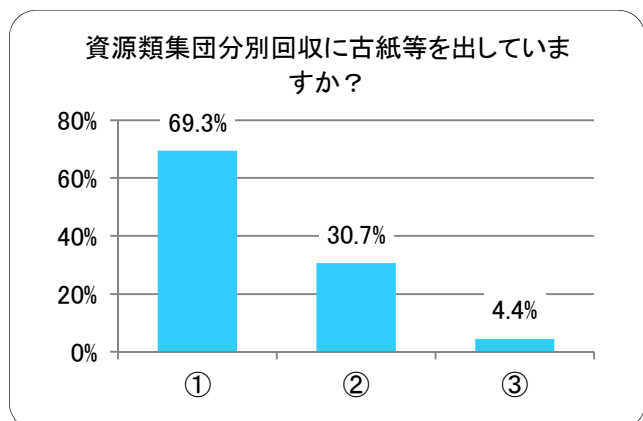
- ① 電気式の生ごみ処理機を使用
- ② 畑などで生ごみ堆肥化器（コンポスト）を使用
- ③ ダンボールコンポストを使用
- ④ 生ごみ発酵用密閉容器を使用



問 1 6 子ども会や自治会等の団体が行う資源類集団分別回収に古紙等を出していますか？（複数回答可）

(割合算出回答数：274 件)

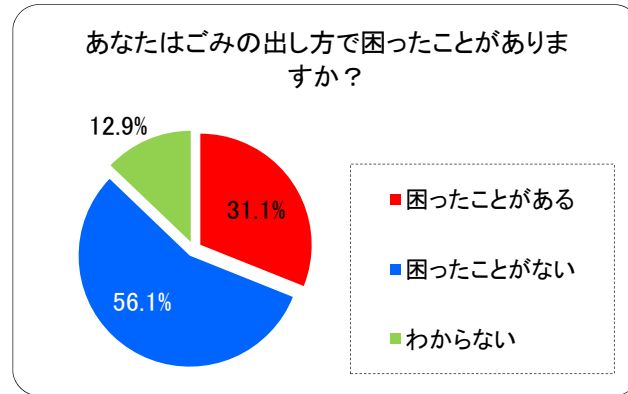
- ① 集団回収に出している
- ② 民間回収に出している
- ③ その他



問１７ あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

(回答数：264 件)

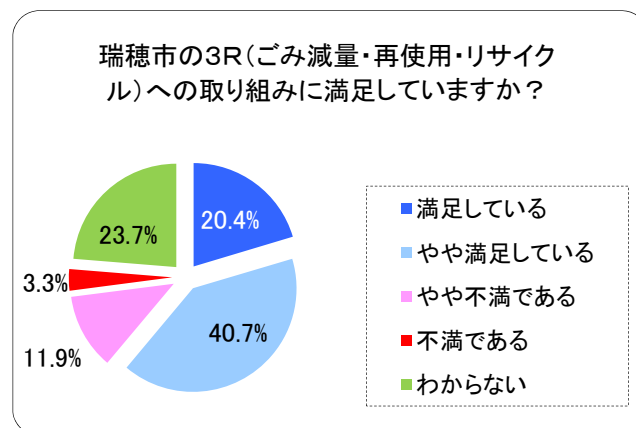
- ① 困ったことがある
- ② 困ったことがない
- ③ わからない



問１８ 瑞穂市の３Ｒ（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？

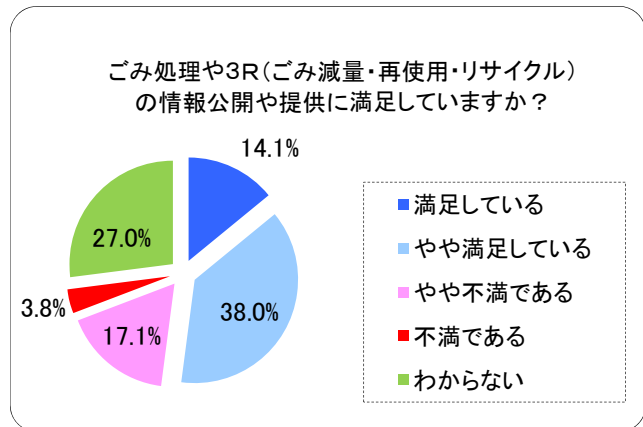
(回答数：郵送 270 件)

- ① 満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ 不満である
- ⑤ わからない



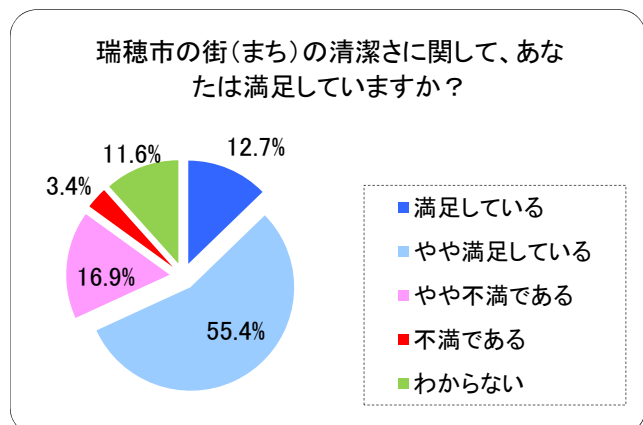
問 19 ごみ処理や3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）の情報公開や提供に満足していますか？（回答数：263 件）

- ① 満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ 不満である
- ⑤ わからない



問 20 瑞穂市の街の清潔さに関して、あなたはどの程度満足していますか？（回答数：267 件）

- ① 満足している
- ② やや満足している
- ③ やや不満である
- ④ 不満である
- ⑤ わからない



資料5 パブリックコメント

パブリックコメントに寄せられたご意見と、意見に対する考え方について。

1. 概 要

意見募集期間：平成 25 年 11 月 27 日（水）～12 月 26 日（木）

告 知 方 法：広報みずほ、瑞穂市ホームページ

意見提出方法：窓口へ持参、郵送、ファックス、電子メール

2. ご意見の件数

意見提出者数：2 個人

3. いただいたご意見の概要とそれに対する考え方

番号	ご意見要旨	意見に対する考え方
No. 1	第 4 章 ごみ処理基本計画 6. ごみの処理施設の整備に関する事項 39 頁 4 行目 「家庭で分別した分、缶、ペットボトル などの資源ごみ」・・・とあるが、分とは 何か？びんの間違いでは？	ご指摘のとおり、びんの間違いでござ います、訂正させていただきます。
No. 2	美来の森が足がなくてリサイクルし たくても参加できません。 ごみステーションに出せる種類をも う少し多くしてください。 又、手引きも具体的に細かくわかりや すく改正してほしいです。 もっと、各自治体にあるごみステー ションを有意義に活用して行ってほしい。 これからの老後の事も考えるともう 少し市民に優しい暮らしを考えてほしい です。	地区のごみステーションに出せるご みの種類を多くして欲しいというご意 見は、予てから頂いておりましたが、種 類の追加に伴う収集日の調整及びごみ ステーションの管理並びに収集費用の 面からも難しく、収集するごみの種類を 限定させていただいております。今後 は、拠点回収を拡充すると共に、ごみス テーションまでごみを排出できない高 齢者世帯等の支援が必要な世帯を対象 として、ごみを玄関先まで回収に伺う 「仮称 ふれあい収集」も考えておりま す。 また、「ごみ分別の手引き」につきま しては、改訂の際に、内容の見直しを行 う予定です。

資料6 諮問・答申

【 諮 問 】

諮問書：表面

瑞環第431号

平成25年3月27日

瑞穂市廃棄物減量等推進審議会 会長 様

瑞穂市長 堀 孝 正

一般廃棄物処理基本計画の策定（改訂）について（諮問）

下記の事項について、貴審議会の意見を求めます。

記

1. 一般廃棄物「ごみ」処理基本計画の策定（改訂）について

諮問書：裏面

諮 問 要 旨

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条」の規定により、市町村は当該区域内の一般廃棄物の適正な処理を行うため、一般廃棄物処理計画を定めることが義務づけられています。

瑞穂市においては、目標年次を平成35年度（第1次目標年次は平成25年度）に設定し、ごみの排出抑制の方策等を掲げた一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「計画」という。）を平成21年3月に策定いたしました。

計画策定後は、計画に掲げる「ごみの排出抑制のための方策に関する事項」を基に、「分別収集区分の統一」や「粗大ごみ処理料金の有料化」を進めてまいりました。これらの方策により、一定の成果は得られたと感じておりますが当市のごみ処理は未だ過渡期にあり、現状にあったごみ処理方法を模索する段階にあります。よって、第1次目標年次の平成25年度を次年度に控え、計画に掲げる事項の進捗状況等を踏まえた上で、平成26年度以降の計画で当市のごみ処理等に関して目標・理想となる未来像を導き出す必要があります。

つきましては、平成26年度以降の瑞穂市における一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定（改訂）に向けて、貴審議会の意見を求めるものであります。

なお、特に資源化率向上に向けた意見をお願いいたします。

【 答 申 】

答申書：表面

瑞廃審第5号

平成26年2月25日

瑞穂市長 堀 孝 正 様

瑞穂市廃棄物減量等推進審議会
会 長 平田 芳子

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について（答申）

平成25年3月27日付け瑞環第431号で諮問のあった一般廃棄物処理基本計画の策定（改訂）について、瑞穂市の廃棄物処理事業を取り巻く諸情勢を踏まえ、慎重に審議を重ね検討した結果、ここに審議会としての結論を得たので、下記のとおり答申する。

なお、審議の内容については別途記載することとする。

記

1 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定（改訂）について

瑞穂市の一般廃棄物の収集・処理方法については、平成21年3月に策定された一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「前計画」という。）に基づき、粗大ごみの処理料金有料化の実施等、ごみの排出抑制のための方策が行われ、減量という観点からは一定の成果があったと思われる。しかし、地区収集形態の統一に関しては、拠点回収により排出の機会が提供され、市民の利便性としては向上したが、未だに収集形態は相違しており、住民サービス・公平性の観点からも統一する必要があると考える。

また、前計画で掲げた数値的な目標に関して、ごみ排出量の削減目標は目標値以上に達成できているが、リサイクル率は、目標数値に及ばない結果となっている。リサイクル率が目標に及ばなかった理由として、店舗等の拠点回収の拡充が想定されるが、循環型社会の構築に向けては、リサイクル率の向上は不可欠となっている。よって、リサイクル率向上に向けた方策が必要である。

なお、計画策定（改訂）及び実施にあたり、次に示す付帯事項に取り組むことを要望する。

◇ 付帯事項

- （1）地区収集形態の相違に関しては、速やかに統一に向けた取り組みを進めること。

具体的には、穂積地区における容器包装リサイクル法に基づく分別収集及び巢南地区における陶磁器・ガラス類の分別収集である。

- (2) 容器包装リサイクル法による全市対象の回収を含め、リサイクル率向上に向けた方策を行うこと。
- (3) リサイクルセンターの整備に関しては、破碎機等の処理施設の整備に固執することなく、リサイクルの拠点としての位置付け、市民が気軽に搬入できるようなリサイクルセンター（仮称 エコステーション）としての方向性で進めること。
- (4) 現在市内13箇所に設置してある飲料用空き容器自動回収機については、住民の満足度が高いことから、費用対効果等を考慮して今後のあり方について慎重に判断すること。
- (5) 多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導を徹底し、計画的な事業系ごみの排出抑制対策を講じること。
- (6) 前計画同様に行政・市民・事業者の役割を明確にし、協働による計画にすること。

2 その他

廃棄物減量等推進員が各自治会1名委嘱され、市とのパイプ役となり活躍いただいていることは大きな進歩である。これからのごみ処理行政は市民協働でなされることが肝要であることから、改定される計画に掲げる取り組みについても、廃棄物減量等推進員が中心となり、市民協働での取り組みとなるように要望する。

答申書：裏面

答申（審議）内容

1. はじめに

廃棄物処理行政は、排出量増加、質の多様化により、単なる廃棄物の処分という意味合いから、循環型社会の構築を見据えた処理が望まれるようになってきている。

本市においても、豊かな自然環境にめぐまれており、地域住民の生活環境を世代を超えて保全するためにも、廃棄物の適正処理を図り、循環型社会の構築に努めなければならない。そうした見地から一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は長期的・総合的な視野に立ち、計画的なごみ処理を図るため、ごみの発生から最終処分に至るまでの適正なごみ処理の推進に必要な基本的事項を定め、近年の社会情勢の変化に対応し得る計画でなければならない。

2. 審議内容

平成21年3月に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「前計画」という。）は、目標年次を平成35年度に定め、第1次目標年次を平成25年度としている。前計画に掲げたごみ排出抑制に関する方策により、市のごみ処理における現状も前計画策定時と比べ大きく変動してきていることから、現状に見合った計画に改訂する必要がある。また、計画の策定にあたっては廃棄物処理法第5条の7に規定する廃棄物減量等推進審議会等の意見を踏ま

え、同法第6条第1項に基づき一般廃棄物処理基本計画を策定することが望まれることから今回の審議に至った。

本審議会では、次の3つに論点を絞り、審議することとした。

- ①地区ごみステーションの収集形態の相違について
- ②リサイクル率向上について
- ③リサイクルセンター（仮称 エコステーション）について

（１）地区ごみステーションの収集形態の相違について

前計画でも、穂積地区と巢南地区の地区ステーションでの収集形態の相違が懸案事項とされており、取り組むべき事項として収集形態の統一が明記されていた。しかし、第1次目標年次の平成25年度になっても統一はなされていない。市民が搬出できる機会を設ける目的で、定期的に拠点回収を開始したことは評価できる。しかし、合併後10年が経過した現時点において、統一はなされていて当然である。ついては、早急に収集形態の統一を図ることを要望する。

具体的には、穂積地区で容器包装プラスチックの収集をスタートさせることと、巢南地区で陶磁器・ガラス類の収集をスタートさせることの2点である。

（２）リサイクル率向上について

前計画では、リサイクル率の目標値を基準年度16.8%を、第1次目標年次である平成25年度において24%とする目標値を設定しているが、平成24年度の実績値では18.3%に留まっている。

リサイクル率が伸び悩んでいる理由として、古紙類のスーパーでの店頭回収や民間の拠点回収の増加が挙げられるが、計画の目標値として数値が掲げられている以上、判断材料として比較することとなる。

ついては、スーパーでの店頭回収等を見越した適正な目標値に設定し直す必要がある。

なお、循環型社会を構築する上ではリサイクル率の向上が大きなウエイトを占めていることから、数値目標に固執することなく、資源として再利用できるものは極力リサイクルするという方針を徹底されたい。前（１）で述べた穂積地区での容器包装プラスチックの収集はリサイクル率向上の面からも効率的な方策である。

（３）リサイクルセンター（仮称 エコステーション）について

前計画では、リサイクルセンターの建設について検討する旨の記載がされているが、粗大ごみ有料化後の粗大ごみの搬入量を勘案すると市として単独でリサイクルセンターを建設する場合の費用対効果からも効率的でないことは明らかである。

ついては、安易な施設整備を行うことなく、既存の美来の森の施設で行い得る方法を模索すべきである。このことを踏まえ、市民が搬入し易い（仮称）エコステーション）のような方法が適当であると考える。

3. 審議結果

概ね、前記3つの観点から審議検討を行った。その結果、瑞穂市の現状を十分に考慮しつつ、今後早急に行うべき事項と長期的に考える事項等とを精査分類して、計画に盛り込むことを期待する。

なお、今回の策定（改訂）にあたり次に示す付帯事項に取り組むことを要望する。

◇付帯事項

- （1）循環型社会の構築に向けて、資源化率の向上は不可欠であることから、資源化できる物は積極的に資源化を進めることを要望する。
- （2）廃棄物減量等推進員を中心に、市民協働で各方策を行うこと。
- （3）安易な施設整備は行わず、最大限に現行施設を活用すること。
- （4）処理手数料に関して、消費税額が税率8％に引き上げられることが決定したところであるが、税率引き上げによる処理手数料の税率分の引き上げに留まらず、処理原価の再計算を踏まえ、慎重に処理単価を導きだすことを要望する。また、税率10％への引き上げも議論されていることから、税率引き上げ毎に改定することは避け、長期的な視野に立って手数料の見直しを行うことを要望する。ごみ処理手数料は、全市民に直結する手数料であることを考慮し、善処されるようお願いしたい。

4. おわりに

今回の答申が改訂される計画に反映され、ひいては将来の循環型社会の構築につながり、更に廃棄物処理が改善されることを期待する。

今後、本審議会の意見を取り入れて広く議論していくことを要望する。

資料 7 廃棄物減量等推進審議会

【開催経緯】

平成 25 年 3 月 27 日 第 1 回廃棄物減量等推進審議会
 平成 25 年 7 月 1 日 第 2 回廃棄物減量等推進審議会
 平成 25 年 9 月 25 日 第 3 回廃棄物減量等推進審議会
 平成 25 年 11 月 21 日 第 4 回廃棄物減量等推進審議会
 平成 26 年 2 月 5 日 第 5 回廃棄物減量等推進審議会

【廃棄物減量等推進審議会委員名簿】

区分	氏名	所属
住民代表	関谷 翠	市民公募
	長尾 マツ子	市民公募
	吉田 愛子	市民公募
自治会代表	○ 野田 寧宏	自治会連合会会長
	江間 安男	自治会連合会副会長
	眞鍋 敏克	自治会連合会副会長
有識者	◎ 平田 芳子	元岐阜振興局 環境課長
	松波 説夫	岐阜地域環境室長
事業者	片岡 義典	平和堂
	廣江 重昭	ピアゴ穂積店
廃棄物処理業者	清水 一夫	株式会社美濃環境保全社
	恩田 直樹	中央清掃株式会社

注) ◎ 会長、○ 副会長、区分内順不同・敬称略

一 般 廃 棄 物 処 理 基 本 計 画

平成 2 6 年 3 月

発行：岐阜県 瑞穂市

編集：環境水道部 環境課

瑞穂市宮田 300 番地 2（巢南庁舎）

電話：058-327-2100（巢南庁舎代表）